Honeywell

Voyager™ 1450g/1452g シリーズ

エリアイメージングスキャナ

ユーザーズガイド

免責事項

Honeywell International Inc.（以下 “ ハネウェル社 ”）は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断り無く変更することがあります。何か変更があったかどうかを確認するときは、かならずハネウェル社にお問い合わせください。本書の情報についてハネウェル社では一切の保証をいたしません。

本書に技術的または編集上の誤りや記載漏れがあった場合、また本書の内容を備えたり実施したり、あるいは使用した結果発生した損害については、ハネウェル社では一切の責任を負いません。意図した結果を得るためのソフトウェアやハードウェアの選択と使用のすべての責任をハネウェル社は負いません。

Web アドレス：www.honeywellaidc.com

Microsoft® Windows® は Microsoft Corporation 社の商標または登録商標です。

本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を所有しています。

著作権については、www.hsmpats.com を参照してください。

目次

第 1 章　はじめに

第 2 章 - インターフェースの設定

第 3 章 – コードレスシステムの操作

第 4 章 – 入力・出力設定

第 5 章 – データ編集

第 6 章 – データフォーマット

第 7 章 – シンボル

第 8 章 – インターフェースキー

第 9 章 – ユーティリティー

第 10 章 – シリアルプログラミングコマンド

第 11 章 – 製品仕様

第 12 章 – 保守

第 13 章　カスタマーサポート

付録 A – 付録チャート

サンプルシンボル

プログラミングチャート

1

はじめに

本マニュアルについて

本書では、Voyager ™ 1450g コード付きエリアイメージングスキャナと Voyager 1452g コードレスエリアイメージングスキャナの使用方法と設定の手順について説明しています。また、製品の仕様、外形寸法、保証内容、およびカスタマーサポートに関する情報も含まれています。

Note: ご利用の Voyager 145Xg モデルに合わせて本書から選択してください。
PDF および 2 次元シンボルは 145Xg2D モデルでのみ読取可能です。145Xg1D では読み取れません。

ハネウェル社のバーコードスキャナは、工場出荷時に一般的な端末および通信装置用にプログラム設定されています。設定変更が必要な場合は、本書記載のバーコードを読み取ってプログラム設定してください。

アスタリスク(*)が付いているオプションは工場出荷時の設定を示しています。

製品の開梱

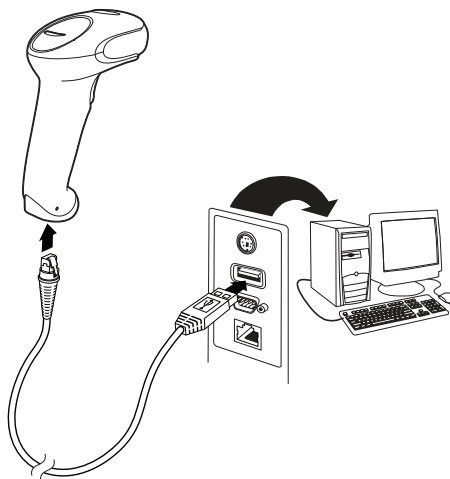
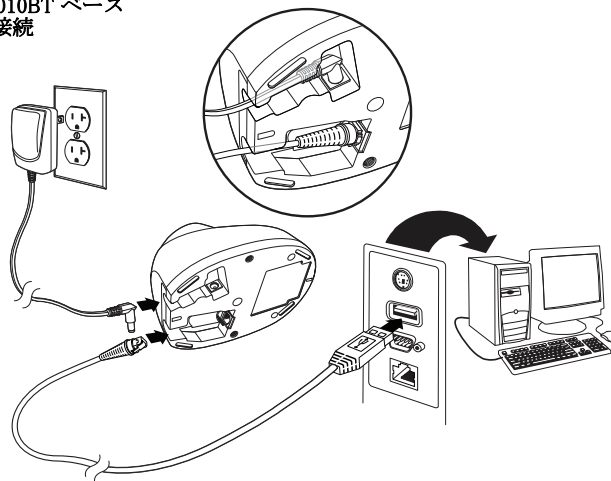
梱包箱開封後、以下の手順に従ってください。

· 出荷中の損傷がないか確認します。損傷があった場合は、すぐに配送した運送会社に連絡してください。
· 箱の中身に間違いがないか確認します。
· 返却もしくは保管用に、梱包箱はそのまま保管ください。

接続

USB での接続

スキャナもしくはベースをホストデバイスの USB ポートに接続します。

1. まず、適切なインターフェースケーブルとスキャナを接続し、次にホストデバイスと接続します。

Note:　必要な場合、電源を別途購入してください。

2. CCB01-010BT ベースを接続する場合、ケーブルがベースの底部にある配線部に固定され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。

3. スキャナからピーッという起動音がします。

4. 本書の裏表紙に記載のサンプルシンボルからバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。

この機器は PC　USB キーボード用に初期設定されています。その他の USB 端末との接続については page 2-3 を参照してください。

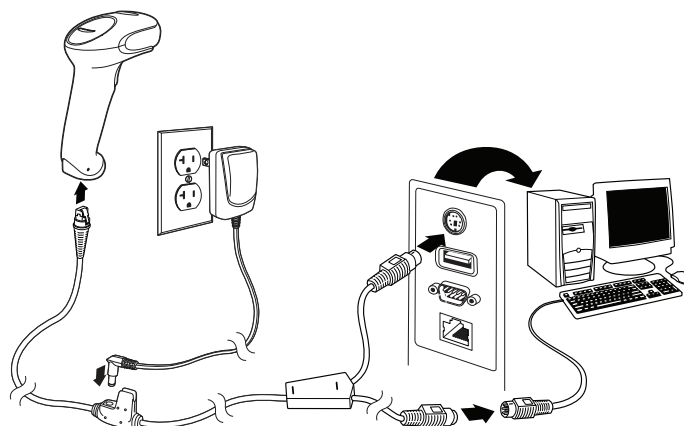
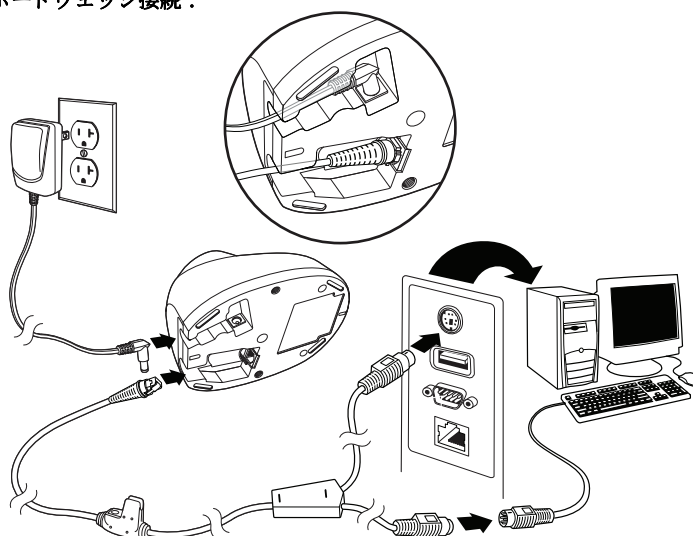
その他の USB のプログラム設定と技術情報については、ウェブサイト www.honeywellaidc.com の『USB Application Note』（USB アプリケーションノート）をご参照ください。

キーボードウェッジ接続

スキャナもしくはコードレスベースはキーボードとホストデバイスの間をキーボード入力と同様にでスキャナがデータ出力をするキーボードウェッジで接続できます。以下は、キーボードウェッジ接続の一例です。

1. ホストデバイスの電源をオフにし、裏側のキーボードケーブル接続をはずします。

2. 適切なインターフェースケーブルをスキャナおよびホストデバイスに接続します。

コード付き Voyager 1450g
キーボードウェッジ接続：

CCB01-010BT ベース
キーボードウェッジ接続：

Note: 必要な場合、電源を別途購入してください。

3. CCB01-010BT ベースを接続する場合、ケーブルがベースの底部にある配線部に固定され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。

4. 端末／コンピュータの電源をオンにします。スキャナからピーッという起動音がします。

5. 本書の裏表紙に記載のサンプルシンボルからバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。スキャナから 1 回ビープ音が鳴ります。

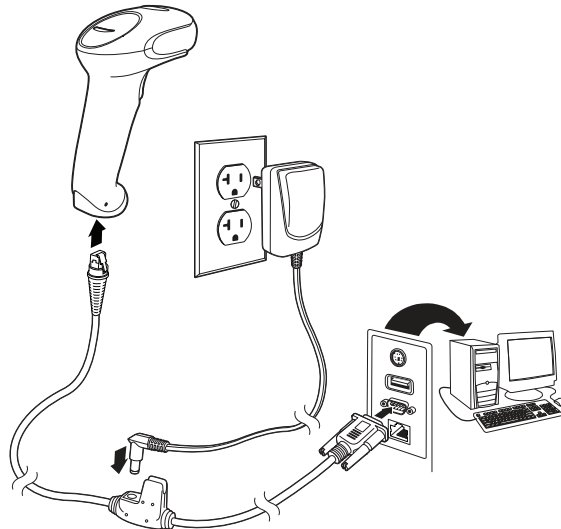
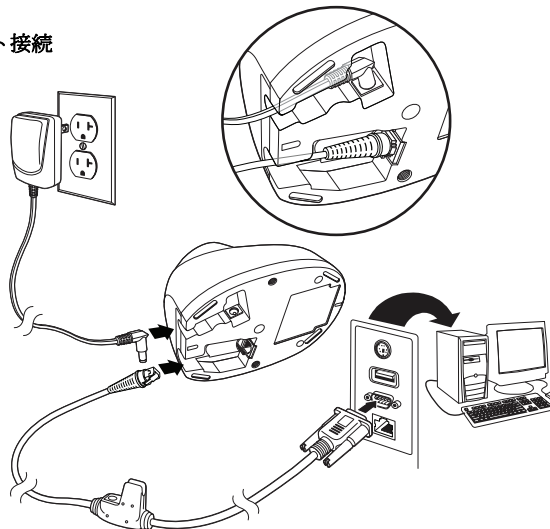
お使いのスキャナもしくはベースは、IBM PC　AT での USA キーボードウェッジインターフェース用に設定されています。バーコードデータにはキャリッジリターン（CR）サフィックスが追加されます。

RS232 シリアルポート接続

1. 端末／コンピュータの電源をオフにします。

2. 適切なインタフェースケーブルを接続します。

Note: スキャナもしくはコードレスベースが正常に作動するようにお使いのホストデバイスに適したケーブルをご用意ください。

コード付き Voyager 1450g
RS232 シリアルポート接続

CCB01-010BT ベース
RS232 シリアルポート接続

Note: 必要な場合、電源を別途購入してください。

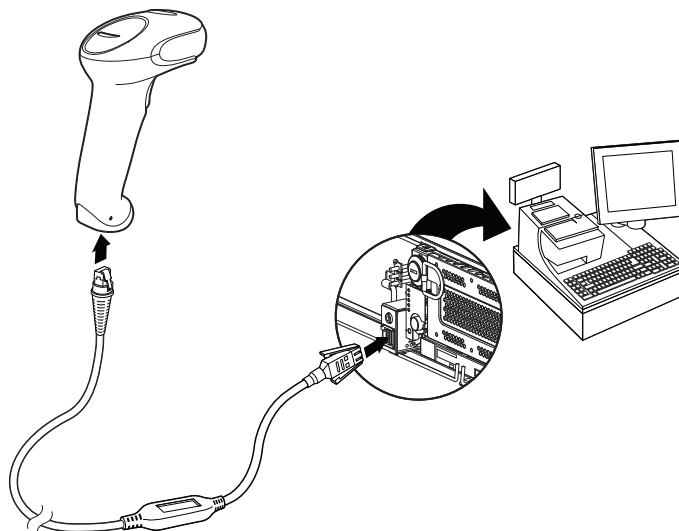
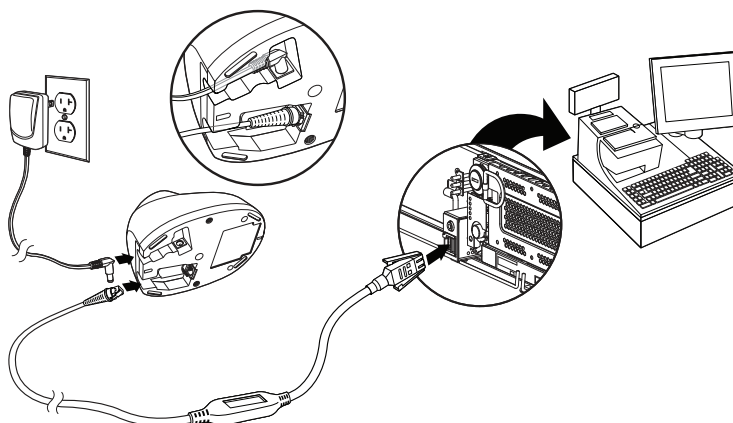
3. CCB01-010BT ベースを接続する場合、ケーブルがベースの底部にある配線部に固定され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。
4. シリアルコネクタをコンピュータのシリアルポートに差し込みます。2 本のネジを締めてコネクタをポートに固定します。
5. スキャナもしくはコードレスベースの接続が完了したら、コンピュータの電源を入れます。

このインターフェースはボーレート 115,200 、8 データバイト、パリティ無し、1 ストップビットに設定されています。

RS485 接続

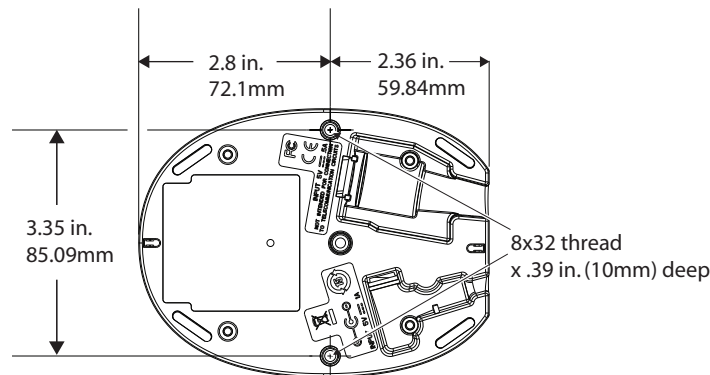
スキャナまたはコードレスベースを IBM POS 端末と接続します。

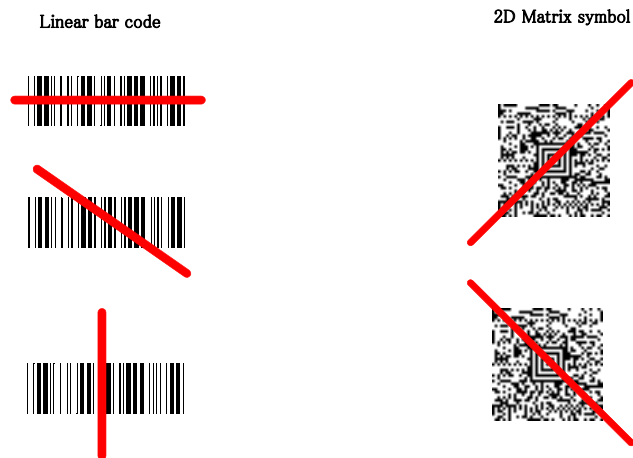
1. まず、適切なインターフェースケーブルをスキャナ / コードレスベースに接続した後、ホストデバイスに接続します。

コード付き Voyager 1450g
RS232 シリアルポート接続

CCB01-010BT ベースの
RS485 接続

2. 端末／コンピュータの電源をオンにします。スキャナからピーッという起動音がします。

3. 本書の裏表紙に記載のサンプルシンボルからバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。スキャナから 1 回ビープ音が鳴ります。

詳しい RS485 の設定については RS485, page 2-2 を参照してください。

CCB01-010BT チャージベースへの設置

読み取り方法

スキャナには、イメージャの横方向の視界に相当する明るい赤のエイミングビームを投射するビューファインダがあります。エイミングビームは、バーコードの中央に合わせてください。ただし、読み取りやすくするためにどの方向にしてもかまいません。

エイミングビームは、スキャナがバーコードに近づくと小さくなり、遠ざかると大きくなります。バーまたはエレメントが小さなシンボル（ミルサイズ / 分解能）はスキャナを近づけて読み取り、大きなシンボル（ミルサイズ / 分解能）は離して読み取ってください。 1 個または複数のシンボル（1 ページまたは 1 個の物体の）を読み取るときは、目標から適切な距離でスキャナを保持し、トリガを引き、エイミングビームをシンボルの中心に合わせます。読み取るバーコードの反射が大きい場合は（ラミネートされている場合など）、無用な反射を避けるため、バーコードを 15 度〜 18 度傾けることが必要な場合があります。

メニューバーコードのセキュリティ設定

ハネウェル社のスキャナ製品はメニューバーコードを読み取るか、シリアルコマンドをスキャナに送るよう設計されています。メニューコードの読み取りを規制したい場合は、メニューバーコードのセキュリティ設定をご利用可能です。詳しくは、お近くのテクニカルサポートオフィス (see カスタマーサポート on page 13-1) にご連絡ください。

カスタムデフォルトの設定

お客様自身のカスタムデフォルトのメニューコマンドをお作りになることができます。そのためには、以下の保存したいメニューコマンドもしくはシーケンスの前に Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）バーコードを読み取ってください。コマンドが裏表紙から数字のコードを読み取る必要がある場合は、そのあとに Save（保存）のコードを読み取ればシーケンス全体がカスタムデフォルトとして保存されます。次のカスタムデフォルトのためのコマンドを保存する前に Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）コードを再度読み取ります。

カスタムデフォルトの設定

カスタムデフォルトの保存

*Note: コードレスシステムを使用する場合、カスタムデフォルト設定はすべてのワークグループに適応されます。コードレスシステムを使用している場合、**Save Defaults** バーコードをスキャンすることでスキャナとベースの両方、またはアクセスポイントにリセットを実行し、リンク非接続になります。リンクを再確立するには、セットアップコードが入力される前にスキャナをベースに置かれなければなりません。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細はコードレスシステムの操作 beginning on page 3-1 を参照してください。*

複数のカスタムデフォルトがあり、そのうち 1 つの設定を変えたい場合は、古い設定を上書きするだけです。例えば、ブザーの音量をカスタムデフォルトでは「低」に設定しており、「高」に変更しようと思う場合、Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）バーコードを読み取り、それから Beeper Volume High（ブザー音量　大）バーコードを読み取った後に Save Custom defaults（カスタムデフォルトの保存）を読み取るだけです。他のカスタムデフォルトは残り、ブザー音量の設定は更新されます。

標準の製品初期設定へのリセット

ご使用のスキャナでカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults（カスタムデフォルトを起動）バーコードを読み取ってください。これは多くのユーザーのために推奨するデフォルトバーコードです。これはスキャナの設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。

カスタムデフォルトを起動

Note: コードレスシステムをご使用の場合、このバーコードを読み取ると、スキャナとベースにもリセットを実行し、非接続となってしまいます。コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキャナをベースに置いてください。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細はコードレスシステムの操作 beginning on page 3-1 を参照してください。

2

インターフェースの設定

はじめに

この章では、最適なインターフェースのためのシステム設定についてご紹介します。

インタフェースのプログラム設定 – プラグ＆プレイ

プラグ＆プレイのバーコードで、一般的に使用されているインタフェース用に簡易スキャナセットアップを行うことができます。

Note: コードの1つを読み取った後、ホスト端末インターフェースを有効にするため、再起動する必要があります。

キーボードウェッジ

ご使用のシステムを IBM PC AT 互換機 やアメリカ向けのキーボードと互換性のあるキーボードウェッジインターフェースで設定される場合は、以下のバーコードを読み取ってください。キーボードウェッジは初期設定のインターフェースです。

Note: 以下のバーコードを読み取ると、キャリッジリターン（CR）サフィックスも有効になります。

IBM PC AT と互換機、CR サフィックスつき

ノート型 PC との直接接続

ほとんどのノート型 PC の場合、Laptop Direct Connect（ノート型 PC との直接接続）バーコードを読み取ることで、内蔵キーボードとの同時操作が可能になります。以下の Laptop Direct Connect バーコードもまたキャリッジリターン（CR）サフィックスの設定を行い、外付けキーボード page 2-16 の使用を有効にします。

ノート型 PC との直接接続、CR サフィックスつき

RS232 シリアルポート

RS232 Interface バーコード はパソコンもしくは端末のシリアルポートとの接続に用います。以下の RS232 Interface バーコード もキャリッジリターン（CR）やラインフィード（LF）サフィックス、ならびに以下で示されるようなボーレートやデータフォーマット設定を行います。またトリガーモードもマニュアルに変換します。

オプション	設定
ボーレート	115,200 bps
Data Format （基準データフォーマットへ切り替え）	8 データビット、パリティビットなし、1 ストップビット

RS232 インターフェース

RS485

IBM POS の端末インター フェースへスキャナを接続する場合は、以下のいずれかの設定バーコードを読み取ってください。

Note: これらのバーコードの 1 つを読み取った後は、かならずキャッシュレジスタを再起動してください。

BM ポート 5B インターフェース

IBM ポート 9B
HHBCR-1 インターフェース

IBM ポート 17 インターフェース

IBM Port 9B
HHBCR-2 インターフェース

前述の各バーコードは以下のそれぞれのシンボルへのサフィックスを設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128 *	00 0A 0B
UPC E	0A	Code 128 **	00 18 0B
		MaxiCode	00 2F 0B

* サフィックスは IBM 4683 Port 5B、IBM 4683 Port 9B、HHBCR-1、ならびに IBM 4683 Port 17 インターフェース用の Code 128 に設定されています。
**サフィックスは IBM 4683 Port 9 HHBCR-2 インターフェース Code 128 用に設定されています。

RS485 パケットモード

以下を選択すると、IBM POS 端末上で大きいバーコードデータを小さいパケットへと分割することができます。大きいバーコードデータを小さいパケットへと分割するには、以下の Packet Mode On *(パケットモード　有効)*バーコードを読み取ってください。大きいバーコードデータを 1 つのかたまりとしてホストへ送りたい場合は、Packet Mode Off *(パケットモード　無効)*バーコードを読み取ってください。*初期設定 = Packet Mode Off(パケットモード　無効)*

* パケットモード　無効

パケットモード　有効

RS485　パケットの長さ

パケットモード使用の際は、ホストに送られる「パケット」データのサイズを指定することができます。Packet Length（パケットの長さ）バーコードを読み取り、次に本書の裏表紙にある プログラミングチャートからパケットサイズ（20 ～ 256 の間）を選び、Save（保存）を読み取ります。*初期設定＝ 40*

パケットの長さ

USB IBM SurePos

以下の「プラグ＆プレイ」コードのうち一つを読み取り、IBM SurePos (USB ハンドヘルドスキャナ) もしくは IBM SurePos (USB 卓上スキャナ) インターフェースの設定を行ってください。

Note: これらのバーコードの 1 つを読み取った後は、かならずキャッシュレジスタを再起動してください。

USB IBM SurePos
USB ハンドヘルドスキャナインターフェース

USB IBM SurePos
USB 卓上スキャナインターフェース

前述の各バーコードは以下のそれぞれのシンボルへのサフィックスを設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128	00 18 0B
UPC E	0A	Code 39	00 0A 0B

パソコン USB もしくはマッキントッシュのキーボード

以下のコードのうち一つを読み取り、パソコンの USB キーボードもしくはマッキントッシュの USB キーボード U の設定を行ってください。これらのコードを読み取ると、CR ならびに LF も追加されます。

USB キーボード - PC

USB キーボード - Mac

USB 日本語キーボード - PC

USB HID

以下のコードのうち一つを読み取り、USB HID バーコードスキャナのスキャナ設定を行ってください。

USB HID バーコードスキャナ

USB シリアル

以下のコードを読み取り、標準の RS232 ベースの COM Port にエミュレートするようスキャナを設定してください。お客様が Microsoft® Windows® のパソコンをお使いの場合は当社ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) からドライバーをダウンロードしていただく必要がございます。ドライバーは次に空いている COM ポートに接続します。Apple® マッキントッシュコンピュータの場合は、スキャナを USB CDC クラスデバイスとして認識し、自動でクラスドライバーを使用します。

USB シリアル

Note:　他の設定（ボーレートなど）は不要です。

CTS/RTS エミュレーション

CTS/RTS エミュレーション　有効

USBCTS0.

＊CTS/RTS エミュレーション　無効

ACK/NAK モード

USBACK1.

ACK/NAK モード　有効

＊ACK/NAK モード　無効

USB 用 Remote MasterMind ™

USB インターフェースの場合で、Remote MasterMind Scanner Management Software (ReM) と通信する設定を行いたい場合、ReM と通信するために、**ReM 有効** バーコードを読み取ります。この機能を無効にするには、**ReM 無効**をスキャンします。*初期設定 = ReM On（ReM 有効）*

Note: Remote MasterMind 設定は Voyager 1450g のみに対応しています。Voyager 1452g には対応していません。

ReM 無効

＊ReM 有効

Verifone® Ruby 端末の初期設定

Verifone Ruby 端末の場合は、以下のプラグ＆プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このこのバーコードはボーレートを 1200 bps 、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、 1 ストップビットにします。また、ラインフィード (LF) サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定を行います。

シンボル	プレフィックス
UPC-A	A
UPC-E	A
EAN-8	FF
EAN-13	F

Verifone Ruby の設定

Gilbarco® 端末の初期設定

Gilbarco 端末の場合は、以下のプラグ＆プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 2400 bps に、データフォーマットを 7 データビット、偶数パリティビット、2 ストップビットにします。また、キャリッジリターン（CR）サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定を行います。

シンボル	プレフィックス
UPC-A	A
UPC-E	E0
EAN-8	FF
EAN-13	F

Gilbarco の設定

Honeywell ２面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Honeywell 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ＆プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 38400 bps 、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、 1 ストップビットにします。

Honeywell2 面式カウンタースキャナ

Datalogic ™ Magellan©2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Magellan 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ＆プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps 、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、 1 ストップビットに設定します。

Datalogic Magellan2 面式カウンタースキャナの設定

NCR2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定

NCR 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ＆プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

シンボル	プレフィックス	シンボル	プレフィックス
UPC-A	A	Interleaved 2 of 5	b
UPC-E	E0	Code 128	f
		GS1 DataBar Omnidirecitonal	r
EAN-8	FF	GS1 DataBar 拡張型	r
EAN-13	F	Codabar	N
Code 39	a	Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	a

NCR2 面式カウンタースキャナの設

Wincor Nixdorf 端末の初期設定

Wincor Nixdorf 端末の場合は、以下のプラグ＆プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps 、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1 ストップビットに設定します。

Wincor Nixdorf 端末の設定

Wincor Nixdorf Beetle ™ 端末の初期設定

Wincor Nixdorf Beetle 端末の場合は、以下のプラグ＆プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 115200 bps 、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、 1 ストップビットに設定します。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

シンボル	プレフィックス	シンボル	プレフィックス
Aztec コード	V	Interleaved 2 of 5	I
Codabar	N	MaxiCode	T
Code 93	L	MicroPDF417	S
Code 128	K	PDF417	Q
Data Matrix	R	QR コード	U
EAN-8	B	Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート / ストップ)	H
EAN-13	A	UPC-A	A0
GS1 DataBar (GS1 データバー)	E	UPC-E	C
GS1-128	P	その他すべてのバーコード	M

Wincor Nixdorf Beetle の設定

Wincor Nixdorf RS232 モード A

Wincor Nixdorf RS232 モード A 端末の場合は、以下のプラグ＆プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps 、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、 1 ストップビットに設定します。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

シンボル	プレフィックス	シンボル	プレフィックス
Code 128	K	EAN-13	A
Code 93	L	GS1-128	K
Codabar	N	Interleaved 2 of 5	I
UPC-A	A0	Plessey	O
UPC-E	C	Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート / ストップ)	H
EAN-8	B	GS1 DataBar (GS1 データバー)	E
その他すべてのバーコード	M		

Wincor Nixdorf RS232 モード A の設定

国別キーボード

下の該当する国コードを読み取り、自国用のキーボードをプログラム設定します。原則として以下の記号をサポートしますが、米国以外の国では特別な注意が必要です。
@ | $ # { } [ ] = / ' ¥ < > ~

国別キーボード

KBDCTY0.
＊アメリカ

KBDCTY35.
アルバニア

KBDCTY81.
アゼリー　キリル文字

KBDCTY80.
アゼリー　ラテン

KBDCTY82.
ベラルーシ

KBDCTY1.
ベルギー

KBDCTY33.
ボスニア

KBDCTY16.
ブラジル

KBDCTY59.
ブラジル　MS

KBDCTY52.
ブルガリア　キリル文字

国別キーボード（続き）

ブルガリア　ラテン

カナダ（フランス語 Legacy

カナダ　フランス語

カナダ　多言語

クロアチア

チェコ

チェコ　プログラマー

チェコ　QWERTY

チェコ　QWERTZ

デンマーク

オランダ

国別キーボード（続き）

KBDCTY41.
エストニア

KBDCTY83.
フェロー語

KBDCTY2.
フィンランド

KBDCTY3.
フランス

KBDCTY84.
ゲール語

KBDCTY4.
ドイツ

KBDCTY17.
ギリシャ

KBDCTY64.
ギリシャ　220 ラテン

KBDCTY61.
ギリシャ　220

KBDCTY65.
ギリシャ　319 ラテン

KBDCTY62.
ギリシャ　319

国別キーボード（続き）

KBDCTY63.
ギリシア　ラテン

KBDCTY66.
ギリシャ　MS

KBDCTY60.
ギリシャ　Polytonic

KBDCTY12.
ヘブライ語

KBDCTY50.
ハンガリー語　101 キー

KBDCTY19.
ハンガリー

KBDCTY75.
アイスラン

KBDCTY73.
アイルランド

KBDCTY56.
イタリア語　142

KBDCTY5.
イタリア

KBDCTY28.
日本語

国別キーボード（続き）

KBDCTY78.
カザフスタン

KBDCTY79.
キルギスタン　キリル文字

KBDCTY14.
ラテンアメリカ

KBDCTY42.
ラトビア

KBDCTY43.
ラトビア QWERTY

KBDCTY44.
リトアニア

KBDCTY45.
リトアニア　IBM

KBDCTY34.
マケドニア

KBDCTY74.
マルタ

KBDCTY86.
モンゴル　キリル文字

KBDCTY9.
ノルウェー

国別キーボード（続き）

KBDCTY20.
ポーランド

KBDCTY57.
ポーランド語　214

KBDCTY58.
ポーランド語　プログラマー

KBDCTY13.
ポルトガル語

KBDCTY25.
ルーマニア

KBDCTY26.
ロシア

KBDCTY67.
ロシア　MS

KBDCTY68.
ロシア　タイプライター

KBDCTY21.
SCS

KBDCTY37.
セルビア　キリル文字

KBDCTY36.
セルビア　ラテン

国別キーボード（続き）

Slovakia（スロヴァキア）

スロヴァキア　QWERTY

スロヴァキア　QWERTZ

スロヴェニア

スペイン

スペイン語　変動

スェーデン

スイス　フランス語

スイス　ドイツ語

タタール語

トルコ　F

国別キーボード（続き）

トルコ　Q

ウクライナ

イギリス

アメリカ　Dvorak

アメリカ　Dvorak left

アメリカ　Dvorak right

アメリカ　インターナショナル

ウズベキスタン　キリル文字

キーボードスタイル

Caps Lock や Shift Lock などのキーボードスタイルを設定します。キーボードの変換設定を行った場合は、以下のキーボードスタイル設定すべてを上書きします。*初期設定 = Regular（レギュラー）*

通常 Caps Lock キーがオフの場合は、レギュラーを使用します。

* レギュラー

通常 Caps Lock Caps Lock キーがオンの場合は Caps Lock を使用します。

Caps Lock

通常 Shift Lock キーがオンの場合は、Shift Lock を使用します。(アメリカキーボードでは通常不使用。)

Shift Lock

Caps Lock キーのオン／オフを切り換える場合は、自動 Caps Lock を使用します。 キーをオン／オフすると、ソフトが追跡反応確認して自動的に対応します。この設定を使用できるのは、Caps Lock の状態を確認する LED があるシステム（ AT キーボード）の場合のみです。

自動 Caps Lock

Caps Lock の切り換えに Caps Lock キーを使用できない国（ドイツ、フランスなど）では Autocaps via NumLock のバーコードを読み取ります。NumLock オプションは、通常の Autocaps と同じ働きをしますが、Caps Lock. の現在の状態を確認するには、NumLock を使用します。

Autocaps via NumLock

外付けキーボード (IBM AT または相当品) を使用していない場合は、Emulate External Keyboard を読み取ります。

Emulate External Keyboard

Note: Emulate External Keyboard のバーコードを読み取った後は、コンピュータをかならず再起動してください。

キーボードの変換

アルファベットのキーボード文字を強制的にすべて大文字またはすべて小文字にできます。例えば、「 abc569GK 」というバーコードの場合、Convert All Characters to Upper Case バーコードを読み取ると、「 ABC569GK 」と出力させることができます。 また、Convert All Characters to Lower Case バーコードを読み取ると、「 abc569gk 」と出力します。

この設定はキーボードスタイルキーボードスタイルでの設定を上書きします。

Note: お使いのインターフェースがキーボードウェッジの場合は、自動 Caps Lock 自動 Caps Lock (page 2-16) のメニューコードをまず読み取ってください。そうでない場合はご希望と違う出力になることがあります。

初期設定 = Keyboard Conversion Off（キーボードの変換　無効）

＊キーボード変換　無効

KBDCNV1.
すべてのキャラクタを大文字に変換

すべてのキャラクタを小文字に変換

制御キャラクタの出力

この機能を選択すると、コントロールキャラクタの代わりにテキスト文字列を送信します。例えば、キャリッジリターンのためのコントロールキャラクタが必要なとき、ASCII コードの 0D の代わりに、「CR」と出力表示されます。ASCII 変換チャート（コードページ 1252）on page A-3 を参照してください。00 から 1 F までが変換されます（チャートの最初の列）。*初期設定 =Off（無効）*

Note: Control + ASCII モードはこのモードを上書きします。

コントロールキャラクタ出力　有効

＊コントロールキャラクタ出力　無効

キーボード設定

ここでは、CTRL+ ASCII コードやターボモードといった特別なキーボードの機能調節を行います。

Control + ASCII モード有効 : 00 〜 1F の値について、ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせて送信します。Windows は推薦モードです。すべてのキーボードの国別コードがサポートされています。DOS モードはレガシーモードであり、すべてのキーボードの国別コードをサポートしているわけではありません。新規ユーザーは Windows モードをお使いください。CTRL+ASCII の値については、キーボードファンクションの関係 , page 8-1 を参照してください。

Windows Mode Prefix/Suffix 無効 :00 〜 1F の値について ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせて送信しますが、プリフィクスならびにサフィックスの情報転送は一切行いません。

初期設定 = Control + ASCII Mode Off（Control + ASCII モード　無効）

Windows モードの Control + X モード 有効

＊ Control + X モード　無効

DOS モードの Control + X モード 有効

Windows Mode Prefix/Suffix 無効

Turbo Mode: ターミナルへのキャラクタ送信を高速化します。ターミナルでキャラクタの読み落としがある場合は使用しないでください。*初期設定 = Off（無効）*

KBDTMD1.
ターボモード　有効

KBDTMD0.
＊ターボモード　無効

数字キーパッドモード：テンキーで入力したように数字を送信します。*初期設定＝ Off（無効）*

KBDNPS1.
数字キーパッドモード　有効

KBDNPS0.
＊数字キーパッドモード　無効

自動直接接続モード：IBM AT 型のターミナルを使用し、システムでキャラクタの読み落としがある場合に使用できます。*初期設定＝ Off（無効）*

KBDADC1.
自動直接接続モード　有効

KBDADC0.
＊自動直接接続モード　無効

RS232 モディファイヤ

RS-232 ボーレート

スキャナからターミナルに指定の速度でデータを送信します。ホストターミナルは、スキャナとかならず同じボーレートに設定してください。*初期設定＝ 9600*

232BAD0.
300

232BAD1.
600

1200

2400

4800

*9600

19200

38400

57,600

115,200

RS232 ワード長：データビットストップビットパリティ

データビットはワード長をキャラクタあたり 7 または 8 データビットに設定します。アプリケーションで必要なのが ASCII Hex キャラクタの 0 ～ 7F（文字、数値、句読点）だけの場合は、7 データビットを選択してください。フルセットの ASCII キャラクタを使用するアプリケーションでは、キャラクタあたり 8 データビットを選択します。*初期設定＝ 8*

ストップビットは 1 または 2 に設定します。*初期設定＝ 1*

パリティはキャラクタビットパターンが適正かどうかをチェックします。
初期設定＝ None

232WRD3.

7 データビット、1 ストップビット、偶数パリティ

7 データビット、1 ストップビット、パリティ無し

7 データビット、1 ストップビット、奇数パリティ

7 データビット、2 ストップビット、偶数パリティ

7 データビット、2 ストップビット、パリティ無し

7 データビット、2 ストップビット、奇数パリティ

8 データビット、1 ストップビット、偶数パリティ

＊8 データビット、1 ストップビット、パリティ無し

8 データビット、1 ストップビット、奇数パリティ

RS232 Receiver Time-Out （RS232 レシーバータイムアウト）

スキャナは RS232 レシーバータイムアウトが切れるまで、データを受信するために待機しています。マニュアルトリガーでタイムアウトをリセットします。RS232 レシーバーがスリープ中の場合、キャラクタを送信してレシーバーを起動し、タイムアウトをリセットすることができます。CTS ライン上のトランザクションでも、レシーバーを起動します。レシーバが完全に起動するのには 300 ミリ秒かかります。次のバーコードを読み取って RS232 Receiver Timeout（RS232 レシーバータイムアウト）を変更し、本書の裏表紙内側から数字を読み取り、次に Save（保存）を読み取ります。設定範囲は 0 ～ 300 秒です。設定範囲は 0 ～ 300 秒です。 *初期値＝ 0 秒（タイムアウトなし－常時オン）*

RS232 レシーバータイムアウト

RS232 ハンドシェイク

RS232 ハンドシェイクとは、ホストデバイスから送信されるソフトウェアコマンドを利用して、スキャナからのデータ送信を制御するものです。 RTS/CTS を無効にすると、データのフロー制御はできません。

Flow Control, No Timeout（フロー制御、タイムアウト無し）: 送信するデータがある場合、スキャナは RTS をアサートし、無期限にホストからアサートされた CTS を待ちます。

Two-Direction Flow Control（二方向 フロー制御）: スキャナはホストへの送信が可能な場合、RTS をアサートし、ホストはデバイスへの送信が可能な場合 CTS をアサートします。

Flow Control with Timeout（タイムアウトつきフロー制御）: スキャナは送信するデータがある場合、RTS をアサートし、ホストにアサートされた CTS をディレー（遅延）分 (see RS232 タイムアウト on page 2-21) の RS232 タイムアウトを参照）待ちます。もしディレータイムが過ぎても CTS がアサートされていない場合、デバイスが送るバッファは取り消され、読み取りを再開します。*初期設定 = RTS/CTS Off（RTS/CTS　無効）*

232CTS1.
フロー制御、タイムアウト無し

232CTS2.
二方向フロー制御

232CTS3.
タイムアウトつきフロー制御

232CTS0.
* RTS/CTS　無効

RS232 タイムアウト

タイムアウトつきのフロー制御を用いる場合は、ホストからの CTS 待機時間の長さを設定しなければなりません。以下のバーコードを読み取り、タイムアウトの長さ（ミリ秒単位）を設定し、裏表紙にある数字を読み取ってタイムアウト（1 ～ 5100 ミリ秒）を設定し、Save（保存）を読み取ってください。

232DEL.
RS232 タイムアウト

XON/XOFF

スキャナへデータ送信 (XON/XOFF On) や送信中止 (XON/XOFF Off) を行わせる際には標準 ASCII コントロールキャラクタが用いられます。ホストデバイスが XOFF キャラクタ (DC3, hex 13) をスキャナに送信することで送信を一時中断します。送信を再開するには、ホストから XON キャラクタ (DC1, hex 11) を送信します。データ送信は、XOFF 送信によって停止されたところから続行されます。*Default = XON/XOFF Off.*　XON/XOFF　無効）

232XON1.
XON/XOFF　有効

232XON0.
* XON/XOFF　無効

ACK/NAK

データ送信の後、スキャナはホストからの ACK キャラクタ (hex 06) もしくは NAK キャラクタ (hex 15) レスポンスを待ちます。ACK を受け取ると、交信は完成し、スキャナはさらなるバーコードを探します。NAK を受け取ると、最後のバーコードが送信され、スキャナは ACK や NAK を再度待ち受けます。ACK/NAK プロトコルを有効にする場合は、以下の ACK/NAK On （ACK/NAK　有効）バーコードを読み取ってください。ACK/NAK プロトコルをオフにする場合は ACK/NAK Off（ACK/NAK　無効）を読み取ります。*Default = ACK/NAK Off* （ACK/NAK　無効）

ACK/NAK　有効

＊ACK/NAK　無効

スキャナから 2 面式カウンタースキャナへの通信

以下の設定はハネウェル社製スキャナと 2 面式カウンタースキャナとの通信の接続に用います。

*Note: 2 面式カウンタースキャナとの通信には、ボーレートを 38400 に、RS232 タイムアウトを 3000 に設定しなければなりません。詳しくは、**See "RS-232 ボーレート " on page 2-18 と RS232 タイムアウト on page 2-21 をご参照ください。*

2 面式カウンタースキャナパケットモード

Packet Mode On（パケットモード　有効）は 2 面式カウンタースキャナとの互換性のために、スキャナのフォーマットを設定するときに読み取ります。*初期設定 = Packet Mode Off（パケットモード　無効）*

＊パケットモード　無効

パケットモード　有効

2 面式カウンター式スキャナ　ACK/NAK モード

各パケットが送信された後、スキャナが 2 面式カウンタースキャナからの ACK もしくは NAK を待つ場合には Bioptic ACK/NAK On （Bioptic ACK/NAK　有効）を読み取ります。下記の 2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK タイムアウトはスキャナがレスポンスに対しどの程度待つかを制御するものです。初期設定 = Bioptic ACK/NAK Off（2 面式スキャナ　ACK/NAK　無効）

＊2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK　無効

2 面式カウンタースキャナ ACK/

2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK タイムアウト

2 面式カウンタースキャナからの ACK/NAK レスポンスに対するタイムアウト時間（ミリ秒単位）を設定するものです。以下のバーコードを読み取り、裏表紙内側から数字を読み取り、タイムアウト時間（1 ～ 30,000 ミリ秒）を設定した後、Save（保存）を読み取ります。 *初期設定 = 5100*

232DLK.

ACK/NAK タイムアウト

3 コードレスシステムの操作

Note: 本章はコードレススキャナのみを対象としています。コードつきスキャナには適用できませんので、ご注意ください。

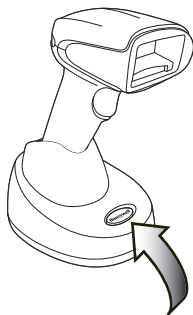
コードレスチャージベース／アクセスポイントの仕組

コードレスチャージベースまたはアクセスポイントはコードレススキャナとホストシステム間の通信を行います。ベースまたはアクセスポイントはインタフェースアセンブリと無線周波（RF）モジュールから成ります。RF モジュールは、コードレススキャナとインターフェースアセンブリ間のデータ交換を行います。制御アセンブリは中枢インターフェースの動作を調整します。それには、ホストシステムとの間で行われるコマンドやデータの送受信、ソフトウェアの実行（パラメータのメニュー化、視覚インジケーターのサポート、パワーオン診断)、ホストシステムのために必要なデータ変換を含みます。

コードレスチャージベースはスキャナの充電器でもあります。詳細については充電について , page 3-4 を参照してください。

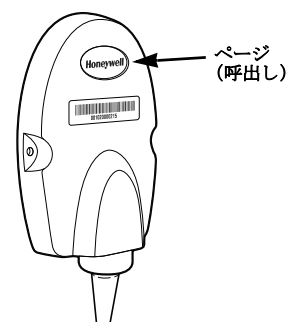
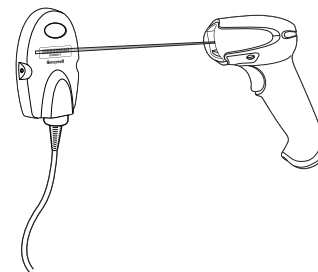
スキャナのチャージベースへの接続

ベースを接続する前に電源をオフにし、ベースが完全に接続された時点でホストデバイスを起動してください。ベースが接続され、ホストデバイスが起動してからスキャナをベースに差しこみ通信します。ベースの緑色の LED が点滅すると、スキャナのバッテリーが充電中であることを示します。

スキャナとベースが以前に通信していた場合は、反応はありません。スキャナとベースが今回初めて通信接続された場合、双方の無線が通信した時点でスキャナとベースの両方から音が鳴ります。これでこの一台のスキャナが一台のベースに接続されたことになります。

CCB01-010BT チャージベース
ユニット

コードレスシステムが正しく設定されているか判断するには、本書の終わりにあるサンプルバーコードの 1 つを読み取ってみてください。スキャナから読み取り有効を示すピーッという音が一回発せられ、緑の LED が点灯した場合、スキャナとベースの連結が成功しています。 エラーブザーが鳴り、赤い LED が点灯した場合、スキャナはベースに接続されていません。問題解決に関する情報は page 12-4 のトラブルシューティングの項目を参照してください。

スキャナとアクセスポイントの接続

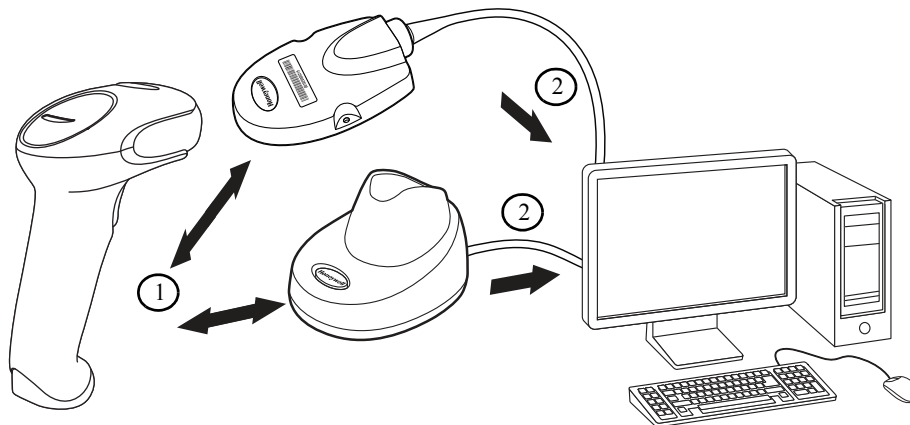
コンピューター（ノート PC/ デスクトップ）を起動します。はじめにインターフェースケーブルをアクセスポイントに接続し、次にコンピューターのポートへ接続します。ホストへの接続が確立するとページボタンが点灯します。

アクセスポイントの上部にあるリンクバーコードを読取、アクセスポイントとスキャナ間の接続を確立します。スキャナは短いビープ音が鳴り、緑の LED が点滅し、アクセスポイントの接続が確認できます。アクセスポイントのページボタンが青のままです。

リンクされたスキャナの交換

チャージベースまたはアクセスポイントにリンクされた故障したり紛失したスキャナを交換する必要がある場合、新しいスキャナで以下の Override Locked Scanner（ロックスキャナの無効化）バーコードを読み取り、スキャナをベースユニットに置くか、Access Point linking バーコードを読み取ります。ロックされたリンクが無効化され、故障または紛失したスキャナのベースユニットまたはアクセスポイントとのリンクが削除され、新しいスキャナがリンクされます。

通信固定されたスキャナの上書き
（シングルスキャナ）

コードレスシステムとホストデバイス間の通信

バーコードが正しく読み取られてベースがデータの受信を認知すると、コードレススキャナは「読み取り成功」を視覚的かつ聴覚的（スキャナ上部の緑色 LED が点灯し、とピーッという音が鳴る）に表示します。バーコードが正しくスキャンされ、ベースユニットまたはアクセスポイントからデータ受信確認がされたことを示します。コードレスシステムはスキャナとベースまたはアクセスポイントの間で双方向通信するため、このようなことが可能になります。

データが読み取られると、データはベースまたはアクセスポイントを介してホストシステムへ送られます。コードレススキャナはベースまたはアクセスポイントからのデータの認知（ACK）を認識します。データがベースまたはアクセスポイントへ正しく送信されたか否か判定できない場合は、スキャナはエラーを表示します。その際には、スキャンされたデータがホストシステムによって受信されたかをチェックしなければなりません。

1. 読取成功するとベースユニットまたはアクセスポイントから ACK を受信します。
2. ベースユニットまたはアクセスポイントがホストシステムへデータを送信します。

スキャナとベースユニットまたはアクセスポイントのプログラム

システムとしてスキャナとベースまたはアクセスポイントを一緒に使用する場合、メニューパラメータと設定がチャージベースまたはアクセスポイントに保存されます。それゆえ、メニュー構成設定をプログラムする場合、スキャナはチャージベースまたはアクセスポイントにリンクしている必要があります。

Note: スキャナがチャージベースまたはアクセスポイントにリンクされている場合のみ適応されます。スキャナがノンベースモーの場合、設定はスキャナに保存されます。

RF (無線周波) モジュールの操作

コードレスシステムは二方向 Bluetooth® 無線を利用して、スキャナおよびベースまたはアクセスポイント間におけるデータの送受信を行ないます。ライセンス不要な ISM 帯域を使用することで、周波数が無作為に変化する無線信号に、比較的小さいデータパケットを載せて高速なデータレートで送信しています。それ故に、当コードレスシステムを多様なデータ収集アプリケーションに対応でき、かつノイズの多い無線周波環境に対して強い耐性のある製品にしています。CCB01-010BT (Bluetooth クラス 2) は環境によりますが、スキャナとベースまたはアクセスポイント間の通信距離はおよそ 10m 程度になります。この範囲のコントロールについてはフレキシブルパワーマネージメント , page 3-12 のフレキシブル出力管理の項目をご覧ください。

システム条件

あるスキャナをベースまたはアクセスポイントに連動させたり、スキャナを通信可能範囲外へ持ち出したり、更に中へ再び持ち込んだり、2 つのコードレスシステムの間でスキャナを交換したりする際、コードレスシステムの構成部分は、特定の相互作用を起こします。下記はコードレスシステムの動作条件について説明したものです。

通信プロセス

スキャナがコードレスチャージベースに差し込まれると、スキャナのバッテリー残量がチェックされ、ソフトウェアは自動的にスキャナを検知します。選択された接続モードに合わせてスキャナをベースに接続します。

アクセスポイントへの接続に関する情報はスキャナとアクセスポイントの接続 , page 3-1 を参照してください。

スキャナが通信可能範囲外にあるとき

コードレススキャナはバーコードデータを送信していないときも、ベースまたはアクセスポイントと通信しています。スキャナが数秒にわたってベースまたはアクセスポイントと通信できないときは、スキャナが通信可能範囲外にあることになります。スキャナが通信可能範囲外にあるときにバーコードを読み取ると、スキャナはエラーブザーを発してベースまたはアクセスポイントと通信していないことを示します。コードレスチャージベースもアラーム音を発することがあります。通信範囲外警告 , page 3-10 を参照してください。

スキャナが通信可能範囲内へ戻ったとき

スキャナ、ベースまたはアクセスポイントがリセットされたか、スキャナが通信可能範囲内に戻ったとき、スキャナは再度通信を開始します。スキャナが通信を再度確立する際、通信再確立プロセス（パラメータテーブルのアップロード）が完了すると、音が一回鳴ります。詳細については通信範囲外警告 on page 3-10 を参照してください。

バッチモード有効時での通信可能範囲への出入り

スキャナは通信可能範囲外において数多くのシンボル（UPC シンボル約 500 個、他はばらつきあり）を保存し、通信可能範囲内に戻った時点でベースへ送信することができます。(see バッチモード on page 3-13)

このモードでは、通信エラーブザーは聞こえませんが、無線通信が機能していない場合、トリガーを引いたときに短いブザー音が聞こえます。無線接続がされてデータがベースまたはアクセスポイントに送信されている間、スキャナは一連のピーッという音を発します。

ページ（呼出し）ボタン

ベースまたはアクセスポイントのページボタンを押すと、そのベースまたはアクセスポイントに接続しているスキャナがピーッという音（3 回短く、1 回長く）を鳴らし始めます。呼び出しに応じて鳴っているスキャナのトリガーを引くか、ベースまたはアクセスポイントのページボタンをもう一回押すと、接続しているすべてのスキャナが鳴り止みます。ページボタンの設定に関する詳細は、ページング（スキャナの呼び出し）on page 3-7 のページング（呼出し）の項をご参照ください。

バッテリについて

バッテリ交換を誤ると、爆発するおそれがあります。ハネウェルが推奨するバッテリのみに交換してください。使用済みバッテリは、それを廃棄する国の所轄省庁が指定したリサイクル方法に従って処分してください。

コードレススキャナの電源は、スキャナハンドル内に組み込まれた充電式バッテリから供給されます。出荷時には、約 30%から 60%程度バッテリーを充電してありますが、充電容量最大限まで完全に充電することを推奨致します。最初に使用する際、最適な性能を確保する為に最低 4 時間の充電を行なってください。

充電について

バッテリは、スキャナがコードレスチャージベースに差し込まれている間に充電される設計になっています。充電状態を現すインジケーターの解釈については、3-6 ページベースユニット / アクセスポイントの LED シーケンスと意味 , page 3-5 のベースの LED シーケンスに関する項目をご参照ください。スキャナをベースに接続することなく充電する必要がある場合は、充電限定モード (page 3-9) の充電限定モードの項目をご覧ください。

適切な電源がベースに接続されていることを確認し、スキャナをベースに差し込んでください。定格出力 5 ～ 5.2Vdc、1A の Limited Power Source (LPS) かクラス 2 タイプの電源のみをご使用ください。

Note: 外部電源をチャージベースの補助ポートに差し込まず、インターフェースケーブル（例えば USB ケーブル）を介してホストデバイスからベースへ電力を供給する場合、充電に使える電力が減ってしまいますので、充電時間がより長くなります。

バッテリについての推奨事項

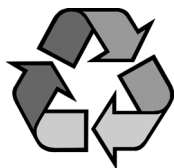
- バッテリはリチウムイオン電池で、完全に充電せずに使えますし、耐用寿命に悪影響を及ぼすことなく、放電しきってからでなくても充電できます。この種のバッテリについては、充電 / 放電コンディショニングをする必要がありません。
- ホストデバイスを使用していないときは、ベースを電源に接続しておいてください。
- 欠陥のあるバッテリは、スキャナ破損の原因になりますので、直ちに交換してください。
- バッテリは何回も充電できますが、最終的には消耗してしまいます。十分に充電できなくなった場合、バッテリを交換してください。
- 電池や充電器が正常に機能しているか判らないときには、ハネウェルか正規サービスセンターへ送って点検してください。詳細についてはカスタマーサポート on page 13-1 を参照してください。

Caution:
当装置には部品番号 100000495、定格 3.7 Vdc、7.4Whr のハネウェル社製リチウムイオン電池パックのみをご使用ください。ハネウェル社提供以外のバッテリを使用して故障した場合、保証の対象外です。

リチウム電池の安全に関する注意事項

- バッテリを燃やしたり、加熱したりしないこと。
- 火気・高温の場所を避けて保管すること。
- 金属製品とともにバッテリを保管したり、所持したりしないこと。
- 水気を避け、バッテリを濡らさないようにすること。
- 金属製品を使ってバッテリの陽極と陰極を接続（ショート）しないこと。
- バッテリに穴を開けたり、たたいたり、踏んだり、強い衝撃を与えたりしないこと。
- バッテリを解体・改造しないこと。

Caution:
バッテリ交換を誤ると、爆発するおそれがあります。使用済みバッテリは、それを廃棄する国の所轄省庁が指定したリサイクル方法に従って処分してください。

バッテリの適切な処分

バッテリが耐用年数の終わりに達したときは、資格を持つリサイクル業者ないし危険物取扱業者によって処分してください。バッテリを一般廃棄物と共に焼却したり、処分したりしないでください。スキャナのバッテリを弊社に御返却いただくことも可能です。（送料ご負担いただきます。）使用済みバッテリの梱包、表示、明細書作成、輸送に関するすべての国・連邦・州・自治体法規の遵守は輸送業者の責任です。リサイクル・処分に関しては、製品サービス部門 (page 13-1) にお問い合わせください。バッテリーをご返送いただく費用が高額な場合、地元のリサイクル処理業者にて処分された方が経費を抑えられる場合もありますので、まずは御問い合わせください。

ブザー・LED のシーケンスと意味

スキャナ上部には LED が組み込まれており、通電・通信・電池残量を表示します。ベース上部に LED があり、起動・通信・充電状態を表示します。赤色 LED ＝エラー、緑色 LED= あらゆる種類の正常な完了を意味します。スキャナと CCB01-010BT ベースユニットにも音による表示もあります。エラーブザー１回＝エラー、２回ピーッ＝メニュー変更、１回ピーッ＝それ以外のすべての正常な完了です。

下記の表にスキャナの LED 点灯・ブザーによる表示のしかたとその原因をまとめてあります。

スキャナの LED シーケンスと意味

LED 表示	ブザー表示	振動表示	原因
正常な操作			
赤点灯	なし	なし	バッテリ残量少
緑点灯	1 回ビープ音	なし	通信またはリンクに成功
赤点滅	エラーブザー	なし	通信失敗
メニュー操作			
緑点灯	2 回ビープ音	2 回振動	メニュー変更成功
赤点滅	エラーブザー	1 回長い振動	メニュー変更失敗

ベースユニット／アクセスポイントの LED シーケンスと意味

ベースについている赤色 LED とアクセスポイントについている青い LED が本体の状態を表し、ホストシステムとの通信状態を確認することができます。またベースユニットの緑色 LED はスキャナのバッテリ充電状況を表します。

赤色もしくは青色 LED：ホストとの通信	
赤色もしくは青色 LED	**通信状態**
オフ	USB 保留
継続してオン	電源オン、システムアイドル
複数回にわたり短く点滅。無線モジュールまたはホストポートとの間のデータ通信中点滅	データ受信

緑色 LED – スキャナバッテリ（ベースのみ、アクセスポイントは対象外）	
緑色 LED	**充電状態**
オフ	バッテリーが検出されないか、充電が中止されたとき
ゆっくり点滅（1 秒点灯、1 秒消灯）	充電前と充電中
継続して点灯	充電完了
速く点滅（300 ミリ秒点灯、300 ミリ秒消灯）	充電エラー

ベースユニットパワー／通信インジケーター

ベースのパワーインジケータを表示するには、Base Power Communication Indicator On（ベースパワー通信インジケーター有効）バーコードを読み取ってください。パワーインジケータを無効にするには、Off バーコードを読み取ってください。初期設定 = On（有効）

＊ベースパワー通信インジケーター
有効

ベースパワー通信インジケーター　無効

スキャナのリセット

下のバーコードを読み取ることによって、スキャナは再起動され、ベースまたはアクセスポイントと再接続します。

スキャナのリセット

ベースユニット上での読み取り

スキャナをベースに置いた状態でバーコードを読み取ることができるようにしたい場合は、下記の Scanning in Cradle On（ベースに置いた状態で読み取り　許可）バーコードを読み取ってください。スキャナがベースに置かれていない状態でのみ読み取りを行うようにしたい場合は、Scanning in Cradle Off（ベースに置いた状態での読み取り　禁止）を読み取ってください。スキャナをベースに置いてシャットダウンしたい場合は、Shut Down Scanner In Cradle（ベースにおいてスキャナをシャットダウン）を読み取ってください。*初期設定 = Scanning in Cradle On（ベースに置いた状態で読み取り　許可）*

ベースに置いた状態での読み取り　禁止

* ベースに置いた状態での読み取り　許可

ベースに置いてスキャナをシャットダウン

ベースチャージモード

ベースが外部電源（予備電源ポートに接続）とホストインターフェースケーブルの両方に接続されている場合、外部電源から電源を取ります。ベースが外部電源がない場合、インターフェースケーブルから電源を取ります。しかし、スキャナのバッテリは予備外部電源よりホストインターフェースケーブルからのほうがゆっくり充電されます。以下を使用し、スキャナを電源またはホストインターフェースケーブルから充電するか選択できます。

Base Charge Off（ベースチャージオフ）が選択されると、スキャナバッテリはベースに置かれている場合も充電されません。

External or Interface Cable Power（外部またはインターフェースケーブル電源）が選択される場合、スキャナバッテリはベースの外部電源から充電されます。外部電源が接続されていない場合、スキャナバッテリはインターフェースケーブルから充電されます。

External Power Only（外部電源のみ）の場合、スキャナバッテリは外部電源からのみ充電されます。外部電源が接続されていない場合、スキャナバッテリは充電されません。

Note: コードレスチャージベースを使用している場合、プレゼンテーションモード External Power Only（外部電源のみ）設定のみが利用可能です。

初期設定 = External or Interface Cable Power（外部またはインターフェースケーブル電源）

ベースチャージ無効

外部またはインターフェースケーブル電源

外部電源のみ

ページング（スキャナの呼び出し）

ページングモード（スキャナの呼び出し）

初期設定では、ベースのページングボタンを押すと、そのベースと通信を確立しているスキャナを呼び出します。ベースのページングボタンを無効にしたい場合は、下記の Paging Mode Off （ページングモード　無効）バーコードを読み取ってください。ページングモードが無効のときは、ボタンを押してもベースまたはアクセスポイントはスキャナを呼び出さなくなります。ベースの赤色 LED は点灯したままになり、ページングモードが無効であることを示します。（LED はボタンを押すと消え、ボタンが解除されると再度点灯します） *初期設定 = Paging Mode On（ページングモード　有効）*

＊ページングモード

ページングモード　無効

ページング音の音程

ベースのページングボタンを押すと、そのベースと通信しているスキャナがピーッと鳴り始めます。(see ページ（呼出し）ボタン on page 3-3) 下記のバーコードの１つを読み取ることによってスキャナのページング音の高さを設定することができます。*初期設定 = Low（低　1000Hz）*

＊低（1000Hz）

中 (3250 Hz)

高 (4200 Hz)

エラーインジケーター

ブザー音の音程：ベースユニットのエラー発生時

CCB01-010BT ベースをホストシステムへの通信上の問題などエラーが発生した際に特定のピッチでピーッと鳴るように設定することができます。以下のバーコードによって、エラー発生時にベースが発するエラーブザー音の音程を変更できます。*初期設定 = Low（低）*

* 低 (250 Hz)

中 (3250 Hz)

高 (4200 Hz)

ブザー音の回数：ベースのエラー発生時

エラー発生時に CCB01-010BT ベースから発せられるブザー音や LED の点滅回数を 1 ～ 9 回まで設定することができます。例えば、この設定をブザー 5 回に設定すると、エラーに反応してブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にあるから数値（1 ～ 9）バーコードを読み取り、次に Save （保存）バーコードを読み取ります。プログラミングチャート *初期設定＝ 1*

ベース：エラー発生時のブザー回数および LED 点滅

スキャナレポート

下記のバーコードを読み取ることで、接続されたスキャナについてのレポートを生成することができます。レポートには、ポート、ワークグループ、スキャナ名、アドレスが表示されます。スキャナに名前を割り当てるにはメニューコマンドシンタックス（構文）, page 10-1 を参照してください。

スキャナレポート

スキャナのアドレス

下記のバーコードを読み取ることによって、ご使用のスキャナのアドレスを決定することができます。

スキャナのアドレス

ベースまたはアクセスポイントのアドレス

下記のバーコードを読み取ることによって、ご使用のベースまたはアクセスポイントのアドレスを決定することができます。

ベースアドレス

スキャナモード

Xenon はスキャナ 1 台または複数台のモードや、チャージベースやアクセスポイント以外の Bluetooth 対応機器とあわせて機能することができます。

充電限定モード

スキャナを充電したいけれど、ベースと通信させたくない場合があるかもしれません。例えば、スキャナをアクセスポイントや他の Bluetooth 対応機器と通信しており、スキャナを充電する必要があるものの、その既存の通信を維持したい場合などです。

ベースを充電限定モードに設定するには、そのベースにスキャナを 1 台接続しなければなりません。ベースにスキャナを接続したら、Charge Only Mode（充電限定モード）バーコードを読み取ってください。その後、そのベースに差し込まれるスキャナはベースと通信せずに充電できます。設定のために使用したスキャナは、ベースに接続したままとなります。そのスキャナとの通信を切断するには、スキャナとの解除 on page 3-10 を読み取ってください。

充電限定モード

*Note: 充電限定モード時、スキャナは定期的に起動し、ピーッとブザーを鳴らします。この設定を変更するには、**" 起動ブザー " on page 4-1* *を参照してください。*

スキャナを充電し、ベースと通信を接続したい場合は、Charge and Link Mode（充電および通信モード）を使用してください。ベースが充電限定モードに設定されている場合、充電および通信モードに設定しなおすためには、まずスキャナ 1 台をそのベースと接続しなければなりません。ベースのバーコードを読み取って、スキャナを接続してから Charge and Link Mode を読み取ります。*初期設定 = Charge and Link Mode（充電および通信モード）*

* 充電および通信モード

通信モード

Locked Link Mode（通信固定モード）と Open Link Mode（通信オープンモード）は、各々異なるアプリケーションに対応するモードです。これらモードを切り換えるには、下記の説明にある該当バーコードを読み取ってください。*初期設定 = Open Link Mode*（通信オープンモード）

通信固定モード：スキャナ 1 台の場合

通信固定モードを使うと、スキャナをベース 1 台と通信させている時に誤って他のスキャナをそのベースと通信を確立しないように阻止できます。他のスキャナをベースに差し込んだ場合、スキャナは充電されますが、通信はできません。

通信固定モード
(Single Scanner)

異なるスキャナを使用する場合は、Unlink Scanner （スキャナとの通信解除）のバーコードを読み取って元のスキャナとの通信を切断します。（スキャナモード , page 3-9 を参照してください。）

通信オープンモード

納品されたばかりのときや初期設定に戻された場合、スキャナはベースまたはアクセスポイントと接続していません。スキャナをベースまたはアクセスポイントに差し込むと通信が確立されます。通信オープンモードの場合、新しいスキャナをベースに差し込むかアクセスポイント通信バーコードを読み取ると新しい通信を確立します。スキャナを 1 台ベースに差し込むかアクセスポイント通信バーコードをスキャンするたびにそのスキャナはベースまたはアクセスポイントに接続し、以前に接続していたスキャナとの通信は解除されます。

* 通信オープンモード
（シングルスキャナ）

スキャナとの通信解除

ベースまたはアクセスポイントとスキャナが通信している場合、まずスキャナの通信を解除しなければ次の新しいスキャナと接続することができません。元のスキャナとの通信解除を行うと、ベースまたはアクセスポイントは通信を切断します。ベースまたはアクセスポイントとスキャナの通信を解除するには、下記の Unlink Scanner（スキャナとの解除）バーコードを読み取ってください。

スキャナとの解除

通信固定されたの上書き

チャージベースまたはアクセスポイントにリンクされた故障したり紛失したスキャナを交換する必要がある場合、新しいスキャナで以下の Override Locked Scanner（ロックスキャナの無効化）バーコードを読み取り、スキャナをベースユニットに置くか、Access Point linking バーコードを読み取ります。ロックされたリンクが無効化され、故障または紛失したスキャナのベースユニットまたはアクセスポイントとのリンクが削除され、新しいスキャナがリンクされます。

通信固定されたの上書き
（シングルスキャナ）

通信範囲外警告

ベースの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、ベースとスキャナの両方からアラーム音が鳴ります。アクセスポイントの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、スキャナからアラーム音が鳴ります。そのスキャナがベースまたはアクセスポイントに近づくか、ベースまたはアクセスポイントが別のスキャナと接続するか、もしくはアラーム音継続の設定時間が経過す

ると、アラームは止まります。スキャナまたはベースのアラームを有効にし、アラームが鳴る時間を設定するには下記の該当するバーコードを読み取り、その後、裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数値を読み取り、タイムアウト時間（0 〜 3000 秒の間）を設定し、Save（保存）を読み取ります。*初期設定＝ 0 秒（アラームなし）*

ベースアラームの鳴動時間

Note: アクセスポイントにはベースアラームがありません。

スキャナアラームの鳴動時間

Note: バーコード読み取り時に通信範囲外にいる場合、アラームを設定していなくても、エラーブザーが鳴ります。ベース、アクセスポイントまたはホストへデータを送信することができない場合でも、同じくエラーブザーが鳴るようになっています。

警告ブザーの種類

下記から該当するバーコードを読み取り、裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数値（0 〜 7）のバーコードと Save を読み取ることで、スキャナや CCB01-010BT ベースのアラーム音の種類を変更することができます。*初期設定＝ 0*

アラーム音の種類：

設定	音
0	3 回長くピーッという音、音程 - 中
1	3 回長くピーッという音、音程 – 高
2	4 回短くピーッという音、音程 – 中
3	4 回短くピーッという音、音程 – 高
4	1 回鳥のさえずりのような音、音程 – 中
5	鳥のさえずりのような音が 2 回 + 1 回、音程 – 中
6	1 回鳥のさえずりのような音、音程 – 高
7	鳥のさえずりのような音が 2 回 + 1 回、音程 – 高

ベースアラームの種類

スキャナアラームの種類

スキャナパワータイムアウトタイマー

Note: スキャナパワータイムアウトタイマーは、コードレスシステムのみに適用されます。有線スキャナには適用できませんので、ご注意ください。コードつきスキャナには適用できませんので、ご注意ください。

指定時間内に動作しない場合、スキャナは低パワーモードに入ります。適切なスキャナパワータイムアウトバーコードを読み取って、タイムアウトの長さを秒単位で変更してください。

Note:　タイムアウトの長さを「0」にすると、タイムアウトがない状態になります。

タイムアウト時間内にスキャナのトリガーを引かなかった場合、スキャナはパワーダウンモードに入ります。トリガーが有効・無効に関わらず、タイマーはリセットされます。スキャナがベースユニットに置かれていて、かつバッテリーが充電中の場合は、パワーダウンモードにはなりません。*初期設定 =3,600 秒*

0 秒

200 秒

400 秒

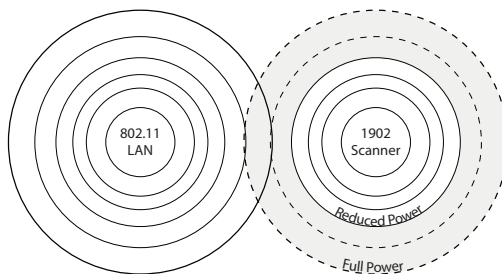
900 秒

＊3600 秒

7200 秒

Note:　スキャナがパワーダウンモードに入っている時にトリガーを引くと、パワーが戻ります。起動ブザーが鳴り、無線通信に入るまで数秒の遅れが発生します。その後、スキャナを使用できます。

フレキシブルパワーマネージメント

ネットワーク性能に問題があり、スキャナが他の装置と混線していると思われる場合は、スキャナの出力を下げることができます。これにより、下記の図に示されるとおり、スキャナまたはアクセスポイントとベース間の通信可能範囲が縮小されます。

下記のバーコードの１つを読み込むことで、以下のいずれかの出力を選択して設定することができます。完全出力（100%）[2.5mW、4dBm]、出力 - 中（35%）[0.875mW、0dBm]、出力 - 中低（5%）[0.125mW、-9dBm]、出力 - 低（1%）[0.025mW、-16dBm]　*初期設定 = Full Power（フルパワー）*

BT_TXP100.

＊フルパワー

BT_TXP35.

出力 - 中

BT_TXP5.

出力 - 中低

BT_TXP1.

出力 - 低

バッチモード

バッチモードは、スキャナがベースまたはアクセスポイントの通信範囲外にあるとき、または棚卸をするときのバーコードデータ保存に使用します。スキャナが通信範囲内に戻ったとき、あるいは記録が手作業で送信されたとき、データはベースまたはアクセスポイントへ送信されます。

Note:　1 台のベースまたはアクセスポイントに対して複数のスキャナを使用する際、バッチモードには限界があります。マルチリンクモードを使用すれば、最多 7 台のスキャナを 1 台のベースまたはアクセスポイントに接続することが可能です。ただし、スキャナが通信範囲エリアを常に出入りしている場合、蓄積された、もしくはバッチ処理された読み取りデータが失われる可能性があります。

Automatic Batch Mode （自動バッチモード）はスキャナがベースまたはアクセスポイントの通信範囲外にあるとき、バーコードデータを保存します。スキャナが通信範囲内に戻ると、データはベースへ自動的に送信されます。スキャナのバッファスペースが満杯になると、バーコード読み取り時にエラーブザーを鳴らします。バーコードを再度読み取るには、スキャナをベースまたはアクセスポイントの通信範囲内に戻り、データが送信できるようにしなければなりません。

Inventory Batch Mode （棚卸バッチモード）ではベースまたはアクセスポイントの通信範囲内に居る・居ないに関わらず、バーコードデータを保存します。保存されたデータをベースへ送信するには、スキャナをベースに差し込むか、棚卸の記録を送信 (page 3-17) の Transmit Inventory Records（棚卸レコードを送信）を読み取ります。スキャナのバッファスペースが満杯になると、バーコード読み取り時にエラーブザーを鳴らします。バーコードを再度読み取るには、データをベースまたはアクセスポイントへ送信しなければなりません。一旦データを送信すると、スキャナ内のデータはクリアされます。

Persistent Batch Mode （持続バッチモード）はデータがベースまたはアクセスポイントに送信してもスキャナに保持される以外、Inventory Batch Mode と同じです。1 回以上送信したい場合は、このモードを使用してください。スキャナのバッファをクリアするには、すべてのコードを削除 (see page 3-17) のバーコードをスキャンしてください。

初期設定 = Batch Mode Off.　（バッチモード　無効）

BATENA0.

＊バッチモードオフ

BATENA1.
自動バッチモード

BATENA2.
棚卸バッチモード

BATENA3.
持続バッチモード

バッチモード：ブザー音

バッチモード使用時に棚卸バッチモード（page 3-14）（バッチモードブザー　有効）を読み取ると、各バーコードを読み、そして保存するたびにスキャナがカチッと鳴るように設定できます。Batch Mode Beep（バッチモードブザー）が有効の場合、各バーコードがホストに送信されるとクリック音が鳴ります。この音を無効にするには、Batch Mode Beep Off（バッチモードブザー 無効）をスキャンしてください。*初期設定 = Batch Mode Beep On（バッチモードブザー　有効）*

BATBEP0.
バッチモードブザー　無効

BATBEP1.
＊バッチモードブザー　有効

バッチモード：保存形式

バッチモードにおいて、スキャナがデータを保存する際、フラッシュメモリに保存するか RAM に保存するかを選択できます。

フラッシュ保存：スキャナが低出力になる前に、まだ送信していないデータをすべてフラッシュメモリに書き込みます。スキャナが再起動した際もデータはまだ残っています。しかし、スキャナのパワーダウンタイムアウトに達した場合やバッテリー残量が非常に少なくなると、未送信のデータがあってもスキャナは低出力になります。

RAM 保存：未送信データがスキャナに入っているとき、スキャナはパワーダウンタイムアウトに達しても低出力になりません。しかし、バッテリー切れになった場合は、スキャナは低出力になり、データは失われます。

初期設定 = Flash Storage（フラッシュメモリに保存）

BATNVS1.
＊フラッシュメモリに保存

BATNVS0.
フラッシュメモリに保存

バッチモード：個数

バッチモードにおいて、同一のバーコードを何個も送信するのではなく、バーコードの個数を送信したいことがあるかもしれません。例えば、Batch Mode Quantity Off（バッチモードの個数　無効）の状態で XYZ という 3 つのバーコードを読み取ったとすると、そのデータを送信したときには、XYZ が 3 個表示されます。Batch Mode Quantity On（バッチモードの個数　有効）と（page 3-16）の Quantity Codes（個数コード）を使えば代わりに「XYZ, 00003」と出力することができます。

Note: 出力した内容をフォーマットしたい場合、例えばバーコードデータと数量の間に CR や Tab を挿入したいときは、データフォーマット beginning on page 6-1 のデータフォーマットの項を参照してください。

初期設定 = Batch Mode Quantity Off（バッチモードの個数　無効）

＊バッチモードの個数　無効

バッチモードの個数　有効

個数の入力

page 3-16 の Quantity Codes （個数コード）を用いれば、最後に読み取ったバーコードについて、9999 までの個数（初期設定 = 1）を入力できます。個数の数字は右から左へ移動しますので、5 桁目の数字が読み込まれると既に読み込んだ 1 桁目の数字がなくなり、2・3・4 桁目の数字が左へずれて、新たな 1 桁を迎え入れます。

例えば、個数が 1234 に設定されたあとで、Quantity 5 バーコードを読み取ると、1 が脱落し、個数は 2345 になります。

Example:　　例：最後に読み取ったアイテムに 5 という個数を付与する場合
1. 当該アイテムのバーコードを読み取ります。
2. Quantity 5 のバーコードを読み取ってください。

Example:　　例：最後に読み取ったアイテムに 1,500 という個数を付与する場合
1. 当該アイテムのバーコードを読み取ります。
2. Quantity 1 のバーコードを読み取ってください。
3. Quantity 5 のバーコードを読み取ってください。
4. Quantity 0 のバーコードを読み取ってください。
5. Quantity 0 のバーコードを読み取ってください。

Example:　　例：個数を 103 から 10 に変更する場合

間違った個数を訂正するには、Quantity 0 のバーコードを読み取り、間違った数字を置き換えます。その後、正しい数量コードを読み取ります。

1. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 1030 に変更します。
2. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 0300 に変更します。
3. Quantity 1 バーコードを読み取って個数を 3001 に変更します。
4. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 0010 に変更します。

初期設定＝ 1

個数コード

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

バッチモード：出力順序

バッチモードでデータを送信する際には、データを FIFO（先入れ先出し）で送信するか、LIFO（後入れ先出し）で送信するかを選択してください。*初期設定 = Batch Mode FIFO （先入先出）*

＊バッチモード　先入れ先出し

バッチモード　後入れ先出し

レコードの合計件数

バッチモードの間に読み取ったバーコードの数量を出力したい場合は、Total Records (レコードの合計件数) を読み取ってください。

レコードの合計件数

最後のコードを削除

バッチモードにおいて、最後に読み取ったバーコードを削除したい場合は Delete Last Code（最後のコードを削除）を読み取ってください。

最後のコードを削除

すべてのコードを削除

スキャナのバッファからバッチモードで蓄積されたすべてのデータを消去したい場合は、Clear All Codes（すべてのコードを削除）を読み取ってください。

すべてのコードを削除

保存したデータをホストへ送信

Inventory Batch Mode (棚卸バッチモード、(see 棚卸バッチモード on page 3-14) において、保存されたすべてのデータをホストシステムへ送信するには、下記のバーコードを読み取ってください。

棚卸の記録を送信

バッチモード：送信ディレイ（間隔）

蓄積されたスキャンデータをホストシステムへ送信する際、送信が速すぎてアプリケーションが処理しきれないことがあります。蓄積されたスキャンデータ間にディレー（間隔）を設定するには、下記のディレーのいずれかを読み取ってください。*初期設定＝ Off*

Note: ほとんどの場合、ディレーは短い（250 ミリ秒）ことが理想です。しかし、より長いディレーを設定することもできます。詳細については、テクニカルサポート (page 13-1) にご連絡ください。

＊バッチモードの送信ディレー　無効）
（ディレイなし）

バッチモードの送信ディレー　短
(250 ms)

BATDLY500.

バッチモードの送信ディレー　中
(500 ms)

BATDLY1000.

バッチモードの送信ディレー　長
(1000 ms)

複数スキャナ操作モード

Note:　Multiple Scanner Operation Mode（複数スキャナ操作モード）では、1 台のベースまたはアクセスポイントにスキャナを最多 7 台まで接続することができます。その 7 台のスキャナのうち、1 台の通信を解除するか、通信可能範囲の外へ持ち出さなければ、8 番目のスキャナを追加することはできません。

スキャナを複数スキャナ操作モードに追加するには、以下のバーコードを読み取ってください。このバーコードを読み取ると、スキャナはベースまたはアクセスポイントとの通信から解除されるため、再度接続するには、そのスキャナをベースに差し込むか、アクセスポイント通信バーコードをスキャンしなければなりません。

BASCON2,DNG3.

複数スキャナでの操作

スキャナ名

御使用の各スキャナを識別できるように、それぞれに名前をつけることができます。例えば、ベースまたはアクセスポイントから送信された画像コマンドを受信するスキャナに独自の識別名称をつけたいときなどです。

初期設定名は ScannerName_Model_SN_XXXXXXXXXX です。ベースに複数のスキャナが接続されており、それらすべての同一の初期設定名が付いている場合、ベースに最初に接続されたスキャナがコマンドを受信します。同一の初期設定名がついている一連のスキャナを命名し直す際は、1 台を残してすべてのスキャナをベースとの通信から解除してください。

命名し直しの操作は page 3-19 バーコードを読み取るか、シリアルコマンド「*ScannerName*:BT_NAMNEWname」を送信します。（*NewName* は新しいスキャナの名前）他のスキャナの名称も変更したい場合は、1 台ずつ接続し、各スキャナに「ScannerName:BT_NAMname」（Xenon の場合、「Xenon:BT_NAMname」）というコマンドを繰り返します。

スキャナに順序だった番号で命名し直すには、下記のバーコードを読み取ってください。名称を変更するたびに、Reset（リセット）コードを読み取り、スキャナがベースまたはアクセスポイントと再度接続するまで待ってから、次のスキャナを命名し直すためのバーコードを読み取ってください。

BT_NAM0001.

0001

BT_NAM0002.

0002

BT_NAM0003.

0003

0004

0005

0006

0007

リセット

下記の Scanner Name（スキャナ名）バーコードを読み取り、その後スキャナ名として数字を読み取ることも可能です。例えば、通信済のスキャナを「312」と命名したい場合、下記のバーコードを読み取り、本書の裏表紙にあるプログラミングチャートから 3、1、2 のバーコードを読み取り、Save（保存）を読み取ってください。Reset バーコードを読み取り、スキャナがベースに再度接続されるまで待ってください。

スキャナ名

アプリケーションワークグループ

ご使用のコードレスシステムでは、１台のベースに対し最多 7 台までスキャナを接続することができます。また、最高 7 つまでワークグループを設定できます。すべてのスキャナを同一の設定にしたい場合は、複数のワークグループを使用する必要はありません。一方、各スキャナに独特な設定（ブザー音量、プリフィクス / サフィックス、データフォーマッターなど）を施したい場合は、各スキャナが独自のワークグループを持つように設定し、各スキャナを独立させることができます。例えば、小売 / 倉庫のアプリケーションでは、倉庫と小売店舗内でそれぞれ異なったデータをバーコードに付して使用したいことがあるかもしれません。その場合、小売店舗内のスキャナをすべて１つのワークグループに割り当て、倉庫内のスキャナをすべてもう１つのワークグループに割り当てることが可能です。これにより、小売店舗内であれ倉庫であれ、変更点は該当するワークグループ内のスキャナすべてに適用されます。ハネウェルの設定ツール、EZConfig (page 9-2) では、複数のスキャナ、複数のワークグループへの設定変更が容易にできるようになっています。

スキャナは、自らが使用しているメニュー設定を保存しています。スキャナがベースまたはアクセスポイントに接続または再接続するたびにベースまたはアクセスポイントからスキャナにそのワークグループの最新設定が送信され、そして更新されます。また、スキャナはベースまたはアクセスポイントによって処理されたメニュー設定変更も受信します。スキャナがベースまたはアクセスポイントから外されて別のベースまたはアクセスポイントに差し込まれたりすると、そのスキャナに元々割り当てられていたワークグループの新しい設定で更新されます。例えば、最初にベースと接続した際はワークグループ 1 だったスキャナは、2 台目のベースでもワークグループ 1 となり、関連の設定が付与されます。

アプリケーションワークグループセレクション

ここでは、下記のバーコードを読み取ることによってスキャナを特定のワークグループに割り当てることができます。その後、ご使用のアプリケーションが必要とする設定（ブザー音量、プリフィクス / サフィックス、データフォーマッターなど）を設定することができます。*初期設定 = Group 0（グループ　0）*

＊グループ　0

グループ　1

グループ　2

グループ　3

グループ　4

グループ　5

グループ　6

初期設定へのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ

下記のバーコードを読み取ると、すべてのワークグループを工場出荷時設定に戻します。

工場出荷時設定にリセット：
すべてのワークグループ

工場出荷時設定の詳細については、メニューコマンド , beginning on page 10-3 のメニューコマンドの表を参照してください。標準製品の各コマンド初期設定は「*」で示されています。

Note: このバーコードを読み取ると、スキャナとベースの設定がリセットされ、通信が解除されます。通信を再確立するためには、スキャナをベースに差し込まなければなりません。詳細は、スキャナモード , page 3-9 のスキャナモードを参照してください。

ご使用のスキャナが複数スキャナ操作モードになっている場合は、すべてのスキャナがベースに再接続されて、設定が変更されるまで、30 秒間ブザー音が鳴り続けます。

カスタムデフォルトへのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ

すべてのワークグループをカスタムデフォルト設定に戻したい場合は、下記の Custom Product Default Settings（カスタムデフォルト設定）バーコードを読み取ってください。カスタムデフォルトがない場合は、初期設定へリセットされます。カスタムデフォルトについての詳細は、See ″カスタムデフォルトの設定″ on page 1-7 のカスタムデフォルトの設定を参照してください。

カスタムデフォルト設定：
すべてのワークグループ

Note: このバーコードを読み取ると、スキャナとベースの設定がリセットされ、通信が解除されます。通信を再確立するためには、スキャナをベースに差し込まなければなりません。詳細は、スキャナモード , page 3-9 のスキャナモードを参照してください。

ご使用のスキャナが複数スキャナ操作モードになっている場合は、すべてのスキャナがベースに再接続されて、設定が変更されるまで、30 秒間ブザー音が鳴り続けます。

Bluetooth 対応機器との併用

スキャナはチャージベースまたはアクセスポイントや他の Bluetooth 対応機器とも併せて使用することが可能です。他の Bluetooth 対応機器には、PC、ノート型 PC、PDA/ ハンディターミナルなどを含みます。

Bluetooth HID キーボード接続

お使いのスキャナは、iPad やスマートフォン、ノート型 PC など Bluetooth 対応機器 と接続することが可能です。キーボードによるデータ入力と同じように、読み取ったデータが画面に表示されます。Bluetooth 機器と通信を確立するには、以下の手順に沿ってください。

1. Bluetooth HID Keyboard Connect （Bluetooth HID キーボード接続）を読み取ります。

Bluetooth HID キーボード接続

2. Bluetooth 対応 ホストデバイスを立ち上げて、他の Bluetooth 機器を検索します。（ホストデバイスのユーザーズガイドを参照してください）
3. ホストデバイスがスキャナを検知したら、スキャナ名を選択してください。60 秒以内に入力する PIN コードをランダムに表示します。下記の Bluetooth PIN Code（Bluetooth PIN コード）を素早く読み取って、後続ページの番号バーコードを読み取ってください。最後に Save (保存) を読み取ります。

Bluetooth PIN コード

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

保存

バーチャルキーボード

スキャナが iPad やスマートフォン、ノート型 PC など接続されると、スキャナのトリガーを 2 回素早く引くことでバーチャルキーボード入力ができます。

Bluetooth HID キーボードとの通信解除

お使いのスキャナが、Bluetooth HID キーボード接続 (page 3-21) によって iPad やスマートフォン、ノート型 PC のようなホストデバイスに直接接続されている場合、ベースユニットに再接続する為に Bluetooth 接続を一旦切断する必要があります。Bluetooth HID Keyboard Disconnect（Bluetooth HID キーボード 通信切断）を読み取って、ホストデバイスとスキャナ間の通信を切断してください。ベースユニットまたはアクセスポイント上の接続バーコードを読み取って、スキャナを再接続してください。

Bluetooth HID キーボード 通信切断

Bluetooth PC/ ノート型 PC シリアルポートとの通信確立

下記の Non-Base BT Connection（ベースなし BT 接続）バーコードを読み取ると、スキャナを他の Bluetooth 対応機器（PC/ ノート型 PC など）と併せて使用できるようになります。この設定を有効にすると、スキャナは RS232C インターフェースのスキャナと同様の動作を行い、読み取ったデータを出力する為に PC 上の COM ポートを開く必要があります。

下記のバーコードを読み取った後、ご使用の Bluetooth 対応機器添付の取扱説明書に従い、スキャナを認識し、接続してください。スキャナを持って通信可能範囲の外に出ると、通信可能範囲内に戻ってきたとしても Bluetooth 対応機器に接続しませんので、ご注意ください。チャージベースに再接続したい場合は、通信固定されたの上書き , page 3-10 を参照してください。

Note: スキャナをチャージベースまたはアクセスポイント以外の Bluetooth 対応機器と併せて使用している場合、複数のワークグループのオプションは使用できません。

Non-Base BT Connection

PDA やモバイルデバイスとの　ベースなし BT 接続

スキャナを PDA やハネウェルのハンディターミナルと併せて使用することもできます。下記のバーコードを読み取り、ご使用の Bluetooth 対応機器に添付されていた取扱説明に従って、スキャナを認識し、接続してください。

PDA/ ハンディターミナル用 Bluetooth 接続

スキャナの Bluetooth 暗証コード変更

一部の機器には、Bluetooth セキュリティ機能の一環として、暗証コードが必要です。スキャナの初期設定の暗証記号は 1234 で、ご使用の PDA または PC に初めて接続する際、入力が必要かもしれません。暗証コードは 1 ～ 16 文字の間でなければなりません。暗証コードを変更するには、下記のバーコードを読み取り、その後本書の裏表紙にあるプログラミングチャートから該当の数値バーコードを読み取ります。Save（保存）を読み取って選定した内容を保存してください。

Bluetooth 暗証コード

Bluetooth/ISM 帯域ネットワーク干渉の最小化

この設定は、コードレスエリアイメージングシステムの再接続時の動作をカスタマイズし、利便性を確保しながら、干渉を低く抑えるための最適な妥協点を見出すのに役立ちます。

Note: ISM 帯域とは、無線ネットワーク、コードレス電話、Bluetooth が使用する 2.4 GHz から 2.48 GHz の周波数帯域を指します。

自動再接続モード

自動再接続は、接続が中断されたことが検出されたときに、スキャナが自動的に再接続のプロセスを開始するか否かを制御するものです。Auto Reconnect On（自動再接続　有効）のバーコードを読み取ると、スキャナはユーザーの介入なしにただちに再接続のプロセスを開始します。*初期設定 = Auto Reconnect On（自動再接続　有効）*

＊自動再接続　有効

BT_ACM0.
自動再接続　無効

Note: Bluetooth のインターフェースモジュールに接続している場合には、Auto Reconnect Off（自動再接続 無効）に設定してください。

下の表は、Auto Reconnect（自動再接続）が有効 および無効設定時の結果です。

事象	自動再接続　有効	自動再接続　無効
スキャナが通信範囲外にあるとき	自動的に再接続されます。再接続を最高限度回数まで試行しても成功しない場合は、トリガーを引くか、スキャナをベースまたはアクセスポイントに差し込むか、接続バーコードを読み取るかのいずれかによってスキャナの再接続を行ってください。(See ″再接続試行最高限度回数″ on page 3-25) の再接続試行最高限度回数を参照	スキャナはトリガーを引くか、アクセスポイント接続バーコードを読み取ることによって再度接続されます。
(ファームウェアのアップグレードもしくは電源再起動により) ベースまたはアクセスポイントがリセットされたとき	スキャナは通信範囲外にあるかのように動作します。	ベースまたはアクセスポイントがオフの間は、再接続を試行しません。再接続を始めるためには、トリガーを引いてください。
スキャナのパワータイムアウトタイマーの設定によりスキャナの電源がオフのとき (see page 3-11) 参照	再接続を行うには、トリガーを引くか、接続バーコードを読み込むか、スキャナをベースに差し込むかのいずれかを行います。 (注意：スキャナは起動時に再接続しますが、起動するには上記の操作いずれかを行なう必要があります。)	
ファームウェアのアップグレードによりスキャナがリセットされたとき	自動的に再接続されます。	
バッテリー交換により、スキャナがリセットされたとき	自動的に再接続されます。	
スキャナが別のベースユニットに差し込まれたとき	自動的に新しいベースと接続します。	

再接続試行最高限度回数

再接続試行最高限度回数は、スキャナがベースまたはアクセスポイントとの接続を試みる回数を制御します。接続セットアッププロセスの間、スキャナはベースまたはアクセスポイントを捜し、接続すべく発信を行います。発信をし続けることによって、ISM 帯域の他のユーザーに影響するのを避けるため、この設定によって接続試行回数が制限されています。再接続試行最高限度回数に達すると、スキャナはベースまたはアクセスポイントへの再接続を断念します。トリガーを引くか、接続バーコードを読み込むか、スキャナをベースまたはアクセスポイントに差し込むかのいずれかを行うことで試行回数がリセットされ、スキャナは再度接続を試みるようになります。

Maximum Link Attempts（再接続試行最高回数）バーコードを読み取り、その後裏表紙の内側から設定試行回数（0 ～ 100）を読み取ってください。Save（保存）を読み取って、設定を保存します。*初期設定＝ 0*

再接続試行最高限度回数

Note: 自動再接続モードが有効のとき、再接続試行最高限度回数を 0 に設定すると、スキャナはパワータイムアウトタイマー設定 (see page 3-11) 参照）時間が経過するまで、通信を試みます。自動再接続モードが無効のとき、再接続試行最高限度回数を 0 に設定すると、スキャナはトリガーが引かれたあと 1 回だけ再接続を試みます。

再接続タイムアウト

再接続タイムアウトは、再接続試行中のアイドリング時間を制御します。ベースまたはアクセスポイントとの接続を再試行するには、一般に最高 5 秒ほどかかります。これはスキャナが実際にコンタクトしようと試みている時間です。再接続タイムアウトは 1 回接続を試み終わってから次に試み始めるまでの経過時間を秒単位で制御します。

Note: 試行時の所要時間は、1 台のベースユニットまたはアクセスポイントに接続されているスキャナの台数によって異なります。接続に成功したときには、さらに 7 秒かかることもあります。

Relink Time-Out（再接続タイムアウト）バーコードを読み取り、その後裏表紙の内側から設定秒数（0 ～ 100）を読み取ってください。Save（保存）を読み取って、設定を保存します。*初期設定 =3 秒*

再接続タイムアウト

Bluetooth ／ ISM ネットワークアクティビティの例

初期設定

スキャナが通信範囲外に出ると、ベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を何回も試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。 1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。

*再接続試行最高限度回数 15、
他の値は初期設定値の場合：*

スキャナが通信範囲外に出ると、ベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を 15 回試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。15 サイクル（ 8 x 15 =120 ）すなわち、約 2 分後に、スキャナはベースユニットまたはアクセスポイントへの接続試行を止めますが、バッチモードで保存されたであろうバーコードは保存されています。 1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。

*自動再接続モードを 0 に設定、
再接続試行最高限度回数 15、
他の値は初期設定値の場合：*

スキャナが通信範囲外に出ても、再接続を一切試みません。トリガーを引くと、ベースユニットまたはアクセスポイントへのリンクを 15 回試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。15 サイクル（ 8 x 15 =120 ）すなわち、約 2 分後に、スキャナはベースユニットまたはアクセスポイントへの接続試行を止めますが、バッチモードで保存されたであろうバーコードは保存されています。 1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。他にどのような事象によって再接続プロセスが始まるか、自動再接続モード , page 3-24 ページの自動再接続モードを参照してください。

自動再接続モードを 1 に設定、
再接続試行最高限度回数 0、
再接続タイムアウトを 10 に、
スキャナパワータイムアウトを 1800 に設定した場合：

Note: See スキャナパワータイムアウトタイマー on page 3-11.

スキャナは 1 回の試行開始から次回の試行開始まで、15 秒の間隔でベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を試みます。30 分経過すると、スキャナの電源がオフになります。

ホストコマンドの認知

一部のアプリケーションでは、送信されてきたバーコードをホストターミナル（ないしサーバー）が承認するか、または却下することを要求し、この処理をユーザーに知らせるよう要求します。ホスト ACK モードでは、スキャナは各スキャン後に返答を待ちます。視覚的聴覚的レスポンスでオペレーターはフィードバックを得られます。ホスト ACK を有効にすることによってスキャナはホストシステムからのコマンドに反応する状態になります。

Note: ホスト ACK を 9600 未満のボーレートで使用すると、システム性能が落ちますので、ご注意ください。

ホスト ACK を正常に作動させる為には、下記の条件を満たす必要があります。

- コードレスシステムがホストのポート RS232 (ターミナル ID = 000) もしくは USB COM エミュレーション（ターミナル ID ＝ 130）に設定してください。
- RTS/CTS の初期設定は無効です。ホストシステムが RTS/CTS を必要としている場合は、有効にしなければなりません。
- ホスト ACK を有効にしてください (page 3-27)
- 区切り文字にはカンマが必要です。
- ホストターミナルのソフトウェアには、バーコードデータを解釈し、かつデータの内容によって決定を下す能力が必要とされます。スキャナへ適切なエスケープコマンドを送信する能力が必要です。

エスケープコマンドは「アプリケーションワークグループ」を介してスキャナへ送信されます。コマンドが送信されると、そのグループ内のスキャナすべてがコマンドに反応します。そのため、各スキャナにホスト ACK モードで自分専用のグループを割り当てることを推奨します。

スキャナが反応するコマンドは page 3-27 に列挙されています。[ESC] は Hex 値での 1B です。典型的なコマンドストリングは y <ESC> x で、「 y 」はアプリケーションワークグループ番号、「 <ESC> x 」はエスケープコマンド、コンマは終止符で必要です。(“y” が特定されていない場合、コマンドは初期設定の Application Work Group 0 に送信されます。)

Example: コマンドをつなげて、カスタマイズされたリスポンスシーケンスを作成することもできます。以下はコマンドストリングの一例です。

0[ESC]4,[ESC]5,[ESC]6,

上記の例では、アプリケーションワークグループがゼロのスキャナが、始めは小さい音でピーッと、その後中位の音でピーッと、さらにその後大きな音でピーッと鳴ります。

Example: ファイルのどのアイテムにもピーッ音が必要ですが、ファイルにアイテムがない場合、エラーブザーが必要です。この場合、

オンファイル製品用に [ESC]7　がホストへ送信されます。

非オンファイル製品用に [ESC]8、[ESC]8 がホストへ送信されます。

バーコードがスキャンされると、スキャナはホスト ACK シーケンスまたはタイムアウト（初期設定 10 秒）になるまでのタイムアウト期間を入力します。

ホスト ACK が有効なとき、システムは次のように機能します。

- スキャナはバーコードを読み、ホストシステムに送信すべく、ベースユニットまたはアクセスポイントにデータを送りますスキャナがエスケープコマンドを受信するまで音や視覚によるインジケーターは発せられません。読み取りに成功すると、スキャナの読み取り用ライトが消えます。
- · 以下のいずれかになるまで、スキャナの操作は中止されます。1) ベースユニットを介して、ホストシステムからの有効なエスケープ・ストリングを受信する。2) スキャナがタイムアウトになる。
- 上記の 1) ないし 2) の条件が満たされると、スキャナは再び読み取り準備が整い、プロセスが繰り返されます。

スキャナが 10 秒以内に有効なエスケープコマンドを受信しなければ、タイムアウトが起きます。タイムアウトはエラーブザーで示されます。タイムアウトになった場合、ユーザーはホストシステムをチェックしてスキャナへの応答がなぜ受信されなかったのかを確認してください。

ホスト ACK

ホスト ACK　有効

＊ホスト ACK　無

ホスト ACK のレスポンス

コマンド	動作
[ESC] a,	2 回ピーッと鳴り、設定変更に成功したことを示します。
[ESC] b,	エラーブザーが鳴り、設定変更が成功しなかったことを示します。
[ESC] 1,	緑の LED が 135 秒間点灯し、その後に小休止します。
[ESC] 2,	緑の LED が 2 秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 3,	緑の LED が 5 秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 4,	小さい音で 1 回ピーッと鳴ります。
[ESC] 5,	中位の音で 1 回ピーッと鳴ります。
[ESC] 6,	大きい音で 1 回ピーッと鳴ります。
[ESC] 7,	連続音で、デコードとホストへの通信が成功したことを示します。
ESC 8, ESC J	ホストへのデコードまたは通信が失敗したことを表すエラーブザーが鳴ります。

4

入力・出力設定

起動ブザー

スキャナは、電源が入るとブザーが鳴るようになっています。コードレスシステムをご使用の場合は、電源を入れるとベースが鳴るようになっています。起動ブザーをお使いにならない場合は、Off(無効) バーコードを読み取ってください。*初期設定 = Power Up Beeper On - Scanner（スキャナ、起動ブザー有効）*

スキャナ、起動ブザー無効

＊スキャナ、起動ブザー有効

コードレスベース、起動ブザー無効

＊コードレスベース、起動ブザー有効

BEL ブザー

ホストからのコマンドに対してブザーを鳴らしたい場合は、下の Beep on BEL On （BEL ブザー　有効）バーコードを読み取ってください。スキャナがホストから BEL キャラクタを受信するたびにブザーが鳴ります。*初期設定 = Beep on BEL Off (BEL ブザー　無効)*

*BEL ブザー　無効

BEL ブザー　有効

トリガークリック音

トリガーを引くたびにクリック音が聞こえるようにしたい場合は、下の Trigger Click On（トリガークリック音　有効）バーコードを読み取ってください。クリック音が聞こえないようにするには、Trigger Click Off（トリガークリック音　無効）コードを読み取ります。（シリアルトリガーモードもしくは自動読み取りモードには影響しません。）初期設定 = Trigger Click Off（トリガークリック音　無効）

＊トリガークリック音

トリガークリック音

読み取り成功インジケーター

ブザー：読み取り成功時

読み取りに成功した場合のブザーを On（有効）または Off（無効）に設定できます。このオプションをオフにすると、グッドリード表示へのブザー応答だけをオフにします。エラー発生時や設定変更時のブザーはすべて鳴動します。*初期設定＝ Beeper –Good Read On（読み取り成功のブザー　有効）*

読み取り成功のブザー　無効

＊読み取り成功のブザー　有効

ブザーの音量：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザーの音量を変更します。*初期設定 = High（高）*

低

中

＊高

Off

ブザーの音程：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の音程（周波数）を変更します。*初期設定 = Medium（中）*

低 (1600 Hz)

＊中（2400 Hz）

高 (4200 Hz)

ブザーの音程：読み取り失敗時およびエラー発生時

エラー発生時にスキャナが発するエラーブザー音の音程を変更できます。*初期設定 = Razz （低）*

＊低 (250 Hz)

中 (3250 Hz)

高 (4200 Hz)

ブザーの長さ：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の長さを変更します。*初期設定＝ Normal （通常）*

＊通常

短

LED：読み取り成功時

読み取り成功時に点灯する LED を On（有効）または Off（無効）に設定できます。*初期設定＝ On （有効）*

＊読み取り成功時の LED　有効

読み取り成功時の LED　無効

ブザーの回数：読み取り成功時

読み取り成功時のブザー回数を 1 ～ 9 に設定できます。読み取り成功時のブザー回数を設定すると、その回数が読み取り成功時のブザーと LED の回数として適用されます。例えば、この設定をブザー 5 回に設定すると、読み取り成功に反応してブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。ブザーと LED の点滅は互いに同期しています。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にあるから数字（1 ～ 9）バーコードと Save（保存）バーコードを読み取ります。プログラミングチャート *初期設定＝ 1*

読み取り成功時のブザーと LED 回数

ブザーの回数：読み取り失敗時およびエラー発生時

読み取り失敗時およびエラー発生時にスキャナが鳴らすブザーや LED の点滅回数を 1 ～ 9 のうちで設定できます。例えば、この設定をブザー 5 回に設定すると、エラーに反応してブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にあるから数値（1 ～ 9）バーコードを読み取り、次に Save （保存）バーコードを読み取ります。プログラミングチャート *初期設定＝ 1*

エラー発生時のブザーと LED 回数

読み取り成功ディレイ

読み取り成功後、次のバーコードを読み取るまでの最短時間を設定します。*初期設定 = 0 ミリ秒 (ディレイなし)*

＊ディレイなし

短いﾃﾞｨﾚｲ (500 ms)

中位のディレイ (1,000 ms)

長いディレイ (1,500 ms)

ユーザー定義の読み取り成功ディレイ

グッドリードディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ（0 ～ 30,000 ミリ秒）を設定し、最後に Save（保存）を読み取ります。

ユーザー定義の読み取り成功ディレイ

マニュアルトリガーモード

マニュアルトリガーモードの場合、バーコードが読み取られるまで、もしくはトリガーを放すまで読み取りを行います。 *初期設定 = Manual Trigger Mode - Normal（マニュアルトリガーモード　標準）*

＊マニュアルトリガー　標準

LED 照明：マニュアルトリガーモード

LED 照明の明るさを調節したい場合は、下記のいずれかのバーコードを読み取ってください。トリガーを引いた時のスキャナの LED 照明を設定することができます。*初期設定 = High（高）*

Note:　LED はカメラのフラッシュのようなものです。部屋の照明が暗い場合、スキャナがバーコードを確認できるよう LED 照明もより明るくなければなりません。

低

中

PWRNOL50.
中高

＊高

シリアルトリガーモード

トリガーを引くか、シリアルトリガーコマンドを用いることで、スキャナを動作させることができます。トリガーコマンド on page 10-3 を参照。シリアルトリガーモードでは、バーコードを読み取るか、停止コマンドが送信されるまで読み取り動作を継続します。指定時間が過ぎた後に自動的にオフになるようにスキャナを設定することもできます。（読み取りタイムアウトを参照。）

読み取りタイムアウト

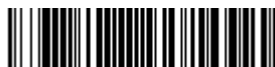
スキャナをシリアルコマンドで動作させる場合、この設定でトリガーのタイムアウト（ミリ秒単位）を設定します。スキャナが一旦タイムアウトになった後は、トリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを用いて動作させることができます。Read Time-Out（読み取りタイムアウト）のバーコードを読み取り、裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数字を読み取って、タイムアウト時間（0 ～ 300,000 ミリ秒）を設定し、次に Save（保存）を読み取ります。*初期値 = 30,000ms（ミリ秒）*

読み取りタイムアウト

プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードでは、周囲の照明を使ってバーコードを検知します。LED はスキャナにバーコードが検知されるまで薄暗く、バーコードを読み取るために明るくなります。室内の照明が暗いと正常に機能しないことがあります。

Note: プレゼンテーションモードでコードレスチャージベースユニットをご使用の場合、ベースユニットの補助電源ポートに電源がつながれるまでは、バッテリーは充電を行いません。

以下のバーコードをスキャンして、プレゼンテーションモードに設定します。

プレゼンテーションモード

アイドル照明：プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードでアイドル状態にある場合、以下のバーコードの１つを読み取って、LED 照明の設定を行います。*初期設定 = High（高）*

Note: 低アイドル照明設定の１つを行っていて、十分な照明が周囲にない場合、バーコードの検知が上手くいかない場合があります。バーコードを読み取るためにスキャナが起動しにくい場合、アイドル照明を明るく設定してください。

低

中

＊高

プレゼンテーション感度

プレゼンテーション感度とは、提示されたバーコードに対するスキャナの反応時間を増減させる数値範囲です。感度を設定するには、Sensitivity（感度）バーコードを読み取り、裏表紙の内側から感度（0 〜 20）を読み取り、次に Save（保存）を読み取ります。最も感度の高い設定が 0 で、最も低い設定が 20 です。*初期設定＝ 1*

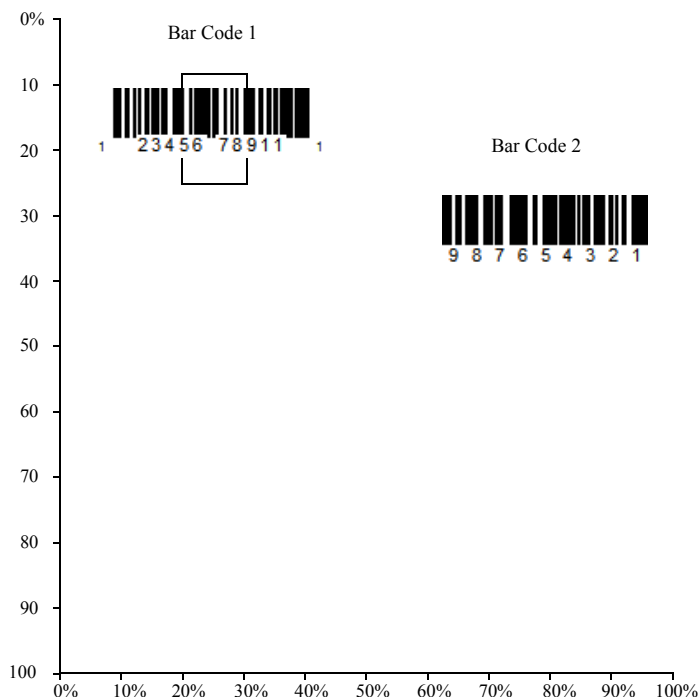
感度

プレゼンテーションセンタリング

ここでは、スキャナがスタンドに設置された際にスキャナの視野を狭め、ユーザーが読み取りを望むバーコードだけをスキャナに読み込ませる設定です。例えば、複数のバーコードが 1 枚のシートに密接して印刷されている場合、特定のバーコードだけが読み取られるようになります。

*Note: スタンドを使用せず、スキャナを手で持った状態でセンタリングを調節したい場合は、**センタリング (page 4-14)**を参照してください。*

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードのデコードも出力を行われません。Presentation Centering On（プレゼンテーションセンタリング　有効）を読み取って設定を有効にすると、Top of Presentation Centering Window, Bottom of Presentation Centering Window（プレゼンテーションウィンドウ　底部）、Left and Right of Presentation Centering Window（プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは 20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード 1 は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード 2 はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。

Note: バーコードはある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありません

Presentation Centering On（プレゼンテーションセンタリング　有効）を読み取った後、以下のバーコードを読み取ってセンタリングウィンドウの上部、底部、左、右を変更してください。本書裏面にあるプログラミングコードを読み取って、センタリングウィンドウを移動する割合の数字を読み取り、その後 Save を読み取ります。 *初期設定 = 40% for Top and Left, 60% for Bottom and Right（上部および左に 40%、底部および右に 60%）*

PDCWIN1.
プレゼンテーションセンタリング　有効

PDCWIN0.
＊プレセンターションセンタリング　無効

PDCTOP.
プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 上

PDCBOT.
プレゼンテーションセンタリング　下

PDCLFT.
プレゼンテーションセンタリング　左

PDCRGT.
プレゼンテーションセンタリング　右

スタンド使用時のセンサーモード

この機能は、スキャナがスタンドから離れた場合にマニュアルトリガーによって読み取り実行をスキャナへ指示するものです。Sensor On（センサー　有効）が有効なとき、スタンド使用時のスキャナはストリーミングプレゼンテーションモードをデフォルトとし、スタンド不使用時の場合は、マニュアルトリガーモードをデフォルトとします。*初期設定 = Sensor On（センサー　有効）*

TRGSSW1.
＊センサー　有効

TRGSSW0.
センサー　無効

低品質コード

低品質 1D コード

この設定はダメージのあるバーコードまたは印刷が悪いバーコードの読取を改善させます。Poor Quality 1D Reading On（低品質 1D 読取有効）を読み取ると、低品質のリニアバーコードの読取が改善されますが、スキャナの読取速度は高品質のバーコードを読み取る場合に比べ低下します。この設定は２次元バーコードには影響がありません。*初期設定 = 低品質 1D 読取無効*

低品質 1D 読取有効

＊低品質 1D 読取無効

低品質 PDF コード

この設定はダメージのある PDF コードまたは印刷が悪い PDF コードの読取を改善させます。Poor Quality PDF On（低品質 PDF 読取有効）を読み取ると、低品質の PDF コードの読取が改善されますが、スキャナの読取速度は高品質のバーコードを読み取る場合に比べ低下します。この設定は 1 次元バーコードには影響がありません。*初期設定 = 低品質 PDF 読取無効*

低品質 PDF 読取有効

＊低品質 PDF 読取無効

CodeGate®

CodeGate を有効にすると、デコードされたデータをホストシステムへ送信させるためにトリガーを使用します。スキャナは読み取りもデコードも行いますが、トリガーが引かれるまでデコードされたデータを送信しません。CodeGate が無効になっていると、バーコードのデータはデコードされて直ぐにホストシステムに送信されます。*初期設定 = CodeGate Off, Out of Stand（スタンド不使用時　CodeGate 無効）*

＊CodeGate 無効
スタンド不使用時

AOSCGD1.

CodeGate 有効
スタンド不使用時

携帯端末読み取りモード

この機能は、お使いのスキャナを携帯端末やその他の LED デバイスのバーコード読み取りに最適化します。しかし、このモードでは、印刷されたバーコードの読取速度は少し遅くなります。

手持ち読み取り　携帯端末

Note: 携帯端末読み取りモードを無効にするには、マニュアルトリガーモードのバーコード *(see page 4-5)* *を読み取ります。*

ハンズフリータイムアウト

スキャンスタンド、またはプレゼンテーションモードは「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリーモードを使用中にトリガーを引くと、マニュアルトリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、スキャナがマニュアルトリガーモードのままでいる時間を設定できます。タイムアウト値に達すると（さらにトリガーが引かれなければ）元のハンズフリーモードに戻ります。

Hands Free Time-Out（ハンズフリータイムアウト）のバーコードを読み取り、裏表紙の内側からタイムアウト時間（0 ～ 300,000 ミリ秒）を読み取り、Save（保存）を読み取ります。 *初期値＝ 5,000ms (ミリ秒)*

ハンズフリータイムアウト

再読み取りディレイ

同一バーコードを 2 回目に読み取るまでの間隔を秒単位で設定します。再読み取りディレイを設定することで、同一バーコードを誤って再読み取りするのを防ぎます。ディレイを長くすると、再読み取りエラーを最小限にするのに効果的です。バーコードの繰り返し読み取りが必要な場合は、ディレイを短くします。再読み取りディレイが動作するのは、プレゼンテーションモード (see page 4-6) のときだけです。*初期設定 = Medium（中）*

短 (500 ms)

＊中 (750 ms)

長 (1000 ms)

Extra Long (2000 ms)　エクストラ

ユーザー定義の再読み取りディレイ

再読み取りディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取って ディレイ（0 ~ 30,000 ミリ秒）を設定し、最後に Save(保存）を読み取ります。

ユーザー定義の再読み取りディレイ

2D 読み取りディレイ

2 次元シンボルは他のバーコードと比べて、読み取りに時間が掛かることがあります。2 次元シンボルに再読み取りディレイを設定したい場合、以下の設定バーコードを読み取ってください。2D Reread Delay Off （2D 再読み取りディレイ無効）は再読み取りディレイが設定された 1 次元・2 次元バーコードの両方に使用できます。*初期設定 = 2D Reread Delay Off （２ D 再読み取りディレイ無効）*

＊２ D 再読み取りディレイ無効

短 （1000ms）

中 （2000ms）

長 （3000ms）

エクストラ (4000ms)

キャラクタ有効化モード

ホストからキャラクタを送信してスキャナの読取を開始します。有効キャラクタを受信すると、スキャナはキャラクタ有効化レーザータイムアウト (page 4-12) キャラクタ有効化タイムアウトになるか、(see 無効化キャラタ on page 4-13) 無効キャラクタを受信するか、またはバーコードを送信するまでスキャンし続けます。キャラクタアクティベーションを使用するには、以下の On バーコードを読み取り、ホストから送信してスキャンを始めるキャラクタを以下のアクティベーションキャラクタを使用します。*初期設定＝ Off（無効）*

＊無効

HSTCEN1.
有効

アクティベーションキャラタ

キャラクタアクティベーションモードを使用している場合、読み取りに使用するキャラクタを設定します。スキャンを開始するための文字を、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, page A-3ASCII 変換チャートにある 16 進数から選択してください。以下のバーコードをスキャンし、プログラミングチャート ASCII キャラクタに対応した英数字を使用してください。保存（保存）を読み取り終了します。

HSTACH.
有効化キャラタ

読み取り成功後の終端文字のアクティベーション

スキャナがバーコードの検出・読取に成功後、スキャンするためにレーザーをそのままにするか消灯するか設定できます。End Character Activation After Good Read（読み取り成功後の終端文字アクティベーション）を有効にすると、読み取り成功後にレーザーを消灯し、読取を停止します。Do Not End Character Activation After Good Read （読み取り成功後の終端文字アクティベーション無効）をスキャンすると、読み取り成功後もレーザーはそのままになります。*初期設定 = End Character Activation After Good Read （読み取り成功後の終端文字のアクティベーション）*

HSTCGD0.
読み取り成功後の終端文字有効化無効

HSTCGD1.
読み取り成功後の終端文字有効化

キャラクタ有効化レーザータイムアウト

キャラクタ有効化モードを使用している場合、レーザーが点灯している時間の長さとバーコードのデコード試行する時間を設定できます。以下のバーコードを読み取ってタイムアウトの時間（ミリ秒）を設定し、裏表紙にある数字を読み取ってプログラミングチャート保存タイムアウト時間（1 ～ 300,000 ミリ秒）を設定してください。*初期値＝ 5000ms（ミリ秒）*

HSTCDT.
キャラクタ有効化レーザータイムアウト

キャラクタ無効化モード

スキャン開始のためのキャラクタをホストから送信する場合、スキャン停止のためのキャラクタを送ることも出来ます。
キャラクタ無効化を使用するには、以下の On（有効）バーコードを読み取り、ホストから送信してスキャンを始めるキャラクタを以下の無効化文字を使用します。*初期設定＝ Off（無効）*

HSTDEN0.

＊無効

HSTDEN1.

有効

無効化キャラタ

文字無効化モードを使用している場合、読み取りに使用するキャラクタを設定します。スキャンを停止するための文字を、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, page A-3ASCII 変換チャートにある 16 進数から選択してください。以下のバーコードをスキャンし、プログラミングチャート ASCII キャラクタに対応した英数字を使用してください。**保存**（保存）を読み取り終了します。

HSTDCH.

無効化キャラタ

照明ライト

バーコードの読み取り中に照明ライトをオンにしたい場合は、次の Lights On（照明有効）のバーコードを読み取ります。ただし、単にライトをオフしたい場合は、Lights Off（照明無効）のバーコードを読み取ります。*初期設定 = Lights On（照明無効）*

Note: この設定は、エイマーライトには無効です。エイミングライトは、以下のエイマーモードで設定できます。

SCNLED1.

＊照明　有効

SCNLED0.

照明　無効

エイマーディレイ

ユーザーがスキャナの狙いを定めて画像を取り込むまでのディレイ（間隔）を設定します。これらのコードで、トリガーを引いてから画像を取り込むまでの時間を設定します。ディレイ時間の間はエイミングライトが照射されますが、ディレイ時間を過ぎるまで LED は点灯しません。 *初期設定＝ Off*

SCNDLY200.

200 ミリ秒

400 ミリ秒

* *無効、または*

ユーザー定義のエイマーディレイ

ディレイ時間に独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数字（0 ～ 4,000 ミリ秒）を読み取ってタイムアウトを設定し、Save（保存）を読み取ります。

ディレイ時間

エイマーモード

この機能はエイマーの切り替えを行うものです。Interlaced（非同時）のバーコードを読み取ると、エイマーと照明 LED は同時に点灯できません。illumination LEDs. *初期設定 =Interlaced（非同時）*

無効

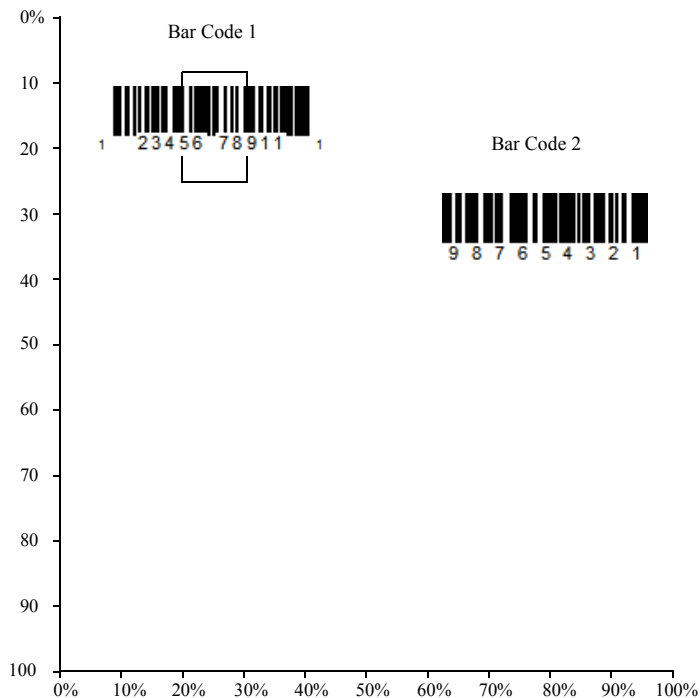
* 非同時

センタリング

希望のバーコードだけを確実に読み取るようにするには、センタリングを使用してスキャナの視界を狭めます。例えば、複数のバーコードが接近している場合は、センタリングで希望のバーコードだけを確実に読み取ります

Note: スタンドを使用せず、スキャナを手で持った状態でセンタリングを調節したい場合は、プレゼンテーションセンタリング (page 4-7) の「センタリング」を参照してください。

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードのデコードも出力を行われません。
Centering On（プレゼンテーションセンタリング　有効）を読み取って設定を有効にすると、Top of Centering Window, Bottom of Centering Window （センタリングウィンドウ　上部)、(プレゼンテーションウィンドウ　底部)、Left, and Right of Centering Window （プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは 20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード 1 は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード 2 はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。

Note: バーコードはある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありません

Centering On を読み取り、次のバーコードをどれか読み取ってセンタリングウィンドウの上下左右いずれかを変更します。本書裏面にあるプログラミングコードを読み取って、センタリングウィンドウを移動する割合の数字を読み取り、その後 Save を読み取ります。 *初期設定センタリング＝ Top と Left が 40%、Bottom と Right が 60%*

センタリング　有効

DECWIN0.

＊センタリング　無効

DECTOP.

センタリングウィンドウ　上

センタリング　下

センタリング　左

センタリング　右

No Read

No Read を On にすると、スキャナはコードを読み取れない場合に通知します。EZConfig Tool Scan Data Windowsee page 9-2 を使用している場合は、コードを読み取れなかったときに「NR」と表示されます。No Read を無効にすると「NR」は表示されません。*初期設定＝ Off*

有効

＊無効

例えば「Error」や「Bad Code」など「NR」以外を表示したい場合は、出力メッセージを編集できます (see データフォーマット beginning on page 6-1) からのデータフォーマット参照)。No Read シンボルの Hex 値は 9C です。

ビデオリバース（反転コード）

ビデオリバースを使用すると、反転したバーコードを読み取ることができます。Video Reverse Off（反転コード　無効）はこのバーコードの例です。色が反転したバーコードのみを読み込む際には、Video Reverse Only（反転コードのみ　有効）を読み取ってください。どちらのタイプのコードも読み込む場合は、Reverse and Standard Bar Codes （標準および反転コード両方　有効）を読み取ってください。

Note: Video Reverse Only を読み取った後は、メニューバーコードの読み取りができません。メニューバーコードを読み取るには、Video Reverse Off（反転コード　無効）もしくは Video Reverse and Standard Bar Codes （反転および標準コード）を読み込んでください。

Note: 画像は反転されません。これは、バーコードのデコード専用設定です。

反転コードのみ　有効

反転および標準コード

＊反転バーコード　無効

ワーキングオリエンテーション

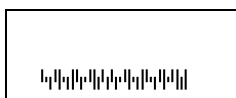
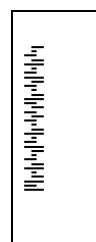
バーコードによっては、方向に敏感なものがあります。例えば、KIX コードや OCR フォントのように横から、または上下逆さに読み取ると誤読してしまうものもあります。このようなコードが常にスキャナの正面で読み取られない場合、この機能を使用してください。*初期設定 =Upright（正面）*

正面

上下逆さ

垂直、上から下へ
（CW 90°　回転）

垂直、下から上へ
（CW 90°　回転）

＊正面

垂直、下から上

ROTATN2.
上下逆さ

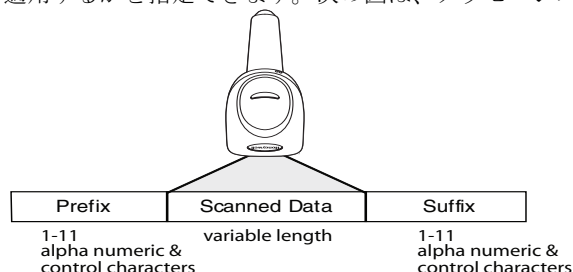
垂直、上から下

5

データ編集

プレフィックス／サフィックスについて

バーコードを読み取ると、追加情報がバーコードデータと一緒にホストコンピュータに送信されます。バーコードデータと追加のユーザ定義データを合わせて「メッセージストリング」と呼びます。この章の設定は、ユーザ定義データをメッセージストリングに組み込むときに使用します。

プレフィックスとサフィックスのキャラクタは、読み取ったデータの前後に送信できるデータキャラクタです。全シンボルに適用するか、特定シンボルにだけ適用するかを指定できます。次の図は、メッセージストリングの中身を示します。

補足

- 常にメッセージストリングを作る必要はありません。この章の設定を使用するのは、初期設定を変更したいときだけです。*初期設定プレフィックス＝None（なし）初期設定サフィックス＝None（なし）*
- プレフィックスやサフィックスは、1 シンボルまたは全シンボルに追加／削除できます。
- ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 で、プレフィックスやサフィックスは、どれでもコード ID や AIM ID と一緒に追加できます。
- 1 回の動作で複数のシンボルに対して複数の設定を結合できます。
- 出力で表示したい順にプレフィックスとサフィックスを入力してください。
- すべてのシンボルではなく、特定のシンボルを設定するとき、そのコード ID 値は、追加されたプリフィクスまたはサフィックスのキャラクタと見なします。
- プリフィクス / サフィックスは、ヘッダー情報を含めて最大 200 キャラクタ（桁）まで追加可能です。

プレフィックスまたはサフィックスの追加手順

Step 1. Add Prefix （プリフィクスの追加）または Add Suffix （サフィックスの追加）のバーコードを読み取ります 。 page 5-2

Step 2. シンボルチャート（シンボルチャート , beginning on page A-1 にあります）からプレフィックスまたはサフィックスを適用したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。例えば、Code 128 の場合、コード ID は「j」、Hex ID は「6A」です。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 2 桁の数字を読み取ります。全シンボルの場合は **9**、**9** と読み取ります。

Step 4. ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 から、入力したいプレフィックスまたはサフィックスの Hex 値を確認します。

Step 5. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、確認した 2 桁の Hex 値を読み取ります。

Step 6. プレフィックスまたはサフィックスのキャラクタごとに Step 4 と Step 5 を繰り返します。

Step 7. コード ID を追加するときは、**5**、**C**、**8**、**0** を読み取ります。
AIM ID を追加するときは、**5**、**C**、**8**、**1** を読み取ります。
バックスラッシュ（¥）を追加するときは、**5**、**C**、**5**、**C** を読み取ります。

Note: Step 7 でバックスラッシュ（¥）を追加するときは、5C を 2 回読み取ってください。1 回目で先行バックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。

Step 8. **Save** を読み取って保存／終了するか、**Discard** を読み取って保存せずに終了します。

別のシンボルにプレフィックスまたはサフィックスを追加するときは、Step 1 ～ 6 を繰り返します。

例：タブサフィックスをすべてのシンボルに追加する

Step 1. Add Suffix を読み取ります。

Step 2. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートすべてのシンボルに適応するために 9、9 を読み取ります。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 0、9 を読み取ります。これは ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 の水平タブの HEX 値と一致します。

Step 4. Save を読み取るか、Discard を読み取って保存せずに終了します。

1 つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスの削除

シンボルのプレフィックスまたはサフィックスを 1 つまたはすべて削除できます。1 つのシンボルにプリフィクスやサフィックスを追加したことがある場合、Clear One Prefix/Suffix （1 つのプリフィクスまたはサフィックスを削除）で特定のキャラクタをシンボルから消去します。また、Clear All Prefixes/Suffixes （すべてのプリフィクスまたはサフィックスを削除）を選択すると、すべてのプリフィクスまたはサフィックスが削除されます。

Step 1. Clear One Prefix または Clear One Suffix のバーコードを読み取ります。

Step 2. シンボルチャート（シンボルチャート , beginning on page A-1 にあります）から、プレフィックスまたはサフィックスを削除したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 2 桁の Hex 値を読み取ります。全シンボルの場合は 9、9 を読み取ります。

変更内容は自動的に保存されます。

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加する

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに一度に追加したい場合は、次のバーコードを読み取ります。この操作では、まず現在のサフィックスをすべて削除し、次にすべてのシンボルに対してキャリッジリターンサフィックスを設定します。

キャリッジリターンサフィックスを
すべてのシンボルに追加

プレフィックスの設定

プリフィクス追加

PRECL2.

プレフックス 1 つ削除

すべてのプリフィクス削除

サフィックスの設定

SUFBK2.
サフィックス

SUFCL2.
サフィックス１つ削除

SUFCA2.
すべてのサフィックス削

ファンクションコード送信

この設定を有効にすると、読み取ったデータにファンクションコードが含まれている場合、スキャナがそのファンクションコードをホストシステムに送信します。これらのファンクションコードは、page 8-2 からの「サポートされているインタフェースキー」に記載されています。キーボードウェッジモードのとき、読み取りコードはキーコードに変換されてから送信されます。*初期設定＝ Enable（有効）*

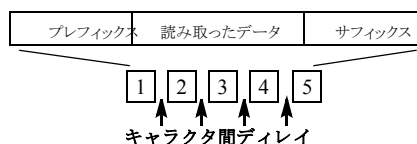
RMVFNC0.
＊有効

RMVFNC1.
無効

キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ

データ送信が速すぎると、ターミナルによっては情報（キャラクタ）を読み落とすことがあります。キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレーはデータ送信を遅くすることで、より確実にデータを送信します。

キャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの各キャラクタを送信する間に最大 5000 ミリ秒（5ms 単位）のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の Intercharacter Delay **キャラクタ間ディレイ**のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートで 5 ミリ秒単位の数字（0 ～ 99）と Save のバーコードを読み取ります。

DLYCHR.
キャラクタ間ディレイ（間

このディレーを削除するときは、Intercharacter Delay のバーコードを読み取り、次にディレー数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、Save のバーコードを読み取ります。

Note: キャラクタ間ディレイは、USB のシリアルエミュレーションではサポートされていません。

ユーザ指定のキャラクタ間ディレイ（間隔）

読み取ったデータの特定のキャラクタを送信した後に、最大 5000 ミリ秒（5ms 単位）のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の Delay Length （ディレイ長）のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャート で 5 ミリ秒単位の数字（0 ～ 99）と Save のバーコードを読み取ってから Save のバーコードを読み取ります。

次に、Character to Trigger Delay（ディレイを有効にするキャラクタ）のバーコードを読み取り、(see 下位 ASCII R リファレンステーブル on page A-4) で、ディレイをトリガーする ASCII キャラクタの 2 桁の Hex 値を読み取ります。

ディレイ長

ディレイを有効にするキャラクタ

このディレーを削除するときは、Delay Length のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、Save のバーコードを読み取ります。

ファンクション間ディレイ（間隔）

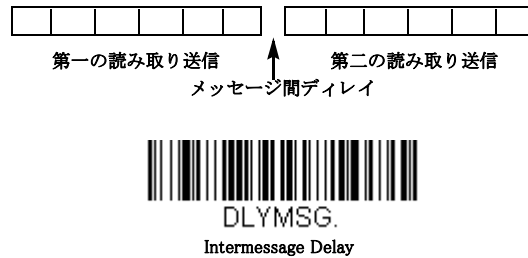
メッセージストリングの各セグメントを送信する間に最大 5000 ミリ秒（5ms 単位）のファンクション間ディレイを設定できます。次の Interfunction Delay（ファンクション間ディレイ）のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートで 5 ミリ秒単位の数字（0 ～ 99）と Save のバーコードを読み取ります。

ファンクション間ディレイ（間

このディレーを削除するときは、Intercharacter Delay （ファンクション間ディレイ）のバーコードを読み取り、次にディレー数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、Save のバーコードを読み取ります。

メッセージ間ディレイ

読み取り送信の間に最大 5000 ミリ秒（5ms 単位）のメッセージ間ディレイを設定できます。次の Intermessage Delay（メッセージ間ディレイ）のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートで 5 ミリ秒単位の数字（0 〜 99）と Save のバーコードを読み取ります。

Intermessage Delay

このディレーを削除するときは、Intercharacter Delay（メッセージ間ディレイ）のバーコードを読み取り、次にディレー数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、Save のバーコードを読み取ります。

6

データフォーマット

データフォーマットエディタについて

データフォーマットエディタを使ってスキャナの出力を変更できます。例えば、バーコードデータを読み取りながら特定個所にキャラクタを挿入できます。この後のページに記載された設定は、出力を変更したい場合だけに使用してください。
データフォーマットの初期設定＝ None（なし）

通常、バーコードを読み取ると自動的に出力されます。フォーマットをする場合は、フォーマットプログラムの中で「send」コマンド (see 送信コマンド on page 6-3) でデータを出力する必要があります。

スキャナには複数のフォーマットのプログラム設定が可能です。入力された順にスタックされます。ただし、次の一覧はフォーマットが適用される順序を示しています。

1. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
2. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
3. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
4. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ
5. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
6. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
7. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
8. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ

データフォーマットの構成はヘッダー情報を含め、2000 バイトが最大サイズです。

データフォーマットの設定の変更を行ったものの、フォーマットをすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、下の Default Data Format （データフォーマット初期設定）コードを読み取ってください。

＊データフォーマット初期設定

データフォーマットの追加

Step 1. Enter Data Format のシンボルを読み取ります。（page 6-2）

Step 2. Primary（基準）もしくは Alternate Format（代用）フォーマットを選択します。
基準のデータフォーマットにするか、または 3 つある代用フォーマットの 1 つにするかを決定します。全部で 4 つの異なるデータフォーマットの方法を保存することができます。基準フォーマットを設定するときは、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートで **0** を読み取ります。代用フォーマットをプログラム設定する場合は、設定する代用フォーマットによって **1**、**2**、または **3** を読み取ります。(詳細については、See ″基準／代用 データフォーマット″ on page 6-9 をご参照ください。)

Step 3. ターミナルの種類
ターミナル ＩＤ テーブル (page 6-3) を参照し、お使いのコンピュータのターミナル ID ナンバーを確認します。裏表紙の内側にある 3 つの数字バーコードを読み取り、そのターミナル ID でスキャナをプログラム設定します。（数字を 3 つ入力してください。）例えば、AT ウェッジの場合は **0**、**0**、**3** を読み取ります。

Note: ターミナル全種のワイルドカードは 099 です。

Step 4. コード ID
シンボルチャート , beginning on page A-1 で、データフォーマットを適用するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認し、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 2 桁の Hex 値を読み取ります。

Note: バッチモード数量のデータフォーマットを作成するには、コード ID の 35 を使用します。

Step 5. 長
このシンボルで可能なデータの長さ（最大 9,999 キャラクタ）を指定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミ

ングチャートから 4 桁のデータ長を読み取ります。（注：50 桁は 0050 と入力します。9999 は汎用の数字で、すべての長さ／桁数を示します。）

Step 6. 編集コマンド

データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）(page 6-3) を参照してください。入力したいコマンドを表すシンボルを読み取ります。

Step 7. データフォーマットの保存には、Save（保存）を読み取ってください。保存しない場合は Discard（破棄）を読み取ります。

データフォーマットの入力

保存

破棄

他の設定

1 つのデータフォーマットの削除

1 つのシンボルに対してデータフォーマットを 1 つ削除します。 基準フォーマットを削除する場合は、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 0 を読み取ります。代用フォーマットを削除する場合は、削除する代用フォーマットによって 1、2、または 3 を読み取ります。その後、削除したい特定のデータフォーマットのターミナルの種類、コード ID(see シンボルチャート on page A-1)、およびバーコードデータ桁数を読み取ります。他のフォーマットは全く影響を受けません。

Clear all Data Formats

すべてのデータフォーマットを削除します。

Save： データフォーマットを保存します。

Discard： データフォーマットの設定を中止し、破棄します。

データフォーマットを 1 つ削除する

データフォーマットをすべて削除す

保存

破棄

ターミナル ＩＤ テーブル

	モデル	ターミナル ID
USB	PC キーボード	124
	Mac キーボード	125
	PC 日本語キーボード	134
	シリアル （COM ドライバ必要）	130
	HID POS	131
	USB SurePOS ハンドヘルドスキャナ	128
	USB SurePOS テーブルトップスキャナ	129
シリアル	RS232 TTL	000
	RS232 True	000
キーボード	PS2 互換機	003

データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）

送信コマンド

すべてのキャラクタを送信する

F1 入力メッセージ（読み取ったデータ）のすべてのキャラクタが出力メッセージに含まれます。現在のカーソル位置から始まり、最後にキャラクタを挿入します。Syntax = F1xx（xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。）
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3ASCII 変換チャート（コードページ 1252）を参照してください。

いくつかのキャラクタを送信する

F2 入力メッセージ（読み取ったデータ）から指定した桁数のデータだけを送信します。現在のカーソル位置から「nn」個のキャラクタまで、もしくは入力メッセージの最後のキャラクタまで、最後にキャラクタを挿入して送信します。Syntax = F2nnxx（nn はキャラクタの数を示す数字（00 ～ 99）で、xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 を参照してください。

F2 の例：いくつかのキャラクタを送信する

上記のバーコードから最初の 10 キャラクタをキャリッジリターンを挿入して送信します。コマンド：F2100D

F2 は「Send a number of characters（いくつかのキャラクタを送信する）」コマンドです。

10 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：1234567890

F2 と F1 の例：キャラクタを 2 行に分割

上記のバーコードから最初の 10 キャラクタをキャリッジリターンを挿入し、残りのキャラクタを送信します。

コマンド：F2100DF10D

F2 は「Send a number of characters（いくつかのキャラクタを送信する）」コマンドです。

10 は最初の行に送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する）」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
1234567890
ABCDEFGHIJ
<CR>

特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する

F3　現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索キャラクタ「ss」の手前までのデータを送信します。続いて、指定したキャラクタを挿入します。カーソルは「ss」キャラクタへと移動します。Syntax = F3ssxx（nn は検索するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示し、xx は、挿入したいキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 を参照してください。

F3 の例：特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する

上記のバーコードを使用して、「D」までのすべての文字とキャリッジリターンを送信します。

コマンド：F3440D

F3 は「Send all characters up to a particular character（特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する）」です。

44 は「D」の Hex 値です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
1234567890ABC
<CR>

最後のキャラクタ以外を送信する

E9　現在のカーソル位置から、最後の「nn」キャラクタを除く、すべての出力メッセージを送信します。カーソルは最後の入力メッセージキャラクタが含まれる位置を過ぎたところへ移動します。Syntax = E9nn （nn は、メッセージの最後で送られないキャラクタの数の数値（00 ～ 99）を示しています。

キャラクタを複数回挿入する

F4　現在のカーソル位置はそのままで、「xx」キャラクタを「nn」回出力メッセージで送信します。Syntax = F4xxnn （xx は、挿入したいキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示し、nn は、送信する回数の数値（00 ~ 99）を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 を参照してください。

E9 と F4 の例：最後のキャラクタ以外にタブを 2 つを付加し送信する

上記のバーコードから最後の 8 桁を除いたすべてのキャラクタにタブを 2 つ追加して送信します。

コマンド：E908F40902

E9 は「Send all but the last characters（最後のキャラクタ以外にタブを 2 つを付加し送信する）」

08 は無視するキャラクタ数です。

F4 は「Insert a character multiple times（キャラクタを複数回挿入する）」です。

09 は「水平タブ」の Hex 値です。

02 は挿入するタブの数です。

データ出力は：1234567890AB <tab><tab>

移動コマンド

前方キャラクタへ移動する

F5　カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、先へと移動させます。
Syntax = F5nn（nn は、カーソルを前に移動させるキャラクタ数（00 ~ 99）を示しています。）

F5 の例：カーソルを前に移動し、データを送信します。

1234567890ABCDEFGHIJ

上記のバーコードのカーソルを 3 文字前に移動し、それ以降のバーコードデータを送信します。キャリッジリターンで終わります。

コマンド：F503F10D

F5 は「Move the cursor forward a number of characters（前方キャラクタへ移動する）」です。

03 はカーソルを移動するキャラクタ数です。

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する）」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
4567890ABCDEFGHIJ
<CR>

後方キャラクタへ移動する

F6　カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、後ろへ移動させます。
Syntax = F6nn（nn は、カーソルを後ろに移動させるキャラクタ数（00 ~ 99）を示しています。）

カーソルを先頭に移動する

F7　カーソルを入力メッセージの先頭キャラクタに移動させます。*Syntax = F7*

FF と F7 の例：1 で始まるバーコードを処理します。

1 で始まるバーコードを検索します。バーコードが一致した場合、カーソルはデータの先頭に移動し、6 文字にキャリッジリターンを付加し送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：FE31F7F2060D

FE は「Compare characters（キャラクタの比較）」です。

31 は 1 の Hex 値です。

F7 は「Move the cursor to the beginning（カーソルを先頭に移動する）」です。

F2 は「Send a number of characters（いくつかのキャラクタを送信する）」コマンドです。

06 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
123456
<CR>

カーソルを末尾に移動する

EA　カーソルを入力メッセージの最終キャラクタに移動します。*Syntax = EA*

検索コマンド

前方のキャラクタを検索する

F8　現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax =F8xx（xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3（コードページ 1252）を参照してください。

F8 の例：特定のキャラクタの後に始まるバーコードデータを送信する

バーコードにある「D」を検索し、「D」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します。

コマンド：F844F10D

F8 は「Search forward for a character（前方のキャラクタを検索する）」コマンドです。

44 は「D」の Hex 値です。

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する）」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
DEFGHIJ
<CR>

後方のキャラクタを検索する

F9　現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F9xx（xx は、検索するキャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 を参照してください。

合致しないキャラクタの前方を検索する

E6　現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax = E6xx。xx は、検索キャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 を参照してください。

E6 の例：バーコードデータのはじめにある 0 を削除する

0 があるバーコードの例です。0 を無視し、それ以降のすべてのデータを送信する場合。E6 は 0 ではない最初の文字を検索し、その後のデータすべてとキャリッジリターンを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：E630F10D

E6 は「Search forward for a non-matching character（合致しないキャラクタの前方を検索する）」コマンドです。

30 は 0 の Hex 値です。

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する）」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
37692
<CR>

合致しないキャラクタの後方を検索する

E7 現在のカーソル位置より後ろ方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax = E7xx。xx は、検索キャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 を参照してください。

その他のコマンド

キャラクタを無効にする

FB カーソルを他のコマンドで進めると、現在のカーソル位置から最大 15 の別のキャラクタをすべて無効にします。FC コマンドを実行することで、この機能を停止することができます。FB コマンドではカーソルが移動しませんので、ご注意ください
Syntax = FBnnxxyyzz は、リストにある無効キャラクタの数、xxyy..zz は、無効にするキャラクタのリストです。

FB の例：バーコードデータのスペースを削除します。

スペースがあるバーコードの例です。データ送信の前にスペースを削除します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：FB0120F10D

FB は「Suppress characters（キャラクタを無効にする)」です。

01 は無効にするキャラクタタイプです。

20 はスペースの Hex 値です。

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
34567890
<CR>

キャラクタの無効を停止する

FC キャラクタの無効を停止し、無効になったキャラクタをすべて削除します。*Syntax = FC*

キャラクタを置き換える

E4 出力メッセージにある最大 15 桁 のキャラクタをカーソルを移動せずに変更します。変更は、E5 コマンドを実行するまで続きます。Syntax =E4nnxx1xx2yy1yy2...zz1zz2 。nn は（変更前のキャラクタと変更後）のキャラクタの合計です。xx1 は、変更前のキャラクタを、xx2 は変更後のキャラクタを定義します。zz1 と zz2 まで同様です。

E4 の例：バーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。

ホストアプリケーションで含めたくないキャラクタを持つバーコードがある場合、E4 コマンドを使用してそれらのキャラクタを別のものに置き換えられます。この例では、上記のバーコードの 0 をキャリッジリターンに置き舞えます。

コマンド：E402300DF10D

E4「キャラクタを置き換える（Replace characters)」

02 は置き換えるキャラクタの合計数と置き換えるキャラクタ（0 をキャリッジリターンに置き換えるので、合計キャラクタ数は 2）です。

30 は 0 の Hex 値です。

0D はキャリッジリターンの Hex 値です。(0 に置き換わるキャラクタ)

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
1234
5678
ABC
<CR>

キャラクタの置き換えを停止する

E5　キャラクタの変更を停止します。*Syntax = E5.*

キャラクタを比較する

FE　現在のカーソル位置にあるキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを 1 つ進めます。 Syntax = FExx （xx は、比較するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。）
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート（コードページ 1252）, beginning on page A-3 を参照してください。

数字をチェックする

EC　現在のカーソル位置に ASCII 数字があることを確認します。ASCII 数字でない場合は、フォーマットを中止します。

EC の例：バーコードが数字で始まる場合のみデータを出力します。

数字で始まるバーコードからデータのみがほしい場合、EC コマンドを使用します。

コマンド ：ECF10D

EC は「数字をチェックする（Check for a number）」コマンドです。

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する）」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれると、 AB1234 次にデータフォーマットがある場合、このデータに使用されます。他のフォーマットがない場合、そのままのデータ AB1234 が出力されます。

このバーコードが読まれると： 1234AB データ出力は：

1234AB
<CR>

数字以外のキャラクタをチェックする

ED　現在のカーソル位置に ASCII 数字以外のキャラクタがあることを確認します。キャラクタが数字の場合は、フォーマットを中止します。

ED の例：バーコードが文字で始まる場合のみデータを出力します。

文字で始まるバーコードからデータのみがほしい場合、EC コマンドを使用します。

コマンド ：EDF10D

ED は「数字以外のキャラクタをチェックする（Check for a non-numeric character）」コマンドです。

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する）」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれると、 1234AB 次にデータフォーマットがある場合、このデータに使用されます。他のフォーマットがない場合、そのままのデータ 123 4 AB が出力されます。

このバーコードが読まれると： AB1234 データ出力は：

AB1234
<CR>

ディレイを挿入する

EF　現在のカーソル位置から 49,995 ミリ秒までの（5 ミリ秒単位）ディレイを挿入します。Syntax = Efnnnn。nnnn は 5 ミリ秒単位でのディレーを示し、9999 までです。このコマンドはキーボードウェッジインターフェースの場合にのみ、使用可能です。

データフォーマッター

データフォーマッターを無効にすると、プリフィクスとサフィックスを含め、バーコードデータは読み取ったままホストに出力されます。

DFM_EN0.

データフォーマッタ　無効

読み取ったデータをユーザーが作成・保存したデータフォーマットに合致させたい場合、以下の設定をデータフォーマットに適用することができます。

データフォーマッター　有効、要求しない、プリフィクス / サフィックス あり
　読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。

データフォーマッター　要求する、プリフィクス / サフィックス あり
　読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合、すべてに対してエラーブザーが鳴らされ、そのバーコードのデータは送信されません。

初期設定 = Data Formatter On, Not, Required, Keep Prefix/Suffix（データフォーマッター　有効、要求しない、プリフィクス / サフィックス あり）

DFM_EN1.

＊データフォーマッター　有効、
要求しない、
プリフィクス / サフィックス あり

DFM_EN2.

データフォーマッター　要求する
プリフィクス / サフィックス あり

基準／代用 データフォーマット

データフォーマットは 4 種類保存することができ、それらのフォーマットを切り換えることができます。基準データフォーマットの場合は、0 で保存してください。それ以外のフォーマットは 1、2、3 のどれかで保存してください。フォーマットを使えるようにするには、以下のバーコードのいずか 1 つを読み取ってください。

ALTFNM0.

基準データフォーマット

ALTFNM1.

データフォーマット 1

データフォーマット 2

データフォーマット 3

7 シンボル

この章では、以下のメニュー項目について説明します。設定と初期設定については、Chapter 10 を参照してください。

すべてのシンボル

お使いのスキャナで可能なシンボルをすべてデコードしたい場合は、*All Symbologies On*（すべてのシンボル　有効）のバーコードを読み取ります。一方、特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、All Simbologies Off （すべてのシンボル　無効）を読み取り、その後 特定のシンボルに対して On バーコードを読み取ります。

すべてのシンボル　有効

すべてのシンボル　無効

Note: All Symbologies On（すべてのシンボル　有効）を読み取っても、2 次元郵便コードの読み取りは有効になりません。2 次元郵便コードについては、別に設定してください。

読み取り桁数について

バーコードシンボルによっては、読み取り桁数を設定できます。 読み取ったバーコードのデータ桁数が指定した読み取り桁数と一致しない場合、エラーブザーが鳴ります。スキャナに強制的に一定桁数のバーコードデータを読み取らせるため、最小と最大を同じ値に設定することも可能です。これは、読み取りエラーの削減に役立ちます。

例： 桁数が 9 ～ 20 のバーコードだけをデコードする。例：文字数が 9 ～ 20 のバーコードだけをデコードする。
最小：09、最大：20

例： 桁数が 15 のバーコードだけをデコードする。
最小：15、最大：15

初期設定の最小および最大読み取り桁数以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコード読み取り、次に本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートの読み取り桁数の数値と Save（保存）のバーコードを読み取ります。最小と最大、および初期設定は、それぞれのシンボル別設定に記載されていますので、そちらを参照してください。

Codabar

【Codabar すべての設定を初期化】

Codabar　有効／無効

＊有効

無効

Codabar　スタート／ストップキャラクタ

スタート / ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。*初期設定＝ Don’t Transmit（送信しない）*

送信する

CBRSSX0.
＊送信しない

Codabar チェックキャラクタ

Codabar チェックキャラクタは、いろいろな「モジュラス」を用いて作成します。モジュラス 16 チェックキャラクタを用いた Codabar のバーコードだけを読み取るよう、スキャナを設定できます。*初期設定値 ＝ No Check Character（チェックキャラクタ なし）*

No Check Character（チェックキャラクタなし）は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate and Transmit（認証および送信）に設定すると、スキャナはチェックキャラクタが印刷された Codabar のみ読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate, but Don't Transmit（認証、送信しない）に設定すると、チェックキャラクタと共に印刷された Codabar バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは、読み取ったデータと一緒に送信されません。

＊チェックキャラクタなし

モジュラス 16 有効、送信しない

モジュラス 16 有効、送信する

Codabar の連結

Codabar には、連結サポート機能があります。連結機能を有効にすると、「D」のスタートキャラクタがあるバーコードと、「D」のストップキャラクタがあるバーコードに隣接する Codabar を検索します。この場合、2 つのデータは 1 つに連結され、「D」キャラクタは省略されます。

連結されていない単独の「D」Codabar をデコードしないようにするには、Required（要求する）を選択します。この選択をしても、「D」のスタート / ストップ キャラクタがない Codabar には影響ありません。

有効

＊無効

要求する

Codabar の読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。設定可能桁数 = 2 〜 60 最短の初期設定値 ＝ 4　　最長の初期設定値 ＝ 60

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Code 39

【 Code 39　すべての設定を初期化 】

Code 39 有効 / 無効

＊有効

無効

Code 39 スタート / ストップキャラクタ

スタート / ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。初期設定値 = Don't Transmit（送信しない）

送信する

＊ 送信しない

Code 39 チェックキャラクタ

No Check Character（チェックキャラクタなし）は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit（有効、送信しない）に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタと読み取ったデータと一緒に送信しません。

Validate and Transmit（有効、送信する）に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。*初期設定値 = No Check Character（チェックキャラクタ なし）*

＊ チェックキャラクタなし

C39CK21.
有効、送信しない

C39CK22.
有効、送信する

Code 39 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。設定可能読み取り桁数 ＝ 0 〜 48 最短の初期設定値 ＝ 0　　　最長の初期設定値 ＝ 48

C39MIN.
最小読み取り桁数

C39MAX.
最大読み取り桁数

Code 39 連結機能

この機能では、複数の Code 39 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。この機能を有効にすると、スキャナはスペースで始まる Code 39 バーコード（スタートおよびストップシンボルを除く）を保存し、すぐにはデータを送信しません。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。バーコードデータは読み取った順に出力されます（FIFO）。*初期設定値＝ Off（無効）*

C39APP1.
有効

C39APP0.
＊ 無効

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceutical は、イタリアの薬局で使用されている Code 39 の一種です。PARAF とも呼ばれます。

C39B321.
有効

C39B320.
＊ 無効

Full ASCII

Full ASCII Code 39 デコーディングを有効にすると、バーコードシンボル内のある一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例えば、「$V」は ASCII キャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」としてデコードされます。*初期設定＝ Off （無効）*

NUL	%U	DLE	$P	SP	SPACE	0	0	@	%V	P	P	‘	%W	p	+P
SOH	$A	DC1	$Q	!	/A	1	1	A	A	Q	Q	a	+A	q	+Q
STX	$B	DC2	$R	“	/B	2	2	B	B	R	R	b	+B	r	+R
ETX	$C	DC3	$S	#	/C	3	3	C	C	S	S	c	+C	s	+S
EOT	$D	DC4	$T	$	/D	4	4	D	D	T	T	d	+D	t	+T
ENQ	$E	NAK	$U	%	/E	5	5	E	E	U	U	e	+E	u	+U
ACK	$F	SYN	$V	&	/F	6	6	F	F	V	V	f	+F	v	+V
BEL	$G	ETB	$W	‘	/G	7	7	G	G	W	W	g	+G	w	+W
BS	$H	CAN	$X	(	/H	8	8	H	H	X	X	h	+H	x	+X
HT	$I	EM	$Y	)	/I	9	9	I	I	Y	Y	i	+I	y	+Y
LF	$J	SUB	$Z	*	/J	:	/Z	J	J	Z	Z	j	+J	z	+Z
VT	$K	ESC	%A	+	/K	;	%F	K	K	[	%K	k	+K	{	%P
FF	$L	FS	%B	,	/L	<	%G	L	L	\	%L	l	+L	|	%Q
CR	$M	GS	%C	-	-	=	%H	M	M	]	%M	m	+M	}	%R
SO	$N	RS	%D	.	.	>	%I	N	N	^	%N	n	+N	~	%S
SI	$O	US	%E	/	/O	?	%J	O	O	_	%O	o	+O	DEL	%T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。
「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。

Full ASCII 有効

* Full ASCII 無効

Code 39 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(see ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 on page A-7) を参照）、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と Save（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

Code 39 コードページ

Interleaved 2 of 5（ITF）

【 Interleaved 2 of 5　すべての設定を初期化】

Interleaved 2 of 5 （ITF）の有効／無効

＊有効

無効

Interleaved 2 of 5（ITF） チェックデジット

No Check Digit（チェックデジットなし）は、チェックデジットの有無に関係なくスキャナがバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit（有効、送信しない）に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit（有効、送信する）に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。*初期設定値 ＝ No Check Digit（チェックデジットなし）*

＊チェックデジット 無効

I25CK21.
有効、送信しない

有効、送信する

Interleaved 2 of 5 (ITF) の読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 2 ～ 80、最短の初期設定値 ＝ 4　　最長の初期設定値 ＝ 80

最小読み取り桁数

I25MAX.
最大読み取り桁数

NEC 2 of 5

【NEC 2 of 5 すべての設定を初期化】

N25DFT.

NEC 2 of 5　有効／無効

N25ENA1.
＊有効

N25ENA0.
無効

Interleaved 2 of 5（ITF）　チェックデジット

No Check Digit（チェックデジットなし）は、チェックデジットの有無に関係なくスキャナがバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit（有効、送信しない）に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit（有効、送信する）に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。*初期設定値 ＝ No Check Digit（チェックデジットなし）*

N25CK20.
＊チェックデジット 無効

N25CK21.
有効、送信しない

N25CK22.
有効、送信する

NEC 2 of 5　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 2 ～ 80、最短の初期設定値 ＝ 4　　最長の初期設定値 ＝ 80

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Code 93

【 *Code 93　すべての設定を初期化* 】

Code 93 有効／無効

＊有効

無効

Code 93 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 0 ～ 80、最短の初期設定値 ＝ 0　　最長の初期設定値 ＝ 80

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Code 93 連結機能

この機能では、複数の Code 93 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。スペースで始まる Code 93 （スタート / ストップシンボルを除く）を読み取った順に保存し、各バーコードからスペースを削除します。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。スペース以外で始まる Code 93 バーコードを読み取ると、スキャナは結合したデータをホストデバイスに送信します。*初期設定＝ Off（無効）*

有効

＊ 無効

Code 93 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(see ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 on page A-7) を参照)、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と Save（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

Code 93 コードページ

Straight 2 of 5 Industrial（3 バースタート / ストップ）

【 Straight of 5 Industrial　すべての設定を初期化 】

Straight 2 of 5 Industrial 有効 / 無効

有効

* 無効

Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 1 ～ 48 最短の初期設定値 = 4　　最長の初期設定値 = 48

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Straight 2 of 5 IATA（2 バースタート／ストップ）

【 IATA　すべての設定を初期化 】

Straight 2 of 5 IATA 有効／無効

有効

＊ 無効

Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。設定可能読み取り桁数 ＝ 1 ～ 48 最短の初期設定値 ＝ 4　　最長の初期設定値 ＝ 48

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Matrix 2 of 5

【 Matrix 2 of 5　すべての設定を初期化 】

Matrix 2 of 5 有効／無効

有効

* 無効

Matrix 2 of 5 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 1 ～ 80、最短の初期設定値 ＝ 4　　最長の初期設定値 ＝ 80

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Code 11

【 Code 11　すべての設定を初期化 】

Code 11 有効／無効

有効

＊ 無効

チェックデジットの要求

Code 11 バーコードに必要なチェックデジットを 1 つまたは 2 つに設定します。*初期設定値 ＝ Two Check Digits（チェックデジット 2 つ）*

チェックデジット 1 つ

＊チェックデジット 2 つ

Code 11 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 1 ～ 80、 最短の初期設定値 ＝ 4　　　最長の初期設定値 ＝ 80

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Code 128

【 Code 128　すべての設定を初期化 】

Code 128 有効／無効

* 有効

無効

ISBT 128 連結機能

1994 年、国際輸血学会（ISBT）は、血液の重要情報を一定の方法でやり取りするための基準を定めました。ISBT フォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です。ISBT 128 のアプリケーション仕様では、次の内容を規定しています。1）血液製品にラベル表示をするための重要なデータ要素、2）セキュリティが高度で設計のスペース効率が良いことから Code 128 の使用を現在は推奨すること、3）隣接シンボルの連結をサポートする Code 128 の変形、4）血液製品ラベルのバーコードの標準レイアウト。次のバーコードを用いて連結をオン／オフします。*初期設定値 = Off（無効）*

有効

* 無効

Code 128 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 0 ～ 80、 最短の初期設定値 ＝ 0　　　最長の初期設定値 ＝ 80

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Code 128 連結機能

この機能では、複数の Code 128 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。スキャナが連結を示すキャラクタを含んだ Code 128 バーコードを読み取ると、連結を示すキャラクタを含まないバーコードを読み取るまで Code 128 バーコードのデータを一時的に保存します。バーコードデータは読み取った順に出力されます (FIFO)。*初期設定＝ On（有効）*

＊有効

無効

Code 128 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(see ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 on page A-7) を参照）、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と Save（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

Code 128 コードページ

GS1-128

【GS1-128　すべての設定を初期化】

GS1-128　有効／無効

＊有効

無効

GS1-128　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 1 ～ 80、 最短の初期設定値 ＝ 1　　　最長の初期設定値 ＝ 80

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

UPC-A

【UPC-A　すべての設定を初期化】

UPC-A 有効／無効

＊有効

無効

Note:　UPC-A バーコードを EAN-13 に変換するには、UPC-A から EAN-13 への変換 on page 7-23 を参照してください。

UPC-A チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。*初期設定＝ On（有効）*

＊有効

無効

UPC-A システム番号

通常は読み取ったデータの最初に UPC シンボルのシステム番号を送信しますが、送信しないように設定できます。 *初期設定＝ On（有効）*

＊有効

無効

UPC-A　アドオン

読み取ったすべての UPC-A データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。
初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda（2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加 禁止）

アドオン 2 桁許可

＊アドオン 2 桁禁止

アドオン 5 桁許可

＊アドオン 5 桁禁止

UPC-A アドオンの要求

Required（要求する）バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある UPC-A バーコードだけを読み取ります。page 7-18 に記載された 2 桁または 5 桁のアドオンを有効にする必要があります。*初期設定 = Not Required（要求しない）*

要求する

＊要求しない

UPC-A アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。*初期設定 = Off（無効）*

＊有効

無効

拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13

次のバーコードを使用し、拡張クーポンコード付き UPC-A および EAN-13 を有効または無効にします。もし初期設定（Off）のままにしておくと、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを 1 つのバーコードと見なします。

Allow Concatenation（連結許可）コードを読み取ると、スキャナがクーポンコードと拡張クーポンコードを 1 つの読み取りで認識した場合、どちらも別々のシンボルとして送信します。それ以外の場合は、読み取ったはじめのクーポンコードを送信します。

Require Concatenation（連結必須）コードを読み取ると、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを 1 つとして読み取り、データを送信します。両方のコードが読まれない限り、データは出力されません。*初期設定＝ Off（無効）*

＊無効

連結許可

CPNENA2.
連結必須

クーポン GS1 データバー 出力

クーポンが UPC コードと GS1 データバーコード両方を含んでいて、GS1 データーバーのバーコードデータのみを出力したい場合があるかもしれません。GS1 Output On （GS1 データバーのみ出力　有効）を読み取ると、GS1 データバーバーコードだけを読み取り、そのデータだけを出力します。*初期設定 = GS1 Output Off（GS1 データバーのみ出力　無効）*

＊GS1 データバーのみ出力

GS1 データバーのみ出力　有効

UPC-E0

【UPC-E0　すべての設定を初期化】

UPC-E0 有効／無効

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のナンバーシステムコードで始まります。これらのバーコードには、UPC-E0 の設定を使用します。「1」のナンバーシステムコードで始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1 (page 7-22) を使用します。*初期設定＝ On（有効）*

＊UPC-E0 有効

UPC-E0 無効

UPC-E0 拡張

UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A フォーマットに拡張します。*初期設定＝ Off（無効）*

有効

＊ 無効

UPC-E0 アドオン要求

Required（要求する）バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある UPC-E バーコードだけを読み取ります。*初期設定 = Not Required（要求しない）*

要求する

＊要求しない

UPC-E0 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンデータとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。*初期設定 = Off（無効）*

＊有効

無効

UPC-E0　チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。*初期設定 = On（有効）*

＊有効

無効

UPC-E0 システム番号

UPC-A シンボルのシステム番号は通常読み取ったデータの最初に送信されますが、UPC-E の拡張を使用している場合、送信しないように設定されます。送信を防ぐには OFF（無効）をスキャンします。*初期設定＝ On（有効）*

＊有効

無効

UPC-E0 アドオン

読み取ったすべての UPC-E データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。*初期設定＝ 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について禁止*

アドオン 2 桁許可

＊アドオン 2 桁禁止

アドオン 5 桁許可

＊アドオン 5 桁禁止

UPC-E1

ほとんどの UPC　バーコードは、「0」のシステム番号で始まります。これらのバーコードには、UPC-E0 (page 7-20) を使用します。「1」のシステム番号で始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1 On（UPC-E1　有効）を選択してください。*初期設定＝ Off（無効）*

UPC-E1　有効

＊UPC-E1　無効

EAN/JAN-13

【EAN/JAN-13　すべての設定を初期化】

EAN/JAN-13 有効／無効

＊有効

無効

UPC-A から EAN-13 への変換

UPC-A Converted to EAN-13（UPC-A から EAN-13 への変換）が選択されると、UPC-A バーコードは EAN-13 コードの前に 0 を付加し、13 桁にに変換されます。Do not Convert UPC-A（UPC-A の変換禁止）が選択されると、UPC-A コードは UPC-A として読まれます。

UPC-A から EAN-13 への変換

＊UPC-A の変換禁止

EAN/JAN-13 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。*初期設定＝ On（有効）*

＊有効

無効

EAN/JAN-13 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-13 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。*初期設定＝ 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について禁止*

E13AD21.
アドオン 2 桁許可

E13AD20.
＊アドオン 2 桁禁止

E13AD51.
アドオン 5 桁許可

E13AD50.
＊アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-13 アドオン要求

Required（要求する）バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-13 バーコードだけを読み取ります。*初期設定 = Not Required（要求しない）*

E13ARQ1.
要求する

E13ARQ0.
＊要求しない

EAN/JAN-13 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。*初期設定 = Off（無効）*

E13ADS1.
＊有効

E13ADS0.
無効

*Note: 拡張クーポンコード付き EAN13 を有効または無効にしたい場合は、**拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13 (page 7-19) を参照してください。*

ISBN 変換

ISBN は EAN-13 バーコードを用いて本にプリントされているものです。EAN-13 Bookland シンボルを同等の ISBN 番号フォーマットに変換するには、下の On バーコードを読み取ってください。*初期設定＝ Off（無効）*

E13ISB1.
有効

E13ISB0.
＊ 無効

EAN/JAN-8

【*EAN/JAN-8　すべての設定を初期化*】

EA8DFT.

EAN/JAN-8 有効／無効

EA8ENA1.
＊有効

EA8ENA0.
無効

EAN/JAN-8 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。*初期設定＝ On（有効）*

EA8CKX1.
＊有効

EA8CKX0.
無効

EAN/JAN-8 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-8 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。*初期設定＝ 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について禁止*

アドオン 2 桁許可

＊アドオン 2 桁禁止

アドオン 5 桁許可

＊アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-8 アドオン要求

Required（要求する）バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-8 バーコードだけを読み取ります。*初期設定 = Not Required（要求しない）*

要求する

＊要求しない

EAN/JAN-8 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。*初期設定 = Off（無効）*

＊有効

無効

MSI

【MSI　すべての設定を初期化】

MSI 有効／無効

有効

＊無効

MSI チェックキャラクタ

MSI バーコードにはいろいろな種類のチェックキャラクタが使用されています。タイプ 10 のチェックキャラクタのある MSI バーコードを読み取るようにスキャナを設定できます。*初期設定＝ Validate Type 10, but Don't Transmit（タイプ 10 有効、送信しない）*

Validate Type 10/11 and Transmit（タイプ 10/11 有効、送信する）に設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate Type 10/11, but Don't Transmit（タイプ 10/11 有効、送信しない）に設定した場合は、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。

＊タイプ 10 有効、送信なし

タイプ 10 有効、送信あり

MSICHK2.

タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送信なし

タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送信あり

タイプ 11、そしてタイプ 10 有効、送信なし

タイプ 11 有効、
タイプ 10、送信あり

MSI チェックキャラクタ無効

MSI 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 4 ～ 48　最短の初期設定値 = 4　　最長の初期設定値 = 48

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

GS1 データバー標準型

【GS1 データバー標準型 すべての設定を初期化】

GS1 データバー標準型　有効／無効

＊有効

無効

GS1 データバー限定型

【GS1 データバー限定型　すべての設定を初期化】

GS1 データバー限定型　有効／無効

＊有効

RSLENA0.

無効

GS1 データバー拡張型（エクスパンデッド）

【 GS1 データバー拡張型　すべての設定を初期化 】

GS1 データバー拡張型　有効／無効

＊有効

無効

GS1 データバー拡張型　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。設定可能桁数 ＝ 4 ～ 74　最短の初期設定値 ＝ 4　　最長の初期設定値 ＝ 74

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Codablock A

【Codablock A　すべての設定を初期化】

Codablock A　有効／無効

有効

CBAENA0.

＊無効

Codablock A　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短= 1 ～ 600、 最短の初期設定値 = 1　　最長の初期設定値 = 600

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Codablock F

【*Codablock F　すべての設定を初期化*】

Codablock F　有効／無効

有効

* 無効

Codablock F　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短= 1 ～ 2048、 最短の初期設定値 = 1　　最長の初期設定値 = 2048

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

PDF417

【PDF417　すべての設定を初期化】

PDF417　読み取り桁数

＊有効

無効

PDF417 Message Length

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短＝ 1 ～ 2750、 最短の初期設定値 ＝ 1　　　最長の初期設定値 ＝ 2750

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

MacroPDF417

MacroPDF417 は、複数の PDF417 コードに含まれている非常に大量のデータをエンコードできるよう改良された PDF417 コードです。この機能を有効にすると、複数のコードを集めて一つのデータストリングに仕立てます。*初期設定＝ On（有効）*

＊有効

無効

MicroPDF417

【MicroPDF417　すべての設定を初期化】

MicroPDF417　有効／無効

有効

＊無効

MicroPDF417　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短＝ 1 ～ 366、 最短の初期設定値 ＝ 1　　　最長の初期設定値 ＝ 366

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

GS1 コンポジットシンボル

リニアコードと固有の 2D 合成成分とが複合され、GS1 コンポジット シンボルと呼ばれる新たなクラスを形成します。GS1 コンポジット シンボルにより、すでに使用されているシンボルとの共存が可能になります。*初期設定＝ Off（無効）*

有効

＊無効

UPC/EAN バージョン

UPC または EAN 1 次元バーコードを含む GS1 コンポジット シンボルをデコードするときは、*UPC/EAN Version On*（UPC/EAN バージョン　有効）を読み取ります。（GS1-128、もしくは GS1 バーコードを含む GS1 コンポジットシンボルには影響しません。）*初期設定 = UPC/EAN Version Off（UPC/EAN バージョン　無効）*

UPC/EAN Version　有効

＊UPC/EAN Version　無効

Note: *クーポンが UPC コードと GS1 データバーコード両方を含んでいて、GS1 データーバーのバーコードデータのみを出力したい場合があるかもしれません。そういった場合は、**クーポン GS1 データバー 出力 (page 7-20) を参照してください。*

GS1 コンポジットシンボル　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短＝ 1 ～ 2435、 最短の初期設定値 ＝ 1　　　最長の初期設定値 ＝ 2435

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

GS1 エミュレーション

スキャナは任意の GS1 データキャリアからの出力を自動的にフォーマットし、同等の GS1-128 もしくは GS1 データバーシンボルでデコードされる内容をエミュレートすることができます。GS1 データキャリアには UPC-A、UPC-E、EAN-13 ならびに EAN-8、ITF-14、GS1-128 ならびに GS1-128 データバーと GS1 コンポジットがあります。(GS1 データに対応するアプリケーションは、すべて単純化できます。データキャリアのタイプを 1 つ認識するだけですむからです。)

GS1-128 Emulation（GS1-128 エミュレーション）を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID,]C1 となります。(see シンボルチャート on page A-1)

GS1 Databar Emulation（GS1 データーバーエミュレーション）を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1- データバー AIM ID,]e*m* となります。(see シンボルチャート on page A-1)

IGS1 Code Expansion Off（GS1 コード エミュレーション　無効）を読み取ると、小売コード拡張が無効となり、UPC-E 拡張は UPC-E0 拡張 UPC-E0 拡張 (page 7-20) 設定によって制御されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID,]C1 となります。(see シンボルチャート on page A-1)

EAN8 to EAN13 Conversion（EAN8 から EAN13 へ変換）を読み取ると、すべての EAN8 バーコードは EAN13 フォーマットに転換されます。

初期設定 = GS1 Emulation Off（GS1 エミュレーション　有効）

GS1-128 エミュレーション

GS1 データバーエミュレーション

GS1 コード拡張　無効

EAN8 から EAN13 へ転換

＊GS1 エミュレーション　無

TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このバーコードは、Code 39 のバーコード部分と MicroPDF417 のスタックコード部分による複合コードになっています。どのバーコードスキャナにも Code39 バーコードを読み取る能力がありますが、MicroPDF417 の部分をデコードできるのは TLC39 On （TLC39　有効）に設定したときだけです。MicroPDF417 の成分をデコードできるのは、TLC39 On（TLC39　有効）に設定したときだけです。リニア成分は、TLC39 がオフでも Code39 としてデコードできます。*初期設定＝ Off（無効）*

有効

T39ENA0.

＊無効

QR コード

【*QR コード　すべての設定を初期化*】

QR コード　有効／無効

この選択は、QR Code と Micro QR Code の両方に適用されます。

＊有効

無効

QR コード　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短＝ 1 ～ 7089、 最短の初期設定値 ＝ 1　　最長の初期設定値 ＝ 7089

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

QR コード　連結機能

この機能では、複数の QR コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ QR コードを読み取ると、QR コードに含まれた情報に従って、決められた数量の QR コードを一時的に保存します。適切な数量の QR コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。*初期設定＝ ON(有効）*

＊有効

無効

QR コードページ

QR コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(see ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 on page A-7) を参照)、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と Save（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

QR コードページ

Data Matrix

【Data Matrix　すべての設定を初期化】

Data Matrix　有効／無効

＊有効

無効

Data Matrix　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短＝ 1 ～ 3116、 最短の初期設定値 ＝ 1　　　最長の初期設定値 ＝ 3116

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Data Matrix　連結機能

この機能では、複数の Data Matrix コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ Data Matrix コードを読み取ると、Data Matrix　コードに含まれた情報に従って、決められた数量の Data Matrix　コードを一時的に保存します。適切な数量の Aztec コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。*初期設定＝ On(有効)*

＊有効

無効

Data Matrix　コードページ

Data Matrix コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(see ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 on page A-7) を参照)、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と Save（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

Data Matrix　コードページ

Maxi コード

【Maxi コード　すべての設定を初期化】

Maxi コード　有効／無効

有効

＊無効

Maxi コード　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短＝ 1 ～ 150、 最短の初期設定＝ 1、最長の初期設定＝ 150

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Aztec コード

【Aztec コード　すべての設定を初期化】

Aztec コード　有効／無効

＊有効

無効

Aztec コード　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短= 1 ～ 3832、 最短の初期設定値 = 1　　最長の初期設定値 = 3832

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

Aztec　連結機能

この機能では、複数の Aztec コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ Aztec コードを読み取ると、Aztec コードに含まれた情報に従って、決められた数量の Aztec コードを一時的に保存します。適切な数量の Aztec コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。*初期設定= ON(有効)*

＊有効

無効

Aztec　コードページ

Aztec コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し((see ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 on page A-7) を参照)、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と Save（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

Aztec　コードページ

中国7漢信（Han Xin）コード

【漢信コード　すべての設定を初期化】

漢信コード　有効／無効

有効

＊無効

漢信コード　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最長と最短＝ 1 〜 7833、 最短の初期設定値 ＝ 1　　　最長の初期設定値 ＝ 7833

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

2 次元郵便コード

以下は、読み込み可能な 2 次元郵便コードと認識可能な 2 次元郵便コードの組み合わせです。1 つの 2 次元郵便コードしか有効にできません。2 つ目の郵便コード設定を有効にすると場合、初めの設定は上書きされます。*初期設定 = 2D Postal Codes Off（2 次元郵便コード　無効）*

POSTAL0.
＊2 次元郵便コード　無効

2 次元郵便コード（単独）

POSTAL1.
オーストラリア郵便　有

POSTAL7.
英国郵便　有効

POSTAL30.
カナダ郵便　有効

POSTAL10.
インテリジェントメール　有効

POSTAL3.
日本郵便　有効

POSTAL4.
KIX　有効

POSTAL5.
Planet コード　有効

Planet コード　チェックデジット , page 7-45

POSTAL9.
Postal-4i　有効

Postnet　有効

Postnet　チェックデジット, page 7-45

Postnet B および B' フィールド　有効

Info Mail　有効

2 次元郵便コード（組み合わせ）

Infomail および英国郵便　有効

Intelligent Mail バーコード、Postnet B および B' フィールド　有効

Postnet および Postal-4i　有効

Postnet および Intelligent Mail バーコード　有効

Postal-4i および Intelligent Mail バーコード　有効

Postal-4i および Postnet B および B' フィールド　有効

Planet コード Postnet コード　有効

Planet コード
Postnet B および B' フィールド　有効

Planet コード
Postal-4i　有効

Planet コード
Intelligent Mail バーコード　有効

Planet コード、
Postnet および
Postal-4i　有効

Planet コード
Postnet および
Intelligent Mail バーコード　有効

Planet コード、
Postal-4i および
Intelligent Mail バーコード　有効

Postnet、
Postal-4i および
Intelligent Mail バーコード　有効

Planet コード、
Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド　有効

Planet コード、
Intelligent Mail コード、Postnet B および
B' フィールド　有効

Postal-4i、
Intelligent Mail コード、Postnet B およ
び B' フィールド　有効

POSTAL28.

Planet コード、
Postal-4i および
Intelligent Mail コード、Postnet　有効

POSTAL29.

Planet コード、
Postal-4i および
Intelligent Mail コード、Postnet B および B' フィールド　有効

Planet コード　チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。*初期設定 = Don't Transmit（送信なし）*

PLNCKX1.

チェックデジットを送信

PLNCKX0.

＊チェックデジットを送信しない

Postnet　チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。*初期設定 = Don't Transmit（送信なし）*

NETCKX1.

チェックデジットを送信す

NETCKX0.

＊チェックデジットを送信しない

オーストラリア郵便　判読

この機能では、オーストラリア郵便で使用されている 4-State バーコードに含まれている顧客フィールドにどのような判読が適用されるかを制御します。

Bar Output（バー出力）はバーコードのパターンを「0123」フォーマットで一覧にします。

Numeric N Table（数字 N テーブル）は N Table を使用して、フィールドを数字データとして判読します。

Alphanumeric C Table（英数字 C テーブル）は、C Table を使用して、フィールドを英数字データとして判読します。
Australian Post（オーストラリア郵便）の仕様表を参照してください。

Combination C and N Table（C および N コンビネーションテーブル）は C Table または N Table を使用して、フィールドを判読します。

＊バー出力

数字 N テーブル

英数字 C テーブル

C および N テーブルコンビネーション

1 次元郵便コード

1 次元の郵便コードを以下に挙げます。いかなる 1 次元郵便コードの組み合わせでも同時に有効にすることが可能です。

中国郵便コード（Hong Kong 2 of 5）

【中国郵便コード（Hong Kong 2 of 5）すべての設定を初期化】

中国郵便コード（Hong Kong 2 of 5）　有効／無効

有効

＊無効

中国郵便コード（Hong Kong 2 of 5）読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 2 ～ 80、 最短の初期設定値 ＝ 4　　　最長の初期設定値 ＝ 80

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

韓国郵便

【韓国郵便コード　すべての設定を初期化】

韓国郵便

有効

＊無効

韓国郵便　読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (page 7-1) を参照してください。最短と最短＝ 2 ～ 80、 最短の初期設定値 ＝ 4　　　最長の初期設定値 ＝ 48

最小読み取り桁数

最大読み取り桁数

韓国郵便コード　チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。*初期設定 = Don't Transmit（送信なし）*

チェックデジットを送信

＊チェックデジットを送信しない

8

インターフェースキー

キーボードファンクションの関係

以下のキーボードファンクションコード、Hex/ASCII 値、および Full ASCII 「CTRL」+ の関係は、スキャナとともに使用可能なすべてのターミナルに適用します。page 2-17 Control + X (Control + ASCII) 有効モードを参照してください。

ファンクションコード	HEX/ASCII 値	Full ASCII (CTRL + X Mode)
NUL	00	@
SOH	01	A
STX	02	B
ETX	03	C
EOT	04	D
ENQ	05	E
ACK	06	F
BEL	07	G
BS	08	H
HT	09	I
LF	0A	J
VT	0B	K
FF	0C	L
CR	0D	M
SO	0E	N
SI	0F	O
DLE	10	P
DC1	11	Q
DC2	12	R
DC3	13	S
DC4	14	T
NAK	15	U
SYN	16	V
ETB	17	W
CAN	18	X
EM	19	Y
SUB	1A	Z
ESC	1B	[
FS	1C	\
GS	1D	]
RS	1E	^
US	1F	_

「Full ASCII 「CTRL」+ 」の列にある最後の 5 つのキャラクタ ([¥] 6 −) は、アメリカでのみ対応します。次の表は、これらの 5 つのキャラクタの国別の同等キャラクタを示します。

国名	コード				
アメリカ	[	¥	]	6	-
ベルギー	[	<	]	6	-
スカンジナビア	8	<	9	6	-
フランス	ˆ	8	$	6	=
ドイツ		Ã	+	6	-
イタリア		¥	+	6	-
スイス		<	・・	6	-
イギリス	[	¢	]	6	-

国名			コード		
デンマーク	8	¥	9	6	-
ノルウェー	8	¥	9	6	-
スペイン	[	¥	]	6	-

サポートされているインタフェースキー

ASCII	HEX	IBM PC/AT および互換機、USB PC キーボード	Apple Mac/iMac サポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter (KP)	Enter/Numpad Enter
STX	02	Cap Lock	CAPS
ETX	03	ALT make	ALT make
EOT	04	ALT break	ALT break
ENQ	05	CTRL make	CNTRL make
ACK	06	CTRL break	CNTRL break
BEL	07	CR/Enter	RETURN
BS	08	Reserved	APPLE make
HT	09	Tab	TAB
LF	0A	Reserved	APPLE break
VT	0B	Tab	TAB
FF	0C	Delete	Del
CR	0D	CR/Enter	RETURN
SO	0E	Insert	Ins Help
SI	0F	Escape	ESC
DLE	10	F11	F11
DC1	11	Home	Home
DC2	12	Print	Prnt Scrn
DC3	13	Back Space	BACKSPACE
DC4	14	Back Tab	LSHIFT TAB
NAK	15	F12	F12
SYN	16	F1	F1
ETB	17	F2	F2
CAN	18	F3	F3
EM	19	F4	F4
SUB	1A	F5	F5
ESC	1B	F6	F6
FS	1C	F7	F7
GS	1D	F8	F8
RS	1E	F9	F9
US	1F	F10	F10
DEL	7F		BACKSPACE

9 ユーティリティ

すべてのシンボル体系へのテストコード ID プリフィクス追加すべてのシンボルにプリフィックスを追加

これを選択すると、デコードされたシンボルの前にコード ID を送信することができます。(各シンボルを識別する単独のシンボルキャラクタコードについては、シンボルチャート , beginning on page A-1 に記載されたシンボルチャートを参照してください。) ここでは、まず現在のプレフィックスをすべて消去し、その後すべてのシンボルについてコード ID プレフィックスを設定します。これは、電源を入れなおすと削除される一時設定です。

全シンボルへ体系のコード ID プリフィクス追加

デコーダーの改訂情報を表示

次のバーコードを読み取り、デコーダの改訂情報を出力します。

デコーダーの改訂情報の表示

ドライバーの改訂情報の表示

次のバーコードを読み取り、ドライバの改訂情報の読み取りを出力します。読み取りドライバは画像の取り込みを制御します。

ドライバーの改訂情報の表示

ソフトウェアの改訂情報表示

次のバーコードを読み取り、スキャナとベースの現在のソフトウェアの改訂情報、シリアルナンバー、およびその他の製品情報を出力します。

Show Revision (改訂情報の表示)

データフォーマットの表示

次のバーコードを読み取り、現在のデータフォーマット設定を表示します。

データフォーマット設定

テストメニュー

テスト メニューの On(有効) バーコードを読み取り、次に本書のプログラミングコードを読み取ると、スキャナはプログラミングコードの内容を表示します。プログラミングファンクションはまだ存在しますが、さらにそのプログラミングコードの内容もターミナルに出力されます。

Note: この機能は、通常のイメージャ操作では使用しないでください。

有効

＊無効

EZConfig について

EZConfig は PC の COM ポートにスキャナを接続することにより、多様な PC ベースのプログラミング機能を提供することができます。EZConfig を用いると、スキャナのアップグレードの為にファームウェアをダウンロードしたり、設定済みのパラメータを変更したり、プログラミングバーコードを作成して印刷することができます。さらに、スキャナのプログラミングパラメータを保存したり開いたりすることもできます。この保存ファイルは電子メールで送信でき、必要であれば、カスタマイズされたプログラミングパラメータをすべて含む単一のバーコードを作成し、どこへでもメールやファックスで送信することもできます。他の場所にいるユーザは、そのバーコードを読み取り、カスタマイズされたプログラミングに組み込むことができます。

スキャナとの通信のため、EZConfig ではコンピュータに少なくとも 1 つの空きシリアル通信ポートか、または物理的な USB ポートを使用したシリアルポートのエミュレーションが必要です。シリアルポートと RS232 ケーブルを使用している場合は、外部電源が必要です。USB シリアルポートのエミュレーションを使用しているときには、USB ケーブルのみ必要です。

EZConfig の操作

EZConfig ソフトウェアでは、以下の操作を実行します。

Scan Data (データ読み取り)

バーコードを読み取って、ウィンドウにバーコードデータを表示することができます。また、シリアルコマンドをスキャナに送信したり、スキャナからの応答を受信したりでき、Scan Data ウィンドウでこれらを確認することができます。Scan Data ウィンドウに表示されるデータは、ファイルに保存することもできれば、印刷することもできます。

Configure (環境設定)

環境設定は、スキャナのプログラミングと環境設定データを表示します。スキャナのプログラミングと環境設定データは、異なるカテゴリに分類されます。各カテゴリは、アプリケーションエクスプローラの「Configure」ツリーノードの下にツリーアイテムとして表示されます。これらのツリーノードの 1 つをクリックすると、その特定のカテゴリに所属するパラメータのフォームが右側に表示されます。「Configure」ツリーオプションには、スキャナ用に指定したプログラミングと環境設定パラメータのすべてが含まれています。これらのパラメータは、必要に応じて設定または変更できます。後で、変更した設定値をスキャナに書き込んだり、dcf ファイルに保存したりできます。

ウェブサイトからの EZConfig のインストール

Note: EZConfig には .NET ソフトウェアが必要です。お使いの PC に .NET がインストールされていない場合、EZConfig のインストール時に .NET のインストールを促すメッセージが表示されます。

1. www.honeywellaidc.com. からハネウェルのウェブサイトにアクセスします。
2. Resources タブをクリックし Software を選択します。
3. ドロップダウンメニューから Select Product Number（型番を選択）をクリックし、製品番号を選択します。

4. EZConfig-Scanning リストをクリックします。
5. 指示が出ましたら Save File を選択し、ファイルを c:¥windows¥temp ディレクトリに保存します。
6. ファイルのダウンロードが終了したらウェブサイトを閉じます。
7. エクスプローラを使用し、c:¥windows¥temp のファイルに進みます。
8. Setup.exe ファイルをダブルクリックします。画面の指示に従って EZConfig プログラムをインストールします。
9. インストール時にデフォルトを選択した場合は、Start Menu-All Programs-Honeywell-EZConfig-Scannin をクリックしてください。

初期設定の再設定

*本章ではすべての設定の消去しスキャナを工場出荷時にリセットを行います。*またすべてのプラグインを無効にします。

スキャナにどのプログラムオプションが有効か不確かな場合またはいくつかのオプションを変更し、工場出荷時の設定に復元したい場合、Remove Custom Defaults（カスタムデフォルトの削除）バーコードをスキャンし、次に Activate Defaults（デフォルトの有効化）をスキャンしてください。これでスキャナは工場出荷時の設定にリセットされます。

カスタムデフォルトの削除

DEFALT.

デフォルトの有効化

Note: コードレスシステムを使用している場合、Activate Defaults（デフォルトの有効化）バーコードをスキャンすることでスキャナとベースの両方、またはアクセスポイントにリセットを実行し、リンク不接続になります。リンクを再確立するには、セットアップコードが入力される前にスキャナをベースに置かれなければなりません。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細はコードレスシステムの操作 beginning on page 3-1 を参照してください。

メニューコマンド , beginning on page 10-3 は、各コマンド（プログラミングページでアスタリスク（*）で表示）の標準の初期設定を示しています。

10

シリアルプログラミングコマンド

シリアルプログラミングコマンドをプログラミングバーコードの代わりに使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらもスキャナをプログラム設定します。各シリアルプログラミングコマンドの解説と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

機器は、RS232 インタフェース用に設定する必要があります。(page 2-1 を参照。)以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを用いて PC COM 経由で送信できます。

記述上の語句

メニューと質問コマンドの記述には、以下の取り決めが用いられています。

Parameterコマンドの一部として送信する実際の値

[option]　コマンドのオプション部分

{Data}　コマンド内の選択肢

Bold　画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

メニューコマンドシンタックス(構文)

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです。(スペースを用いているのは、単にわかりやすくするためです。)

Prefix [:Name:]Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [; Tag SubTag {Data}] […] Storage

Prefix　3 つの ASCII のキャラクタ:SYN M CR (ASCII 22、77、13)SYN M CR (ASCII 22,77,13)

:Name:　このコマンドはコードレスデバイスでのみ使用します。ベースまたはスキャナと通信するかどうかを特定するために使用します。スキャナ(ホストに連結したベースと共に)に情報を送信するために、:Voyager_1452g: を使用します。工場出荷時の Voyager 1452g スキャナの初期設定は Voyager_1452 スキャナです。この設定は英数字を許可する BT_NAM コマンドを使用して設定します。ネームがわからない場合は、「*」を :*: の形で用います。

Note: ベースはすべてのワークグループの設定を保存し、それらと接続されるとすぐにスキャナに転送します。変更はベースに対してのみ行われ、スキャナには行われません。

Tag　メニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い 3 キャラクタのフィールド。例えば、RS232 の環境設定は、すべて 232 という Tag で識別されます。

SubTag　タググループの中のメニューコマンドグループを識別する大文字・小文字の区別がない 3 キャラクタのフィールド。例えば、RS232 ボーレートの SubTag は BAD になります。

Data　メニュー設定の新規値。Tag と SubTag で識別されます。

Storage　コマンドを適用するストレージテーブルを指定する 1 つのキャラクタ。感嘆符(!)は、機器の一時的なメモリ上でのコマンド操作を実行します。ピリオド(.)の場合は、機器の不揮発性メモリ上でコマンド操作を実行します。不揮発性メモリ上は、始動時に保存したい半恒久的な変更の場合だけに使用します。

質問コマンド

設定について機器から返答を得るためのいくつかの特殊キャラクタを使用できます。

^　設定の初期値

?　機器の現在の設定値

*　設定で可能な範囲(機器のレスポンスでは、ダッシュ (-) で値の連続範囲を示し、パイプ (|) で不連続値の一覧の項目を区切ります。

:Name: フィールドの使い方(オプション)

このコマンドを用いると、スキャンからの質問情報を返送します。

Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット*全体*に質問します。この場合、機器には無視されるので SubTag および Data フィールドは使用しないでください。

Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので Data フィールドは使用しないでください。

Data Field Usage

Data フィールドに代わって質問を使用すると、Tag および SubTag フィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを 1 つの Prefix/Storage シーケンス内で使用できます。 シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、および Data フィールドだけです。同じ Tag でコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ（,）で区切り、追加コマンドの SubTag および Data フィールドだけを記述します。追加コマンドで異なる Tag フィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン（;）で前のコマンドと区切ります。

レスポンス

機器は、次の 3 つのレスポンスの 1 つでシリアルコマンドに応答します。

ACK　正しくコマンドを実行した。

ENQ　Tag または SubTag コマンドが無効。

NAK　コマンドは正しいが、Data フィールドの入力がこの Tag および SubTag 組み合わせの許容範囲外。例えば、フィールドが 2 キャラクタしか受け付けないときに最小読み取り桁数の入力が 100 になっている場合。

応答するとき、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクタを挿入したコマンドシーケンスを返します。

質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ [ ] は非表示レスポンスを示します。

Example:　例：Codabar Coding Enable で可能な値の範囲は？

入力：　cbrena*.

レスポンス　CBRENA0-1[ACK]

Codabar Coding Enable (CBRENA) の値の範囲が 0 ～ 1（オフとオン）であることを示します。

Example:　Codabar Coding Enable の初期設定値は？

入力：　cbrena^.

レスポンス　CBRENA1[ACK]

Codabar Coding Enable（CBRENA）のデフォルト設定が 1 またはオンであることを示しています。

Example:　例：Codabar Coding Enable のデフォルト値は？

入力：　cbrena?.

レスポンス　CBRENA1[ACK]

機器の Codabar Coding Enable（CBRENA）が 1、またはオンに設定されいることを示します。

Example:　例：すべての Codabar 選択項目に対する機器の設定は？

入力：　cbr?.

レスポンス　CBRENA1[ACK],
SSX0[ACK],
CK20[ACK],
CCT1[ACK],
MIN2[ACK],
MAX60[ACK],
DFT[ACK].

このレスポンスは、機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1 または有効に設定され
スタート / ストップキャラクタ（SSX）は 0、または Don't Transmit に、
チェックキャラクタ（CK2）は 0、または Not Required に、
連結機能（CCT）は 1、または Enabled に、
最小読み取り桁数（MIN）は 2 キャラクタに、
最大読み取り桁数（MAX）は 60 キャラクタに、
またデフォルト設定（DFT）には値が無いことを示しています。

トリガーコマンド

シリアルトリガーコマンドでスキャナを起動または停止できます。まず、Manual Trigger Mode（マニュアルトリガーモード）バーコード（page 4-5）を読み取りマニュアルトリガーモードにするか、シリアルメニューコマンド（page 4-5）を送ります。スキャナがいったんシリアルトリガーモードになると、以下のコマンドを送ってトリガーをアクティブ／非アクティブにできます。

起動する： SYN T CR

停止する： SYN U CR

スキャナは、バーコードを読み取るか、非アクティブ化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウトになるまで読み取りを実行します。（説明については " 読み取りタイムアウト " on page 4-6 を、また page 10-11 のシリアルコマンドを参照。）

標準の製品初期設定へのリセット

ご使用のスキャナでカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults（カスタムデフォルトを起動）バーコードを読み取ってください。これはスキャナの設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。

カスタムデフォルトを起動

Note: コードレスシステムをご使用の場合、このバーコードを読み取ると、スキャナとベースにもリセットを実行し、非接続となってしまいます。コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキャナをベースに置いてください。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細はコードレスシステムの操作 beginning on page 3-1 を参照してください。

次ページ以降のチャートは、各メニューコマンド（プログラミングページ上アスタリスク（*）で表示）の標準の工場出荷時設定一覧です。

メニューコマンド

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
製品初期設定			
カスタムデフォルトの設定	カスタムデフォルトの設定	MNUCDP	1-7
	カスタムデフォルトの保存	MNUCDS	1-7
標準の製品初期設定へのリセット	カスタムデフォルトを起動	DEFALT	1-7
インターフェースの設定			
プラグ＆プレイ	キーボードウェッジ： IBM PC AT and Compatibles with CR suffix （IBM PC AT と互換機、CR サフィックスつき）	PAP_AT	2-1

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	Laptop Direct Connect with CR suffix（ノート PC ダイレクト接続、CR サフィックスつき）	PAPLTD	2-1
	RS232 シリアルポート	PAP232	2-1
プラグ＆プレイ： RS485	IBM Port 5B インターフェース	PAPP5B	2-2
	IBM Port 9B HHBCR-1 インターフェース	PAP9B1	2-2
	IBM Port 17 インターフェース	PAPP17	2-2
	IBM Port 9B HHBCR-2 インターフェース	PAP9B2	2-2
	RS485 パケットモード　有効	RTLPDF1	2-2
	*RS485 パケットモード　無効	RTLPDF0	2-2
	RS485 パケット長 (20-256) *40	RTLMPS	2-3
プラグ＆プレイ：IBM SurePos	USB IBM SurePos ハンドヘルドインターフェース	PAPSPH	2-3
	USB IBM SurePos 卓上インターフェース	PAPSPT	2-3
プラグ＆プレイ：USB	USB Keyboard (PC)	PAP124	2-3
	USB キーボード (Mac)	PAP125	2-3
	USB Japanese キーボード (PC)	TRMUSB134	2-3
	USB HID	PAP131	2-4
	USB シリアル	TRMUSB130	2-4
	CTS/RTS エミュレーション　有効	USBCTS1	2-4
	CTS/RTS エミュレーション無効 *	USBCTS0	2-4
	ACK/NAK モード　有効	USBACK1	2-4
	ACK/NAK モード無効 *	USBACK0	2-4
USB 用リモート MasterMind	ReM オフ	REMIFC0	2-5
	*ReM オン	REMIFC1	2-5
プラグ＆プレイ	Verifone Ruby ターミナル	PAPRBY	2-5
	Gilbarco ターミナル	PAPGLB	2-5
	Honeywell 2 面式カウンタースキャナ	PAPBIO	2-6
	Datalogic Magellan 2 面式カウンタースキャナ	PAPMAG	2-6
	NCR 2 面式カウンタースキャナ	PAPNCR	2-6
	Wincor Nixdorf ターミナル	PAPWNX	2-6
	Wincor Nixdorf Beetle	PAPBTL	2-7
	Wincor Nixdorf RS232 モード A	PAPWMA	2-7
Program Keyboard 国別キーボード	* アメリカ	KBDCTY0	2-8
	アルバニア	KBDCTY35	2-8
	アゼリー (キリル文字)	KBDCTY81	2-8
	アゼリー　ラテン	KBDCTY80	2-8
	ベラルーシ	KBDCTY82	2-8
	ベルギー	KBDCTY1	2-8
	ボスニア	KBDCTY33	2-8
	ブラジル	KBDCTY16	2-8

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	ブラジル　MS	KBDCTY59	2-8
	ブルガリア (キリル文字)	KBDCTY52	2-8
	ブルガリア（ラテン）	KBDCTY53	2-9
	カナダ（フランス語 Legacy）	KBDCTY54	2-9
	カナダ（フランス語）	KBDCTY18	2-9
	カナダ（多言語）	KBDCTY55	2-9
	クロアチア	KBDCTY32	2-9
	チェコ	KBDCTY15	2-9
	チェコ（プログラマー）	KBDCTY40	2-9
	チェコ (QWERTY)	KBDCTY39	2-9
	チェコ (QWERTZ)	KBDCTY38	2-9
	デンマーク	KBDCTY8	2-9
	オランダ語（オランダ）	KBDCTY11	2-9
	エストニア	KBDCTY41	2-10
	フェロー語	KBDCTY83	2-10
	フィンランド	KBDCTY2	2-10
	フランス	KBDCTY3	2-10
	ゲール語	KBDCTY84	2-10
	ドイツ	KBDCTY4	2-10
	ギリシャ	KBDCTY17	2-10
	ギリシャ　220 ラテン	KBDCTY64	2-10
	ギリシャ　220	KBDCTY61	2-10
	ギリシャ　319 ラテン	KBDCTY65	2-10
	ギリシャ　319	KBDCTY62	2-10
	ギリシア　ラテン	KBDCTY63	2-11
	ギリシャ　MS	KBDCTY66	2-11
	ギリシャ　Polytonic	KBDCTY60	2-11
	ヘブライ語	KBDCTY12	2-11
	ハンガリー語　101 キー	KBDCTY50	2-11
	ハンガリー	KBDCTY19	2-11
	アイスランド	KBDCTY75	2-11
	アイルランド	KBDCTY73	2-11
	イタリア語　142	KBDCTY56	2-11
	イタリア語	KBDCTY5	2-11
	日本語	KBDCTY28	2-11
	カザフスタン	KBDCTY78	2-12
	キルギスタン　キリル文字	KBDCTY79	2-12
	ラテンアメリカ	KBDCTY14	2-12
	ラトビア	KBDCTY42	2-12
	ラトビア QWERTY	KBDCTY43	2-12
	リトアニア	KBDCTY44	2-12
	リトアニア　IBM	KBDCTY45	2-12
	マケドニア	KBDCTY34	2-12

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	マルタ	KBDCTY74	2-12
	モンゴル　キリル文字	KBDCTY86	2-12
	ノルウェー	KBDCTY9	2-12
	ポーランド	KBDCTY20	2-13
	ポーランド語　214	KBDCTY57	2-13
	ポーランド語　プログラマー	KBDCTY58	2-13
	ポルトガル	KBDCTY13	2-13
	ルーマニア	KBDCTY25	2-13
	ロシア	KBDCTY26	2-13
	ロシア　MS	KBDCTY67	2-13
	ロシア　タイプライター	KBDCTY68	2-13
	SCS	KBDCTY21	2-13
	セルビア　キリル文字	KBDCTY37	2-13
	セルビア　ラテン	KBDCTY36	2-13
	スロヴァキア	KBDCTY22	2-14
	スロヴァキア　QWERTY	KBDCTY49	2-14
	スロヴァキア　QWERTZ	KBDCTY48	2-14
	スロヴェニア	KBDCTY31	2-14
	スペイン	KBDCTY10	2-14
	スペイン語　変動	KBDCTY51	2-14
	スウェーデン	KBDCTY23	2-14
	スイス　フランス語	KBDCTY29	2-14
	スイス　ドイツ語	KBDCTY6	2-14
	タタール語	KBDCTY85	2-14
	トルコ F	KBDCTY27	2-14
	トルコ Q	KBDCTY24	2-15
	ウクライナ	KBDCTY76	2-15
	イギリス	KBDCTY7	2-15
	アメリカ　Dvorak 右	KBDCTY89	2-15
	アメリカ　Dvorak 左	KBDCTY88	2-15
	アメリカ　Dvorak	KBDCTY87	2-15
	アメリカ　インターナショナル	KBDCTY30	2-15
	ウズベキスタン　キリル文字	KBDCTY77	2-15
キーボードの変換	* キーボード変換　無効	KBDCNV0	2-16
	すべてのキャラクタを大文字に変換	KBDCNV1	2-16
	すべてのキャラクタを小文字に変換	KBDCNV1	2-17
キーボードスタイル	* レギュラー	KBDSTY0	2-15
	Caps Lock	KBDSTY1	2-15
	Shift Lock	KBDSTY2	2-16
	自動 Caps Lock	KBDSTY6	2-16
	Emulate External Keyboard	KBDSTY5	2-16
制御キャラクタの出力	* 制御キャラクタ出力　無効	KBDNPE0	2-17
	* 制御キャラクタ出力　有効	KBDNPE1	2-17

選択項目	設定 *初期設定*	シリアルコマンド *# 数値入力を示す*	ページ
キーボードの設定	*Control + ASCII Off	KBDCAS0	2-17
	DOS モード Control + ASCII	KBDCAS1	2-17
	Windows モード Control + ASCII	KBDCAS2	2-17
	Windows モード プリフィクス / サフィックス　無効	KBDCAS3	2-17
	* ターボモード　無効	KBDTMD0	2-18
	ターボモード　有効	KBDTMD1	2-18
	* 数字キーパッド　無効	KBDNPS0	2-18
	数字キーパッド　有効	KBDNPS1	2-18
	* 自動直接接続　無効	KBDADC0	2-18
	自動直接接続　有効	KBDADC1	2-18
ボーレート	300 BPS	232BAD0	2-18
	600 BPS	232BAD1	2-18
	1200 BPS	232BAD2	2-19
	2400 BPS	232BAD3	2-19
	4800 BPS	232BAD4	2-19
	*9600 BPS	232BAD5	2-19
	19200 BPS	232BAD6	2-19
	38400 BPS	232BAD7	2-19
	57600 BPS	232BAD8	2-19
	115200 BPS	232BAD9	2-19
ワード長：データビットストップビットパリティ	7 データビット、1 ストップビット、偶数	232WRD3	2-19
	7 データビット、1 ストップビット、パリティ無	232WRD0	2-20
	7 データビット、1 ストップビット、奇数	232WRD6	2-20
	7 データビット、2 ストップビット、偶数	232WRD4	2-20
	7 データビット、2 ストップビット、パリティ無	232WRD1	2-20
	7 データビット、2 ストップビット、奇数	232WRD7	2-20
	8 データビット、1 ストップビット、偶数	232WRD5	2-20
	8 データビット、1 ストップビット、パリティ無	232WRD2	2-20
	8 データビット、1 ストップビット、奇数	232WRD8	2-20
RS232 レシーバータイムアウト	0 - 300	232LPT###	2-20
RS232 ハンドシェイク	* RTS/CTS 無効	232CTS0	2-21
	フロー制御、タイムアウトなし	232CTS1	2-21
	双方向フロー制御	232CTS2	2-21
	フロー制御、タイムアウトあり	232CTS3	2-21
	RS232 タイムアウト	232DEL####	2-21
	*XON/XOFF 無効	232XON0	2-21
	XON/XOFF 有効	232XON1	2-21
	* ACK/NAK 無効	232ACK0	2-22
	ACK/NAK 有効	232ACK1	2-22

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
2 面式カウンタースキャナパケットモード	* パケットモード　無効	232PKT0	2-22
	パケットモード　有効	232PKT2	2-22
2 面式カウンター式スキャナ ACK/NAK モード	* 2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK　無効	232NAK0	2-22
	2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK 有効	232NAK1	2-22
2 面式カウンタースキャナ ACK/NAK タイムアウト	ACK/NAK タイムアウト *5100	232DLK#####	2-23
コードレスシステムの操作 *Note: 本項はコードレスシステムのみを対象としています。コードつきスキャナには適用できませんので、ご注意ください。*			
ベースユニットパワー / 通信インジケーター	* 有効	:*:BASRED1	3-5
	無効	:*:BASRED0	3-5
スキャナのリセット	スキャナのリセット	RESET_	3-6
ベースユニット上での読み取り	ベースに置いた状態での読み取り　禁止	BT_SIC0	3-6
	* ベースに置いた状態での読み取り　許可	BT_SIC1	3-6
	ベースに置いてスキャナをシャットダウン	BT_SIC2	3-6
ベースチャージモード	ベースチャージ無効	BASCHG0	3-7
	* 外部またはインターフェースケーブル電源	BASCHG1	3-7
	外部電源のみ	BASCHG2	3-7
ページングモード	* 有効	BEPPGE1	3-7
	無効	BEPPGE0	3-7
ページング音の音程	低 (*1000 Hz)	BEPPFQ1000	3-7
	中 (3250Hz)	BEPPFQ3250	3-8
	高 (4200)	BEPPFQ4200	3-8
ブザー音の音程：ベースユニットのエラー発生時	* 低 (250) (最小 200Hz)	BASFQ2250	3-8
	* 中 (3250Hz)	BASFQ23250	3-8
	高 (4200Hz) (最大 9000Hz)	BASFQ24200	3-8
ブザー音の回数：ベースユニットのエラー発生時	*1	BASERR3	3-8
	1 – 9	BASERR#	3-8
スキャナレポート	スキャナレポート	RPTSCN	3-8
スキャナのアドレス	スキャナのアドレス	BT_LDA	3-9
ベースアドレス	ベースアドレス	:*:BASLDA	3-9
スキャナモード	充電限定モード	:*:BASLNK0	3-9
	* 充電および通信モード	:*:BASLNK1	3-9
	通信固定モード	BASCON0,DNG1	3-10
	* 通信オープンモード	BASCON1,DNG1	3-10
	スキャナとの解除	BT_RMV	3-10
	通信固定されたスキャナの上書き	BT_RPL1	3-10
通信範囲外警告	通信範囲外警告ベースアラームの鳴動時間 (範囲 1-3000 ミリ秒) * 0	BASORD	3-11
	スキャナアラームの鳴動時間 (範囲 1-3000 ミリ秒)* 0	BT_ORD	3-11

選択項目	設定 *初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
警告ブザーの種類	ベースアラームの種類	BASORW	3-11
	スキャナアラームの種類	BT_ORW	3-11
スキャナパワータイムアウトタイマー	0 – 7200 秒	BT_LPT0	3-12
	200 秒 *	BT_LPT200	3-12
	400 秒 *	BT_LPT400	3-12
	900 秒 *	BT_LPT900	3-12
	3600 秒 *	BT_LPT3600	3-12
	7200 秒 *	BT_LPT7200	3-12
フレキシブルパワーマネージメント	* フルパワー	BT_TXP100	3-13
	出力 - 中	BT_TXP35	3-13
	出力 – 中低	BT_TXP5	3-13
	出力 – 低	BT_TXP1	3-13
バッチモード	自動バッチモード	BATENA1	3-14
	* バッチモード無効	BATENA0	3-13
	棚卸バッチモード	BATENA2	3-14
	持続バッチモード	BATENA3	3-14
バッチモード：ブザー音	無効	BATBEP0	3-14
	* 有効	BATBEP1	3-14
バッチモード：保存形式	* フラッシュメモリに保存	BATNVS1	3-14
	フラッシュメモリに保存	BATNVS0	3-14
バッチモード：個数	* 無効	BATQTY0	3-15
	有効	BATQTY1	3-15
個数コード	0	BATNUM0	3-15
	*1	BATNUM1	3-16
	2	BATNUM2	3-16
	3	BATNUM3	3-16
	4	BATNUM4	3-16
	5	BATNUM5	3-16
	6	BATNUM6	3-16
	7	BATNUM7	3-16
	8	BATNUM8	3-16
	9	BATNUM9	3-16
バッチモード：出力順序	先入れ先出し	BATLIF0	3-16
	後入れ先出し	BATLIF1	3-16
レコードの合計件数	レコードの合計件数	BATNRC	3-17
最後のコードを削除	最後のコードを削除	BATUND	3-17
すべてのコードを削除	すべてのコードを削除	BATCLR	3-17
保存したデータをホストへ送信	棚卸の記録を送信	BAT_TX	3-17
バッチモード：送信ディレイ（間隔）	* 無効	BATDLY0	3-17
	短（ミリ秒）	BATDLY250	3-17
	中（ミリ秒）	BATDLY500	3-18
	長（ミリ秒）	BATDLY1000	3-18

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
複数スキャナ 操作モード	複数スキャナでの操作	BASCON2,DNG3	3-18
スキャナ名	スキャナ名 1 -7	BT_NAM#####	3-18
	リセット	RESET_	3-19
	スキャナ名	BT_NAM	3-19
アプリケーションワークグループ 選択項目	* グループ 0	GRPSEL0	3-19
	グループ 1-6	GRPSEL#	3-19
工場出荷時設定の再設定：すべてのアプリケーションワークグループ	工場出荷時設定の再設定： すべてのワークグループ	PAPDFT&	3-20
カスタムデフォルトの再設定：すべてのアプリケーションワークグループ	カスタムデフォルト設定： すべてのワークグループ	PAPDFT	3-21
Bluetooth 接続	Bluetooth HID キーボードとの通信確立	PAPBTH	3-21
	Bluetooth HID キーボードとの通信解除	PAPSPP	3-23
	Bluetooth PC/ ノート型 PC シリアルポートとの通信確立	BT_TRM0;BT_DNG5	3-23
	PDA/ ハンディターミナル用 Bluetooth 接続	BT_TRM0;BT_DNG1	3-23
	Bluetooth PIN コード	BT_PIN	3-23
自動再接続モード	* 自動再接続モード　有効	BT_ACM1	3-24
	自動再接続　無効	BT_ACM0	3-24
再接続試行最高限度回数	再接続試行最高限度回数	BT_MLA	3-25
再接続タイムアウト	再接続タイムアウト	BT_RLT	3-25
ホストコマンドの ACK	ホスト ACK　有効	HSTACK1	3-27
	* ホスト ACK　無効	HSTACK0	3-27
入力・出力設定			
起動ブザー	スキャナ、起動ブザー無効	BEPPWR0	4-1
	* スキャナ、起動ブザー有効	BEPPWR1	4-1
BEL ブザー	BEL ブザー　有効	BELBEP1	4-1
	*BEL ブザー　無効	BELBEP0	4-1
トリガークリック音	有効	BEPTRG1	4-2
	* 無効	BEPTRG0	4-2
BEL ブザー	BEL ブザー　有効	BELBEP1	4-1
	*BEL ブザー　無効	BELBEP0	4-1
読み取り成功時ブザー	無効	BEPBEP0	4-2
	* 有効	BEPBEP1	4-2
読み取り成功時ブザー：音量	無効	BEPLVL0	4-2
	低	BEPLVL1	4-2
	中	BEPLVL2	4-2
	* 大	BEPLVL3	4-2
読み取り成功時ブザー：音程	低 (1600) (最低 400Hz)	BEPFQ11600	4-3
	* 中 (2400)	BEPFQ12400	4-3
	高 (4200Hz) (最大 9000Hz)	BEPFQ14200	4-3

選択項目	設定 *初期設定*	シリアルコマンド *# 数値入力を示す*	ページ
読み取り成功時ブザー：音程	* 低 (250) (最小 200Hz)	BEPFQ2800	4-3
	* 中 (3250Hz)	BEPFQ23250	4-3
	高 (4200Hz) (最大 9000Hz)	BEPFQ24200	4-3
読み取り成功時ブザー：長さ	* 通常	BEPBIP0	4-3
	短	BEPBIP1	4-3
読み取り成功時：LED	無効	BEPLED0	4-4
	* 有効	BEPLED1	4-4
エラーブザーの回数：	*1	BEPERR3	4-4
	1 - 9	BEPERR#	4-4
読み取り成功時ブザー：回数	*1	BEPRPT1	4-4
	1 - 9	BEPRPT#	4-4
読み取り成功ディレイ	* ディレイなし	DLYGRD0	4-4
	短いディレイ (500 ミリ秒)	DLYGRD500	4-4
	中位のディレイ (1000 ミリ秒)	DLYGRD1000	4-4
	長いディレイ (1500 ミリ秒)	DLYGRD1500	4-5
ユーザー定義の読み取り成功ディレイ	0 - 30,000 ミリ秒	DLYGRD#####	4-5
マニュアルトリガーモード	* マニュアルトリガー　標準	PAPHHF	4-5
LED 照明：マニュアルトリガーモード	低	PWRNOL7	4-5
	中	PWRNOL15	4-5
	中高	PWRNOL50	4-5
	* 大	PWRNOL150	4-5
シリアルトリガーモード	読取タイムアウト（範囲：0 ～ 300,000） *300,000	TRGSTO######	4-6
Presentation	プレゼンテーションモード	PAPPST	4-6
アイドル照明：プレゼンテーションモード	低	PWRIDL7	4-6
	中	PWRIDL15	4-6
	* 大	PWRIDL50	4-6
プレゼンテーション感度	0-20 (*1)	TRGPMS##	4-7
プレゼンテーションセンタリングウィンドウ	プレゼンテーションセンタリング　有効	PDCWIN1	4-8
	* プレセンターションセンタリング　無効	PDCWIN0	4-8
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ　左 (*40%)	PDCLFT###	4-8
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ　右 (*60%)	PDCRGT###	4-8
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ　上 (*40%)	PDCTOP###	4-8
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ　下 (*60%)	PDCBOT###	4-8
スタンド使用時のセンサーモード	* センサー　有効	TRGSSW1	4-8
	センサー　無効	TRGSSW0	4-8

選択項目	設定 *＊初期設定*	シリアルコマンド *# 数値入力を示す*	ページ
低品質コード	低品質 1D 読取有効	DECLDI1	4-9
	＊低品質 1D 読取無効	DECLDI0	4-9
	低品質 PDF 読取有効	PDFXPR1	4-9
	＊低品質 PDF 読取無効	PDFXPR0	4-9
CodeGate®	＊スタンド不使用時　CodeGate 無効	AOSCGD0.	4-9
	スタンド不使用時　CodeGate 有効	AOSCGD1.	4-9
携帯端末読み取りモード	手持ち読み取り　携帯端末	PAPHHC	4-10
ハンズフリータイムアウト	0 - 300,000 ミリ秒	TRGPTO######	4-10
再読み取りディレイ	短 (500 ミリ秒)	DLYRRD500	4-10
	＊中 (750 ミリ秒)	DLYRRD750	4-10
	長 (1000 ミリ秒)	DLYRRD1000	4-10
	エクストラ (2000 ミリ秒)	DLYRRD2000	4-10
2D 読み取りディレイ	＊２Ｄ再読み取りディレイ無効	DLY2RR0	4-11
	短　(1000ms)	DLY2RR1000	4-11
	中　(2000ms)	DLY2RR2000	4-11
	長　(3000ms)	DLY2RR3000	4-11
	エクストラ (4000ms)	DLY2RR4000	4-11
キャラクタ有効化モード	＊無効	HSTCEN0	4-11
	有効	HSTCEN1	4-11
	アクティベーションキャラタ	HSTACH##	4-12
	読み取り成功後の終端文字ア有効化無効	HSTCGD0	4-12
	＊読み取り成功後の終端文字のアクティベーション	HSTCGD1	4-12
	キャラクタアクティベーションレーザータイムアウト　(1 〜 62525)*5000 ミリ秒	HSTCDT#####	4-12
キャラクタ無効化モード	＊無効	HSTDEN0	4-13
	有効	HSTDEN1	4-13
	無効化キャラクタ	HSTDCH##	4-13
ユーザー定義の再読み取りディレイ	0 - 30,000 ミリ秒	DLYRRD#####	4-11
照明ライト	＊照明　有効	SCNLED1	4-13
	照明　無効	SCNLED0	4-13
エイマーディレイ	200 ミリ秒	SCNDLY200	4-13
	400 ミリ秒	SCNDLY400	4-14
	＊無効 (ディレイなし)	SCNDLY0	4-14
ユーザー定義のエイマーディレイ	0 - 4,000 ミリ秒	SCNDLY####	4-14
エイマーモード	無効	SCNAIM0	4-14
	＊インターレース	SCNAIM2	4-14
センタリングウィンドウ	センタリング　有効	DECWIN1	4-15
	＊センタリング　無効	DECWIN0	4-15
	センタリングウィンドウ　左 (*40%)	DECLFT###	4-16
	センタリングウィンドウ　右 (*60%)	DECRGT###	4-16
	センタリングウィンドウ　上 (*40%)	DECTOP###	4-15

選択項目	設定 *初期設定*	シリアルコマンド *# 数値入力を示す*	ページ
	センタリングウィンドウ　左（*60%）	DECBOT###	4-15
No Read	有効	SHWNRD1	4-16
	* 無効	SHWNRD0	4-16
ビデオリバース（反転コード）	反転コードのみ　有効	VIDREV1	4-16
	反転および標準コード	VIDREV2	4-16
	* 反転バーコード　無効	VIDREV0	4-17
ワーキングオリエンテーション	* 正面	ROTATN0	4-17
	垂直、下から上（反時計回りに 90°　回転）	ROTATN1	4-17
	上下逆さ	ROTATN2	4-17
	垂直、上から下（時計回りに 90°　回転）	ROTATN3	4-17
プリフィクス / サフィックスの設定			
すべてのシンボルに CR サフィックスを付加		VSUFCR	5-2
プリフィックス	プリフィクスの追加	PREBK2##	5-2
	1 つのプリフィクスを削除	PRECL2	5-2
	すべてのプリフィクスを削除	PRECA2	5-2
サフィックス	サフィックスの追加	SUFBK2##	5-3
	1 つのサフィックスを削除	SUFCL2	5-3
	すべてのサフィックスを削除	SUFCA2	5-3
ファンクションコード送信	* 有効	RMVFNC0	5-3
	無効	RMVFNC1	5-3
キャラクタ間ディレイ（間隔）	0 - 1000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYCHR##	5-3
ユーザー定義 キャラクタ間ディレイ（間隔）	ディレイ長 0 - 1000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYCRX##	5-4
	ユーザー定義のキャラクタ間ディレイ	DLY_XX##	5-4
ファンクション間ディレイ	0 - 1000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYFNC##	5-4
メッセージ間ディレイ	0 - 1000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYMSG##	5-5
データフォーマッターの設定			
データフォーマットエディタ	* データフォーマットの初期化（なし）	DFMDF3	6-1
	データフォーマットの入力	DFMBK3##	6-2
	1 つのデータフォーマットの削除	DFMCL3	6-2
	すべてのデータフォーマットの削除	DFMCA3	6-2
データフォーマット	データフォーマッタ　無効	DFM_EN0	6-9
	* データフォーマッタ　有効、 要求しない、 プリフィクス / サフィックス あり	DFM_EN1	6-9
	データフォーマット要求する、 プリフィクス / サフィックス あり	DFM_EN2	6-9
基準・代用データフォーマット	基準データフォーマットの使用	ALTFNM0	6-9
	データフォーマット 1	ALTFNM1	6-9
	データフォーマット 2	ALTFNM2	6-10
	データフォーマット 3	ALTFNM3	6-10

選択項目	設定 *初期設定*	シリアルコマンド *# 数値入力を示す*	ページ
シンボル			
すべてのシンボル	すべてのシンボル　無効	ALLENA0	7-1
	すべてのシンボル　読み取り許可	ALLENA1	7-1
Codabar	すべての設定を初期化 設定	CBRDFT	7-2
	無効	CBRENA0	7-2
	* 有効	CBRENA1	7-2
Codabar スタート / ストップキャラクタ	* 送信しない	CBRSSX0	7-2
	送信する	CBRSSX1	7-2
Codabar チェックキャラクタ	* チェックキャラクタなし	CBRCK20	7-3
	振動、送信しない	CBRCK21	7-3
	有効、送信する	CBRCK22	7-3
Codabar の連結	* 無効	CBRCCT0	7-3
	有効	CBRCCT1	7-3
	要求する	CBRCCT2	7-3
Codabar 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 60) *4	CBRMIN##	7-3
	最大読み取り桁数 (2 - 60) * 60	CBRMAX##	7-4
Code 39	すべての設定を初期化 設定	C39DFT	7-4
	無効	C39ENA0	7-4
	* 有効	C39ENA1	7-4
Code 39 Start/Stop Char.	* 送信しない	C39SSX0	7-4
	送信する	C39SSX1	7-4
Code 39 Check Char.	* チェックキャラクタなし	C39CK20	7-4
	有効、送信しない しない	C39CK21	7-5
	有効、 送信する	C39CK22	7-5
Code 39 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 48) *0	C39MIN##	7-5
	最大読み取り桁数 (0 - 48) * 48	C39MAX##	7-5
Code 39 の連結	* 無効	C39APP0	7-5
	有効	C39APP1	7-5
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	* 無効	C39B320	7-5
	有効	C39B321	7-5
Code 39 Full ASCII	* 無効	C39ASC0	7-6
	有効	C39ASC1	7-6
	Code 39 コードページ	C39DCP	7-6
Interleaved 2 of 5	すべての設定を初期化 2 of 5 設定	I25DFT	7-7
	無効	I25ENA0	7-7
	* 有効	I25ENA1	7-7

選択項目	設定 *初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Interleaved 2 of 5 チェックデジット	*チェックキャラクタなし	I25CK20	7-7
	有効、送信しない しない	I25CK21	7-7
	有効、送信する	I25CK22	7-7
Interleaved 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	I25MIN##	7-7
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	I25MAX##	7-8
NEC 2 of 5	すべての設定を初期化 2 of 5 設定	N25DFT	7-8
	無効	N25ENA0	7-8
	* 有効	N25ENA1	7-8
NEC 2 of 5 チェックデジット	*チェックキャラクタなし	N25CK20	7-8
	有効、送信しない しない	N25CK21	7-8
	有効、送信する	N25CK22	7-8
NEC 2 of 5　読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	N25MIN##	7-9
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	N25MAX##	7-9
Code 93	すべての設定を初期化 設定	C93DFT	7-9
	無効	C93ENA0	7-9
	* 有効	C93ENA1	7-11
Code 93 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) *0	C93MIN##	7-9
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	C93MAX##	7-9
Code 93 の連結	有効	C93APP1	7-10
	* 無効	C93APP0	7-10
Code 93 コードページ	Code 93 コードページ	C93DCP	7-10
Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート / ストップ)	すべての設定を初期化	R25DFT	7-11
	* 無効	R25ENA0	7-11
	有効	R25ENA1	7-11
Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) *4	R25MIN##	7-11
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	R25MAX##	7-11
Straight　2 of 5 IATA	すべての設定を初期化 設定	A25DFT	7-12
Straight　2 of 5 IATA (2 バースタート / ストップ)	* 無効	A25ENA0	7-12
	有効	A25ENA1	7-12
Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) *4	A25MIN##	7-12
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	A25MAX##	7-12
Matrix 2 of 5	すべての設定を初期化 設定	X25DFT	7-13
	* 無効	X25ENA0	7-13

選択項目	設定 *初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	有効	X25ENA1	7-13
Matrix 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 – 80) *4	X25MIN##	7-13
	最大読み取り桁数 (1 – 80) * 80	X25MAX##	7-13
Code 11	すべての設定を初期化 設定	C11DFT	7-14
	* 無効	C11ENA0	7-14
	有効	C11ENA1	7-14
Code 11 チェックデジットの要求	1 チェックデジット	C11CK20	7-14
	*2 チェックデジット	C11CK21	7-14
Code 11 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 – 80) *4	C11MIN##	7-14
	最大読み取り桁数 (1 – 80) * 80	C11MAX##	7-14
Code 128	すべての設定を初期化 設定	128DFT	7-15
	無効	128ENA0	7-15
	* 有効	128ENA1	7-15
ISBT の連結	* 無効	ISBENA0	7-15
	有効	ISBENA1	7-15
Code 128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 – 80) *0	128MIN##	7-15
	最大読み取り桁数 (0 – 80) * 80	128MAX##	7-15
Code 128 の連結	* 有効	128APP1	7-15
	無効	128APP0	7-16
Code 128 コードページ	Code 128　コードページ (*2)	128DCP##	7-16
GS1-128	すべての設定を初期化	GS1DFT	7-17
	* 有効	GS1ENA1	7-17
	無効	GS1ENA0	7-17
GS1-128　読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 – 80) *1	GS1MIN##	7-17
	最大読み取り桁数 (0 – 80) * 80	GS1MAX##	7-17
UPC-A	すべての設定を初期化 UPC-A 設定	UPADFT	7-17
	無効	UPAENA0	7-18
	* 有効	UPAENA1	7-18
UPC-A チェックデジット	無効	UPACKX0	7-17
	* 有効	UPACKX1	7-18
UPC-A システム番号	無効	UPANSX0	7-18
	* 有効	UPANSX1	7-18
UPC-A 2 桁のアドオン	* 無効	UPAAD20	7-18
	有効	UPAAD21	7-18
UPC-A 5 桁のアドオン	* 無効	UPAAD50	7-18
	有効	UPAAD51	7-18
UPC-A アドオンの要求	* 要求しない	UPAARQ0	7-19
	要求する	UPAARQ1	7-19
UPC-A　アドオン セパレータ	無効	UPAADS0	7-19
	* 有効	UPAADS1	7-19

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
拡張クーポンコード付き UPC-A/ EAN-13	* 無効	CPNENA0	7-19
	連結許可	CPNENA1	7-19
	連結必須	CPNENA2	7-19
クーポン GS1 データバー 出力	* GS1 出力　無効	CPNGS10	7-20
	GS1 データバーのみ出力　有効	CPNGS11	7-20
UPC-E0	すべての設定を初期化 設定	UPEDFT	7-20
	無効	UPEEN00	7-20
	* 有効	UPEEN01	7-20
UPC-E0 拡張	* 無効	UPEEXP0	7-20
	有効	UPEEXP1	7-20
UPC-E0 アドオンの要求	要求する	UPEARQ1	7-21
	* 要求しない	UPEARQ0	7-21
UPC-E0 アドオンセパレータ	* 有効	UPEADS1	7-21
	無効	UPEADS0	7-21
UPC-E0 チェックデジット	無効	UPECKX0	7-21
	* 有効	UPECKX1	7-21
UPC-E0 Number System	無効	UPENSX0	7-22
	* 有効	UPENSX1	7-21
UPC-E0 アドオン	2 桁のアドオン　有効	UPEAD21	7-22
	* 2 桁のアドオン　無効	UPEAD20	7-22
	5 桁のアドオン　有効	UPEAD51	7-22
	* 5 桁のアドオン　無効	UPEAD50	7-22
UPC-E1	* 無効	UPEEN10	7-22
	有効	UPEEN11	7-22
EAN/JAN-13	すべての設定を初期化 JAN 設定	E13DFT	7-23
	無効	E13ENA0	7-23
	* 有効	E13ENA1	7-23
EAN/JAN-13 チェックデジット	無効	E13CKX0	7-23
	* 有効	E13CKX1	7-23
EAN/JAN-132 桁のアドオン	2 桁のアドオン　有効	E13AD21	7-24
	* 2 桁のアドオン　無効	E13AD20	7-24
	5 桁のアドオン　有効	E13AD51	7-24
	* 5 桁のアドオン　無効	E13AD50	7-24
EAN/JAN-13 アドオンの要求	* 要求しない	E13ARQ0	7-24
	要求する	E13ARQ1	7-24
EAN/JAN-13 アドオン セパレータ	無効	E13ADS0	7-24
	* 有効	E13ADS1	7-24
ISBN 変換	* 無効	E13ISB0	7-25
	有効	E13ISB1	7-25
EAN/JAN-8	すべての設定を初期化 JAN 8 設定	EA8DFT	7-25

選択項目	設定 ＊初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	無効	EA8ENA0	7-25
	＊有効	EA8ENA1	7-25
EAN/JAN-8 チェックデジット	無効	EA8CKX0	7-25
	＊有効	EA8CKX1	7-25
EAN/JAN-8 アドオン	＊2 桁のアドオン　無効	EA8AD20	7-26
	2 桁のアドオン　有効	EA8AD21	7-26
	＊5 桁のアドオン　無効	EA8AD50	7-26
	5 桁のアドオン　有効	EA8AD51	7-26
EAN/JAN-8 アドオンの要求	＊要求しない	EA8ARQ0	7-26
	要求する	EA8ARQ1	7-26
EAN/JAN-8 アドオン セパレータ	無効	EA8ADS0	7-26
	＊有効	EA8ADS1	7-26
MSI	すべての設定を初期化	MSIDFT	7-27
	＊無効	MSIENA0	7-27
	有効	MSIENA1	7-27
MSI チェックキャラクタ	＊タイプ 10 有効、送信しない	MSICHK0	7-27
	タイプ 10 有効、 送信する	MSICHK1	7-27
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送信しない	MSICHK2	7-27
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送信する	MSICHK3	7-27
	タイプ 11、そしてタイプ 10 有効、送信しない	MSICHK4	7-27
	タイプ 11、そしてタイプ 10 有効、送信する	MSICHK5	7-28
	MSI チェックキャラクタ無効	MSICHK6	7-28
MSI 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (4 – 48) *4	MSIMIN##	7-28
	最大読み取り桁数 (4 – 48) *48	MSIMAX##	7-28
GS1 データバー標準型	すべての設定を初期化 GS1 データバー標準型設定	RSSDFT	7-29
	無効	RSSENA0	7-29
	＊有効	RSSENA1	7-29
GS1 データバー限定型	すべての設定を初期化	RSLDFT	7-29
	無効	RSLENA0	7-29
	＊有効	RSLENA1	7-29
GS1 DataBar 拡張型	すべての設定を初期化 拡張設定	RSEDFT	7-30
	無効	RSEENA0	7-30
	＊有効	RSEENA1	7-30
GS1 データバー　拡張型　読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (4 – 74) *4	RSEMIN##	7-30
	最大読み取り桁数 (4 – 74) *74	RSEMAX##	7-30

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Codablock A	すべての設定を初期化	CBADFT	7-30
	* 無効	CBAENA0	7-30
	有効	CBAENA1	7-30
Codablock A 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1 - 600) *1	CBAMIN###	7-31
	最大読み取り桁数 (1 - 600) *600	CBAMAX###	7-31
Codablock F	すべての設定を初期化	CBFDFT	7-31
	* 無効	CBFENA0	7-31
	有効	CBFENA1	7-31
Codablock F 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1 - 2048) *1	CBFMIN####	7-31
	最大読み取り桁数 (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	7-31
PDF417	すべての設定を初期化	PDFDFT	7-32
	* 有効	PDFENA1	7-32
	無効	PDFENA0	7-32
MicroPDF417 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-2750) *1	PDFMIN####	7-32
	最大読み取り桁数 (1-2750) *2750	PDFMAX####	7-32
MacroPDF417	* 有効	PDFMAC1	7-32
	無効	PDFMAC0	7-32
MicroPDF417	すべての設定を初期化	MPDDFT	7-33
	有効	MPDENA1	7-33
	* 無効	MPDENA0	7-33
MicroPDF417 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-366) *1	MPDMIN###	7-33
	最大読み取り桁数 (1-366) *366	MPDMAX###	7-33
GS1 コンポジットシンボル	有効	COMENA1	7-33
	* 無効	COMENA0	7-33
UPC/EAN バージョン	有効	COMUPC1	7-34
	* 無効	COMUPC0	7-34
GS1 コンポジットシンボル 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-2435) *1	COMMIN####	7-34
	最大読み取り桁数 (1-2435) *2435	COMMAX####	7-34
GS1 エミュレーション	GS1-128 エミュレーション	EANEMU1	7-35
	GS1 データバーエミュレーション	EANEMU2	7-35
	GS1 コード拡張　無効	EANEMU3	7-35
	EAN8 から EAN13 へ転換	EANEMU4	7-35
	* GS1 エミュレーション　無効	EANEMU0	7-35
TCIF Linked Code 39（TLC39）	有効	T39ENA1	7-35
	* 無効	T39ENA0	7-35
QR コード	すべての設定を初期化	QRCDFT	7-41
	* 有効	QRCENA1	7-36
	無効	QRCENA0	7-36
QR コード 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-7089) *1	QRCMIN####	7-36
	最大読み取り桁数 (1-7089) *7089	QRCMAX####	7-36

選択項目	設定 *初期設定*	シリアルコマンド *# 数値入力を示す*	ページ
QR コード　連結機能	* 有効	QRCAPP1	7-36
	無効	QRCAPP0	7-36
QR コードページ	QR コード　コードページ (*3)	QRCDCP##	7-37
Data Matrix	すべての設定を初期化	IDMDFT	7-37
	* 有効	IDMENA1	7-37
	無効	IDMENA0	7-37
Data Matrix 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-3116) *1	IDMMIN####	7-37
	最大読み取り桁数 (1-3116) *3116	IDMMAX####	7-37
Data Matrix　連結機能	* 有効	IDMAPP1	7-38
	無効	IDMAPP0	7-38
Data Matrix　コードページ	Data Matrix　コードページ (*51)	IDMDCP##	7-38
MaxiCode	すべての設定を初期化	MAXDFT	7-39
	有効	MAXENA1	7-39
	* 無効	MAXENA0	7-39
MaxiCode 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-150) *1	MAXMIN###	7-39
	最大読み取り桁数 (1-150) *150	MAXMAX###	7-39
Aztec コード	すべての設定を初期化	AZTDFT	7-40
	* 有効	AZTENA1	7-40
	無効	AZTENA0	7-40
Aztec コード 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-3832) *1	AZTMIN####	7-40
	最大読み取り桁数 (1-3832) *3832	AZTMAX####	7-40
Aztec　連結機能	有効	AZTAPP1	7-40
	* 無効	AZTAPP0	7-40
Aztec　コードページ	Aztec　コードページ (*51)	AZTDCP##	7-41
中国〒漢信（Han Xin）コード	すべての設定を初期化	HX_DFT	7-41
	有効	HX_ENA1	7-41
	* 無効	HX_ENA0	7-41
中国郵便コード（漢信コード）読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-7833) *1	HX_MIN####	7-41
	最大読み取り桁数 (1-7833) *7833	HX_MAX####	7-41
1 次元郵便コード			
中国郵便コード (香港 2 of 5)	すべての設定を初期化	CPCDFT	7-46
	* 無効	CPCENA0	7-47
	有効	CPCENA1	7-47
中国郵便コード (香港 2 of 5) 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (2 – 80) *4	CPCMIN##	7-47
	最大読み取り桁数 (2 – 80) *80	CPCMAX##	7-47
韓国郵便コード	すべての設定を初期化	KPCDFT	7-48
	* 無効	KPCENA0	7-48
	有効	KPCENA1	7-48

選択項目	設定 *初期設定*	シリアルコマンド *# 数値入力を示す*	ページ
韓国郵便コード 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (2 – 80) *4	KPCMIN##	7-48
	最大読み取り桁数 (2 – 80) *48	KPCMAX##	7-48
韓国郵便コード　チェックデジット	送信チェックデジット	KPCCHK1	7-48
	* チェックデジットを送信しない	KPCCHK0	7-48
2 次元郵便コード			
2 次元郵便コード（単独）	* 無効	POSTAL0	7-48
2 次元郵便コード（単独）	オーストラリア郵便　有効	POSTAL1	7-42
	英国郵便　有効	POSTAL7	7-42
	カナダ郵便　有効	POSTAL30	7-42
	Intelligent Mail バーコード　有効	POSTAL10	7-42
	日本郵便　有効	POSTAL3	7-42
	KIX　有効	POSTAL4	7-42
	Planet コード　有効	POSTAL5	7-42
	Postal-4i　有効	POSTAL9	7-42
	Postnet コード　有効	POSTAL6	7-43
	Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL11	7-43
	Info Mail　有効	POSTAL2	7-43
2 次元郵便コード（組み合わせ）	Infomail および英国郵便　有効	POSTAL8	7-43
	インテリジェント メールバーコード および Postnet B および B' フィールドつき　有効	POSTAL20	7-43
	Postnet および Postal- 4i 有効	POSTAL14	7-43
	Postnet および インテリジェント メール バーコード　有効	POSTAL16	7-43
	Postal-4i および インテリジェント メール バーコード　有効	POSTAL17	7-43
	Postal-4i および Postnet B および B' フィールドつき　有効	POSTAL19	7-43
	Planet および Postnet　有効	POSTAL12	7-43
	Planet および Postnet B および B' フィールドつき　有効	POSTAL18	7-44
	Planet および Postal-4i　有効	POSTAL13	7-44
	Planet および インテリジェント メールバーコード　有効	POSTAL15	7-44
	Planet, Postnet, および Postal-4i　有効	POSTAL21	7-44
	Planet, Postnet, および インテリジェント メールバーコード　有効	POSTAL22	7-44
	Planet, Postal-4i, およびインテリジェント メールバーコード　有効	POSTAL23	7-44
	Postnet, Postal-4i, およびインテリジェント メールバーコード　有効	POSTAL24	7-44
	Planet, Postal-4i, Postnet B および B' フィールドつき　有効	POSTAL25	7-44
	Planet, インテリジェント メールバーコード , Postnet B および B' フィールドつき　有効	POSTAL26	7-44

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	Postal-4i, インテリジェント メールバーコード , Postnet B および B' フィールドつき　有効	POSTAL27	7-44
	Planet, Postal-4i, インテリジェント メールバーコード , Postnet　有効	POSTAL28	7-45
	Planet, Postal-4i, インテリジェント メールバーコード , Postnet B および B' フィールドつき　有効	POSTAL29	7-45
Planet Code チェックデジット	送信する	PLNCKX1	7-45
	送信しない	PLNCKX0	7-45
Postnet チェックデジット	送信する	NETCKX1	7-45
	* 送信しない	NETCKX0	7-45
オーストラリア郵便	バー出力	AUSINT0	7-46
	数字 N テーブル	AUSINT1	7-46
	英数字 C テーブル	AUSINT2	7-46
	N および C の組み合わせ	AUSINT3	7-46
ユーティリティ			
コード ID の追加すべての体系へテストコード ID を追加		PRECA2,BK2995C80!	9-1
デコーダーの改訂情報を表示		REV_DR	9-1
ドライバの改訂情報を表示		REV_SD	9-1
ソフトウェアの改訂情報を表示		REVINF	9-1
データフォーマットの表示		DFMBK3?	9-1
初期設定の再設定	カスタムデフォルトの削除	DEFOVR	9-3
	デフォルトの有効化	DEFALT	9-3

11

製品仕様

Voyager 1450g スキャナ製品仕様

パラメータ	*仕様*
機械仕様	
高さ	82mm（3.23 インチ）
長さ	62mm（2.45 インチ）
幅	169mm（6.65 インチ）
重量	130g (4.6 oz)
電気仕様	
入力電圧	4.0 – 5.5VDC
動作電源	2W (400mA @ 5VDC)
スタンバイ電源	.45W（90mA @ 5VDC）
照明 LED	白色発光
エイミング	624nm ピーク波長
環境仕様	
動作温度	0 ℃～ 40 ℃
保管温度	-20 ℃～ 60 ℃
湿度	5 - 95%（結露無きこと）
落下	1.5m からコンクリートへ 30 回落下後動作
保護等級	IP40
ライトレベル	0 ～ 100,000 ルクス (9,290 foot-candles)
耐静電気	15kV 直接空気、8kV 間接的結合面
画像	
イメージサイズ	640 x 480 ピクセル
読取性能	
ピッチ、スキュー	±60°、±70°
移動読み取り プレゼンテーションモード	10cm/ 秒（0.331mm UPC バーコード読み取り時）
印字コントラスト	35%
分解能	
標準性能 0.127mm　Code39	45 – 107mm (1.8 – 4.2 in.)
0.331mm　UPC-A	37 – 260mm (1.4 – 10.2 in.)
0.508mm　Code 39	42 – 360mm (1.6 – 14.2 in.)
0.171mm　PDF417	42 – 107mm (1.6 – 4.2 in.)
0..254mm　Data Matrix	42 – 107mm (1.6 – 4.2 in.)
0.508mm QR コード	32 – 210mm (1.2 – 8.3 in.)
保証性能 0.127mm　Code39	57 – 102mm (2.2 – 4.0 in.)
0.331mm　UPC-A	41 – 207mm (1.6 – 8.1 in.)
0.508mm　Code 39	45 – 300mm (1.8 – 11.8 in.)
0.171mm　PDF417	45 – 100mm (1.8 – 3.9 in.)
0..254mm　Data Matrix	50 – 98mm (2.0 – 3.8 in.)
0.508mm QR コード	35 – 190mm (1.4 – 7.5 in.)

Voyager 1452g コードレススキャナ製品仕様

パラメータ	*仕様*
機械仕様	
高さ	17.3cm（6.8 インチ）
長さ	8.2cm（3.2 インチ）
幅	6.2cm（2.5 インチ）
重量	210g (7.3 oz)
電気仕様	
バッテリ リチウムイオン	2400 mAH リチウムイオン
読み取り回数	1 回の完全充電で 4 万回
想定動作時間	14
想定充電時間	4.5 時間
照明 LED	白色発光
エイミング	624nm ピーク波長
無線	
周波数	2.4 - 2.5 GHz (ISM バンド)　FH 方式　Bluetooth V2.1
範囲	10m（標準）
データレート	1MBps まで
環境仕様	
動作温度	5 ℃～ 40 ℃
保存温度 ※　バッテリあり	-20 ℃～ 35 ℃で 90 日 -20 ℃～ 20 ℃で 1 年
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
落下	1.5 m からコンクリートへ 30 回落下後動作
保護等級	IP42
耐振動	5 ～ 300Hz で最大 5G に耐えること
耐静電気	12kV 直接空気、8kV 間接的結合面
画像	
イメージサイズ	640 x 480 ピクセル
読取性能	
ピッチ、スキュー	±60°、±70°
移動読み取り プレゼンテーションモード	10cm/ 秒（0.331mm UPC バーコード読み取り時）
印字コントラスト	35%
分解能	
標準性能 0.127mm　Code39	45 - 107mm (1.8 - 4.2 in.)
0.331mm　UPC	37 - 260mm (1.4 - 10.2 in.)
0.508mm　Code 39	42 - 360mm (1.6 - 14.2 in.)
0.171mm　PDF417	42 - 107mm (1.6 - 4.2 in.)
0..254mm　Data Matrix	42 - 107mm (1.6 - 4.2 in.)
0.508mm QR コード	32 - 210mm (1.2 - 8.3 in.)
保証性能 0.127mm　Code39	57 - 102mm (2.2 - 4.0 in.)
0.331mm　UPC-A	41 - 207mm (1.6 - 8.1 in.)

パラメータ	仕様
0.508mm　Code 39	45 – 300mm (1.8 – 11.8 in.)
0.171mm　PDF417	45 – 100mm (1.8 – 3.9 in.)
0..254mm　Data Matrix	50 – 98mm (2.0 – 3.8 in.)
0.508mm QR コード	35 – 190mm (1.4 – 7.5 in.)

※　保存温度範囲外の温度で保存した場合、バッテリーの寿命に有害な影響をもたらす可能性があります。

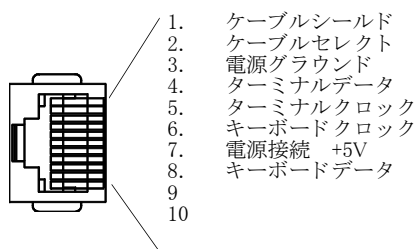
CCB01-010BT チャージャーベース製品仕様

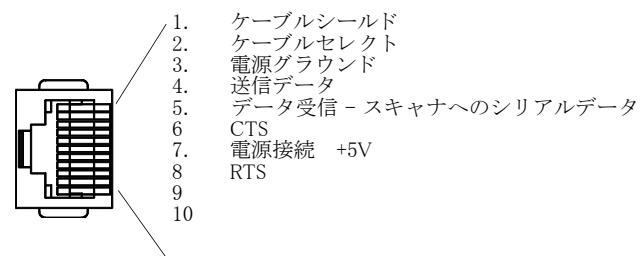
パラメータ	仕様
外形寸法（代表値） 高さ 長さ 幅 重量	 8.13cm（3.2 インチ） 13.18cm（3.2 インチ） 10.11cm（3.2 インチ） 6.3 oz (179g)
電圧	4.5 - 5.5V
電流引き込み ホストターミナルポート AUX（補助）電力ポート	 500mA 1A
充電時間	5 時間
無線 周波数 範囲 データレート	 2.4 - 2.5 GHz (ISM バンド)　FH 方式　Bluetooth V2.1 10m（標準） 1MBps まで
温度範囲 動作時 充電中 保存時	 0 ℃ 〜 50 ℃ 5 ℃〜 +40 ℃ -40 ℃ 〜 +70 ℃
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
耐落下	1m（3.28 フィート）からコンクリート面に 50 回落下 して動作すること
耐振動	22 - 300Hz 5G ピークに耐えること
耐静電気	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV
防塵・防滴シールド	IP41

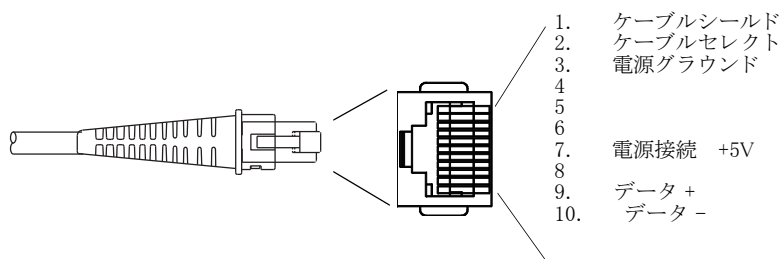
標準ケーブルピン配列

Note: ピン配列 は ハネウェルのレガシー製品と互換性がありません。不適切なピン配列のケーブルの使用は機器に損傷を与える可能性があります。メーカー提供のものではないケーブルの使用による損傷は保証対象となりません。

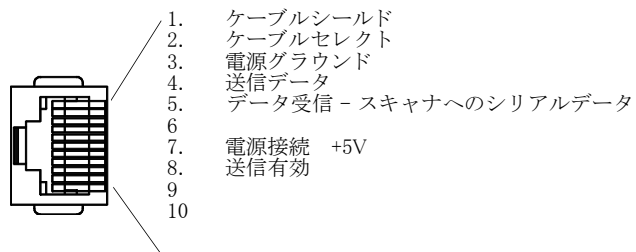
キーボードウェッジ

10 ピンの RJ41 モジュラープラグ

シリアル出力

10 ピンの RJ41 モジュラープラグ

USB

10 ピンのモジュラープラグ

RS485 アウトプット

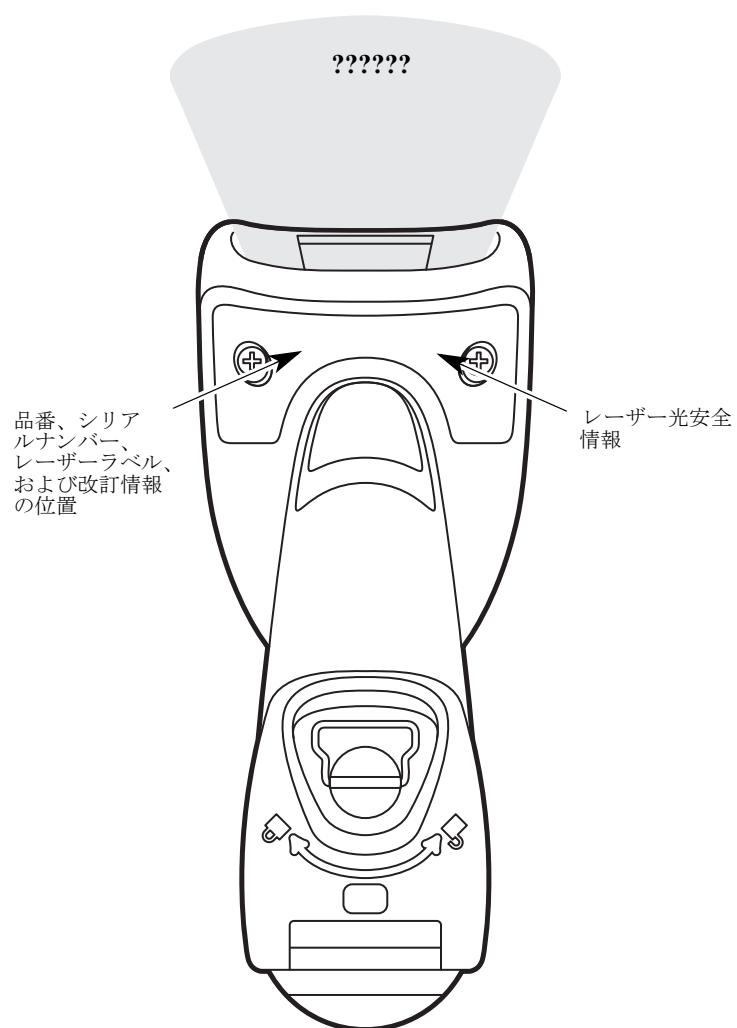
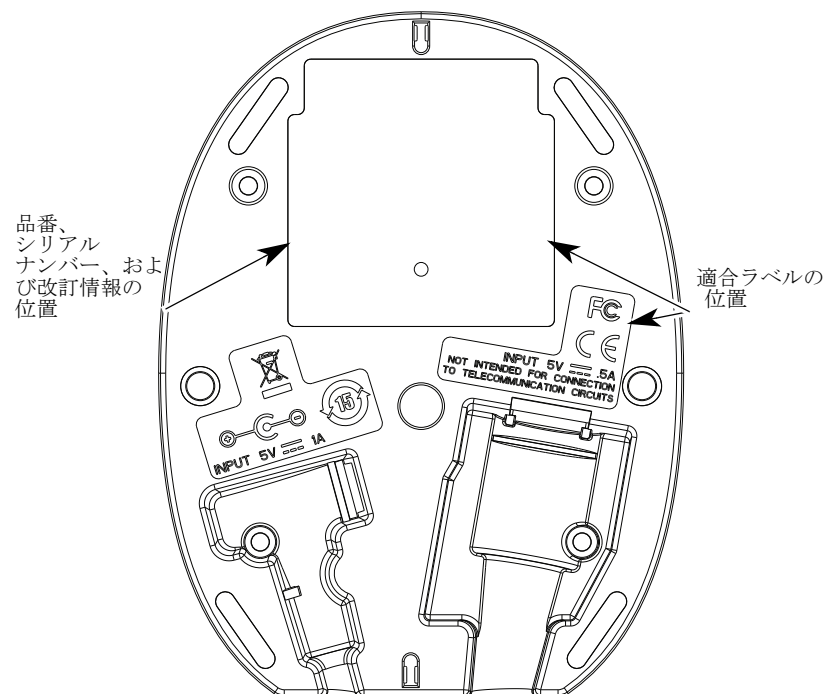
10 ピンの RJ41 モジュラープラグ

Note: RS485 信号変換はケーブルで行われます。

必要な安全ラベル

Voyager 1450g/1452g スキャナ

CCB01-010BT ベース

12

保守

修理

修理、アップグレードはこの製品に付属しておりません。これらのサービスは、かならず正規のサービスセンターで受けてください（(see カスタマーサポート on page 13-1) の『テクニカルサポート』を参照)。

保守

本機器は、最低限の手入れで確実で効率的な動作を提供します。特別な保守は不要ですが、以下の定期点検によって信頼性の高いスキャナの動作を確保できます。

機器の清掃

スキャナのウィンドウの汚れが、スキャナの読み取り性能を低下させる原因になる場合があります。汚れが目立ったり、十分に動作しない場合は、柔らかい布やレンズ用ティッシュを水（または水で薄めた中性洗剤）で軽く濡らして窓を拭いてください。洗剤を使用する場合は、水だけで濡らしたきれいなレンズ用ティッシュで拭き取ってください。

スキャナとベースのハウジングも同様に清掃できます。

注意:
スキャナを水に浸けないでください。スキャナのハウジングに耐水性はありません。

研磨剤入りの布やティッシュを使用しないでください。ウィンドウを傷つけることがあります。ハウジングやウィンドウには溶剤（アルコールやアセトンなど）を絶対に使用しないでください。

ケーブルとコネクタの点検

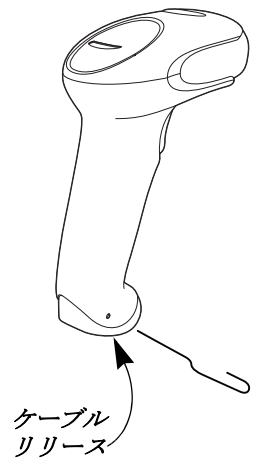
傷みやその他損傷の痕跡が無いかインターフェースケーブルとコネクタを点検してください。ケーブルがひどく傷んでいたりコネクタが損傷していると、スキャナの動作を妨げることがあります。ケーブル交換については、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。ケーブルの交換手順は page 12-1 に記載されています。

スキャナのインターフェースケーブルの交換

標準のインターフェースケーブルが 10 ピンのモジュラコネクタとともに付属しています。適切に設置された場合、コネクタはフレキシブルリテンションタブによってスキャナのハンドルに収まります。インターフェースケーブルは現場で交換できるように設計されています。

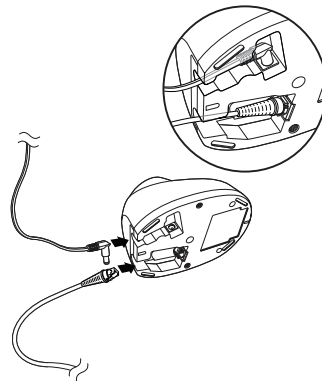
- 交換用ケーブルはハネウェル社もしくは正規の販売店よりお求めください。
- 交換用ケーブルご注文の際は、元々のインターフェースケーブルのケーブル部品番号をご指定ください。

コード付きスキャナのインターフェースケーブルの交換

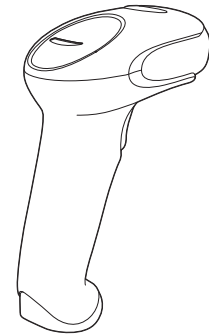
1. ホストシステムの電源を無効にします。
2. スキャナのケーブルをターミナルまたはコンピュータから外します。
3. スキャナのハンドルの裏側にある小さな穴を確認します。これがケーブルリリースです。
4. ペーパークリップの片方の先端をまっすぐにします。
5. 真っ直ぐにしたペーパークリップの先端を小さな穴に差し込んで押します。これがリテンションタブを押し、コネクタのロックが解除されます。ペーパークリップを押したままコネクタを引き抜き、その後クリップをはずします。
6. 新しいケーブルと交換します。
   コネクタを穴に差し込んで確実に押します。コネクタには、一方向だけに入るようにキーが付いています。所定の位置でカチッと音がします。

コードレスシステムのケーブルおよびバッテリーの交換

ベースユニットのインターフェースケーブルの交換

1. ホストシステムの電源を無効にします。
2. ベースユニットのケーブルをホストデバイスから外してください。
3. ベースユニットを裏返しにしてください。
4. ケーブルコネクタのリリースクリップを押しながら、ケーブルをゆっくりと引き抜いてください。

CCB01-010BT ベース：

5. 新しいケーブルと交換します。
   コネクタを穴に差し込んで確実に押します。コネクタには、一方向だけに入るようにキーが付いています。所定の位置でカチッと音がします。

スキャナバッテリの交換

1. スキャナのエンドキャップ（持ち手端部分）にあるネジを回し緩めてください。
2. エンドキャップ外し、バッテリーを持ち手部分からゆっくり引く抜いてください。
3. 新しいバッテリーを同じ箇所に差し込んでください。
4. エンドキャップをかぶせ、スクリューを締めて下さい。

スキャナのトラブルシューティング

電源を入れると、スキャナはその都度セルフテストを自動的に実行します。お使いのスキャナが正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

電源が入っていますか？レーザーエイマーがオンになっていますか？

レーザーエイマーが示されない場合は、以下の点をチェックしてください。

- ケーブルが正しく接続されているか。
- ホストシステムの電源がオンになっているか。（外部電源を使用しない場合。）
- ボタンが動作するか。

シンボルの読み取りでスキャナに問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、スキャナウィンドウに汚れがないか、以下の項目を確認してください。

- シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。
- ンボルがスキャナ、またはスキャナが接続されているデコーダーで有効になっているか。

バーコードが表示されても入力されませんか？

ホストシステムによっては、バーコードデータを入力するためにキーを押す必要がある場合があります。（Enter/Return キーや Tab キーなど。）

- サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、イメージャはバーコードデータと必要なキー（「CR」など）を出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。詳細についてはプレフィックス／サフィックスについて beginning on page 5-1 を参照してください。

スキャナがバーコードを間違って読み取っていませんか？

スキャナがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は

- スキャナが適切なターミナルインタフェース用に設定されていない可能性があります。
  例えば、「12345」を読み取っても、ホストは「@es%」と表示する場合など。

正しいプラグ & プレイバーコードまたはターミナル選択バーコードでスキャナを設定してください。インターフェースの設定 beginning on page 2-1 を参照してください。

- スキャナは、バーコードデータを正しく出力するように設定されていない可能性があります。
  例えば、「12345」を読み取ってもホストは「A12345B」と表示する場合など。

正しいシンボルを選択してイメージャを再設定してください。Chapter 7 を参照してください。

スキャナがバーコードをまったく読み取らない。

1. 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。スキャナがサンプルバーコートを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。
   お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください（Chapter 7 を参照。）

それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、すべてのシンボル (page 7-1)（すべてのシンボル　有効）を読み取ってください。

スキャナで設定されているプログラミングオプションが不明の場合、または出荷時初期設定を復元したい場合は、標準の製品初期設定へのリセット on page 10-3 を参照してください。

コードレスシステムのトラブルシューティング

ベースユニットのトラブルシューティング

Note: スキャナならびにベースユニットの最新ファームウェアについては、ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) のサービス&サポートセクションにアクセスください。

お使いのベースが正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

赤色 LED ライトがつきますか。

赤色 LED ライトがつかない場合は、以下の点をご確認ください。

- 電源ケーブルが正しく接続されており、電源に電気が投入されているか。
- ホストシステムの電源がオンになっているか。(外部電源を使用しない場合。)

緑色 LED ライトがつきますか。

緑色 LED ライトがつかない場合は、以下の点をご確認ください。

- スキャナがベースにきちんと置かれているか。
- 外部電源またはホストデバイスから 12V の電力が供給されているか。
- 充電モードが有効になっているか。(See ″ブザー・LED のシーケンスと意味″ on page 3-5 ブザーおよび LED のシーケンスと意味を参照)
- バッテリーに異常がないか、重度の充電不足ではないか。この場合は、スキャナの許容レベルまでバッテリートリクル充電を行い、その後、一般の充電サイクルに転じます。

コードレススキャナのトラブルシューティング

Note: スキャナのバッテリーが充電されていることをご確認ください。
スキャナやベースの最新ファームウェアについては、ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) のサービス&サポートセクションにアクセスください。

シンボルの読み取りでスキャナに問題がありますか ?

シンボルを正しく読み取らない場合は、以下の項目を確認してください。

- シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。
- スキャナと接続されているベースもしくはアクセスポイントが有効か。

バーコードが表示されたものの、入力されませんか ?

ホストシステムによっては、バーコードデータを入力するためにキーを押す必要がある場合があります。(Enter/Return キーや Tab キーなど。)

- サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、イメージャはバーコードデータと必要なキー (「CR」など) を出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。詳細についてはプレフィックス/サフィックスについて on page 5-1 を参照してください。

スキャナがバーコードを間違って読み取っていませんか ?

スキャナがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は

- ベースまたはアクセスポイントが適切なターミナルインタフェース用に設定されていない可能性があります。例えば、「12345」を読み取っても、ホストは「@es%」と表示する場合など。

正しいプラグ & プレイバーコードまたはターミナル選択バーコードでベースまたはアクセスポイントを設定してください。インターフェースの設定 beginning on page 2-1 を参照してください。

- ベースまたはアクセスポイントは、バーコードデータを正しく出力するように設定されていない可能性があります。例えば、「12345」を読み取ってもホストは「A12345B」と表示する場合など。

正しいシンボルを選択してベースまたはアクセスポイントを再設定してください。Chapter 7 を参照してください。

スキャナがバーコードをまったく読み取らない。

- 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。スキャナがサンプルバーコートを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。

お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください (Chapter 7 を参照。)

それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、すべてのシンボル on page 7-1（すべてのシンボル　有効）を読み取ってください。

13 カスタマーサポート

テクニカルサポート

インストールやトラブルシューティングに関するサポートが必要な場合は、以下の方法でご連絡ください。

サポート情報：www.hsmknowledgebase.com

サポート情報には多くの解決方法がございます。サポート情報で解決しない場合は、テクニカルサポート（以下参照）で問題のレポートまたは質問を報告してください。

テクニカルサポートポータル：www.hsmsupportportal.com

テクニカルサポートポータルは問題を報告するだけでなく、サポート情報から技術問題を検索して解決方法を提供します。ポータルにて、オンラインで質問の提出や追跡、ファイルの送受信が可能です。

ウェブフォーム：www.hsmcontactsupport.com

オンラインサポートフォームに入力することで、テクニカルサポートチームに直接コンタクトできます。お客様の情報と質問や問題の詳細を入力してください。

電話：www.honeywellaidc.com/locations

最新の問い合わせ先は、上記のウェブサイトを確認してください。

製品のサービスと修理

Honeywell 社は、世界中のサービスセンターを通して全製品に対するサービスを提供しています。保証期間内または保証期間後の修理を受けるためには www.honeywellaidc.com から Support > Contact Service and Repair に進んでいただき、ご使用の地域での Return Material Authorization 番号 (RMA #) を入手する方法を確認してください。製品を返送する前に、この手順に従ってください。

条件付保証

Honeywell International Inc. （以下 “ ハネウェル社 ”）は、出荷時にはその製品とアクセサリの材料および製造品質に欠陥がなく、お買い上げいただいた製品に適用されるの公式な仕様に適合することを保証いたします。この保証は、以下の場合にはハネウェル社の製品であっても対象外となります。（ⅰ）設置または使用方法が不適切。（ⅱ）正しい保守、サービス、および清掃手順に従わなかった場合を含めて事故や不注意で損傷。または（ⅲ）以下の結果損傷した場合：（A）お客様または第三者が変更や改造を行った。（B）インタフェース接続に過大な電圧や電流がかかったり流れたりした。（C）静電気または静電気放電。（D）指定の動作パラメータを超える条件で使用した。（E）ハネウェル社または正規代理店以外が製品の修理や整備を行った。

この保証期間は、ハネウェル社の出荷時点から、ご購入時に製品に対してが公式に示した期間（「保証期間」）とします。欠陥品は、点検のために保証期間内にハネウェル社の工場または正規サービスセンターにかならず返却してください。RMA（Return Material Authorization）が無ければ、ハネウェル社はどんな製品も受け付けません。RMA は、ハネウェル社に連絡すれば取得できます。保証期間内にハネウェル社または正規サービスセンターに製品が返却され、材料または製造品質の欠陥によって製品が故障したことを確認した場合、ハネウェル社はその選択によって製品を無償で修理または交換いたします。ただし、ハネウェル社への返却送料はご負担ください。

該当する法律によって規定されている場合を除き、上記の保証は、明示的であっても暗黙のものであっても、また口頭であっても書面であっても限定されることなく、特定の目的に対する商品性や適合のあらゆる暗黙の保証を含む他のあらゆる契約に代わるものです。

この保証によるハネウェル社の賠償責任とお客様が受けられる唯一の補償は、欠陥品の修理または交換に限られます。いかなる場合も、ハネウェル社は、直接的、間接的、あるいは結果的な損害には一切責任を負いません。また、ここでお買い上げいただいた製品に関して生じたハネウェル社の賠償額は（そうした賠償責任が契約、保証、不法行為などに基づく請求によるものであっても関係なく）、その製品のためにハネウェル社 にお支払いいただいた実際の金額を限度とします。これらの賠償責任の限度は、そのような、けが、損失、損害などの可能性についてが知らされていた場合であってもまったく有効です。ハネウェル社が知らされていた場合であってもまったく有効です。一部の州、地区、あるいは国などでは、偶発的または結果的な損害の除外または制限を認めていません。その場合、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

この条件付保証項目はすべて区分されており、分離が可能です。つまり、いずれかの条項が無効のまま実施できない場合でも、その決定は他の項目を実施する有効性には関係ありません。Youjie 社提供以外の周辺機器を使用して故障した場合、保証の対象外です。この周辺装置には、ケーブル、電源、クレイドル、およびドッキングステーションが含まれます。ハネウェル社は、これらの保証を製品の最初のエンドユーザにのみ適用します。これらの保証は譲渡できません。

Voyager 1450g スキャナの保証期間は、5 年とします。

Voyager 1452g スキャナの保証期間は、3 年とします。

CCB01-010BT チャージベースの保証期間は、3 年とします。

oyager 1452 のバッテリの保証期間は、1 年とします。

A

付録チャート

シンボルチャート

Note:　「m」は、AIM モディファイアのキャラクタを示します。AIM モディファイアキャラクタの詳細については、International Technical Specification の Symbology Identifiers を参照してください。

特定のシンボルに対するプレフィックス／サフィックスの入力は、汎用（All Symbologies, 99）入力に優先します。

コード ID と AIM ID の使用方法については、データ編集 beginning on page 5-1 とデータフォーマット beginning on page 6-1 を参照してください。

リニアシンボル

	AIM		Honeywell	
シンボル	ID	モディファイ (*m*)	ID	Hex
すべてのシンボル				99
Codabar	]F*m*	0-1	a	61
Code 11	]H3		h	68
Code 128	]C*m*	0, 1, 2, 4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	]X0		<	3C
Code 39 (Full ASCII モード対応)	]A*m*	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62
TCIF Linked Code 39（TLC39）	]L2		T	54
Code 93 and 93i	]G*m*	0-9, A-Z, a-m	i	69
EAN	]E*m*	0, 1, 3, 4	d	64
EAN-13 (Bookland EAN を含む)	]E0		d	64
EAN-13 with Add-On （アドオン付き EAN-13）	]E3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code（拡張クーポンコード付き EAN-13）	]E3		d	64
EAN-8	]E4		D	44
EAN-8 with Add-On （アドオン付き EAN-13）	]E3		D	44
GS1				
GS1 DataBar （GS1 データバー）	]e*m*	0	y	79
GS1 データバー限定型	]e*m*		{	7B
GS1 DataBar 拡張型	]e*m*		}	7D
GS1-128	]C1		I	49
2 of 5				
中国郵便コード (香港 2 of 5)	]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5	]I*m*	0, 1, 3	e	65
Matrix 2 of 5	]X0		m	6D
NEC 2 of 5	]X0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA	]R*m*	0, 1, 3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial	]S0		f	66
MSI	]M*m*	0, 1	g	67
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		
UPC-A	]E0		c	63

	AIM		Honeywell	
シンボル	ID	モディファイ (*m*)	ID	Hex
UPC-A with Add-On（アドオン付き UPC-A）	]E3		c	63
UPC-A with Extended Coupon Code（拡張コード付き UPC-A）	]E3		c	63
UPC-E	]E0		E	45
UPC-E with Add-On（アドオン付き UPC-E）	]E3		E	45
UPC-E1	]X0		E	45

Honeywell Code ID 追加				5C80
AIM Code ID 追加				5C81
Backslash 追加				5C5C
Batch mode quantity			5	35

２次元シンボル

	AIM		Honeywell	
シンボル	ID	モディファイ (*m*)	ID	Hex
すべてのシンボル				99
Aztec コード	]z*m*	0-9, A-C	z	7A
Chinese Sensible Code （漢信コード）	]X0		H	48
Codablock A	]O6	0, 1, 4, 5, 6	V	56
Codablock F	]O*m*	0, 1, 4, 5, 6	q	71
Code 49	]T*m*	0, 1, 2, 4	l	6C
Data Matrix	]d*m*	0-6	w	77
GS1	]e*m*	0-3	y	79
GS1 Composite （GS1 コンポジット）	]e*m*	0-3	y	79
GS1 データバー標準型	]e*m*	0-3	y	79
MaxiCode	]U*m*	0-3	x	78
PDF417	]L*m*	0-2	r	72
MicroPDF417	]L*m*	0-5	R	52
QR コード	]Q*m*	0-6	s	73
Micro QR コード	]Q*m*		s	73

郵便シンボル

	AIM		Honeywell	
シンボル	ID	モディファイ (*m*)	ID	Hex
すべてのシンボル				99
Australian Post（オーストラリア郵便）	]X0		A	41
British Post（英国郵便）	]X0		B	42
Canadian Post（カナダ郵便）	]X0		C	43
China Post（中国郵便）	]X0		Q	51

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (*m*)	ID	Hex
InfoMail	]X0		,	2c
Intelligent Mail Bar Code	]X0		M	4D
Japanese Post（日本郵便）	]X0		J	4A
KIX (Netherlands) Post（オランダ郵便）	]X0		K	4B
Korea Post（韓国郵便）	]X0		?	3F
Planet コード	]X0		L	4C
Postal-4i	]X0		N	4E
Postnet	]X0		P	50

ASCII 変換チャート（コードページ 1252）

キーボードアプリケーションで、ASCII コントロールキャラクタは以下のように 3 つの異なる方法で表現されます。CTRL+X ファンクションキーは OS とアプリケーションによって異なります。以下のテーブルは Microsoft で使用される共通の機能のリストです。この表は、米国方式のキーボードに適用されます。特定のキャラクタは、国コード / PC の地域設定によって異なる場合があります。

印刷不可能な ASCII コントロール キャラクタ			キーボードコントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
			コントロール + X モードオフ (KBDCAS0)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
DEC	HEX	Char		CTRL + X	CTRL + X function
0	00	NUL	Reserved	CTRL+ @	
1	01	SOH	NP Enter	CTRL+ A	Select all
2	02	STX	Caps Lock	CTRL+ B	Bold
3	03	ETX	ALT Make	CTRL+ C	Copy
4	04	EOT	ALT Break	CTRL+ D	Bookmark
5	05	ENQ	CTRL Make	CTRL+ E	Center
6	06	ACK	CTRL Break	CTRL+ F	Find
7	07	BEL	Enter / Ret	CTRL+ G	
8	08	BS	*(Apple Make)*	CTRL+ H	History
9	09	HT	Tab	CTRL+ I	Italic
10	0A	LF	*(Apple Break)*	CTRL+ J	Justify
11	0B	VT	Tab	CTRL+ K	hyperlink
12	0C	FF	Delete	CTRL+ L	list, left align
13	0D	CR	Enter / Ret	CTRL+ M	
14	0E	SO	Insert	CTRL+ N	New
15	0F	SI	ESC	CTRL+ O	Open
16	10	DLE	F11	CTRL+ P	Print
17	11	DC1	Home	CTRL+ Q	Quit
18	12	DC2	PrtScn	CTRL+ R	
19	13	DC3	Backspace	CTRL+ S	??
20	14	DC4	Back Tab	CTRL+ T	
21	15	NAK	F12	CTRL+ U	
22	16	SYN	F1	CTRL+ V	Paste
23	17	ETB	F2	CTRL+ W	
24	18	CAN	F3	CTRL+ X	
25	19	EM	F4	CTRL+ Y	

印刷不可能な ASCII コントロール キャラクタ			キーボード コントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
			コントロール + X モードオフ (KBDCAS0)	Windows モード コントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
DEC	HEX	Char		CTRL + X	CTRL + X function
26	1A	SUB	F5	CTRL+ Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL+ [	
28	1C	FS	F7	CTRL+ \	
29	1D	GS	F8	CTRL+]	
30	1E	RS	F9	CTRL+ ^	
31	1F	US	F10	CTRL+ -	
127	7F	⌂	NP Enter		

下位 ASCII R リファレンステーブル

Note: Windows コードページ 1252 および 下位 ASCII は同じキャラクタを使用します。

印刷可能なキャラクタ								
DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(	72	48	H	104	68	h
41	29	)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	|
61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	⌂

拡張 ASCII キャラクタ					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
128	80	€	Ç	up arrow ↑	0x48
129	81		ü	down arrow ↓	0x50
130	82	‚	é	right arrow →	0x4B
131	83	ƒ	â	left arrow ←	0x4D
132	84	„	ä	Insert	0x52
133	85	…	à	Delete	0x53
134	86	†	å	Home	0x47
135	87	‡	ç	End	0x4F
136	88	ˆ	ê	Page Up	0x49
137	89	‰	ë	Page Down	0x51
138	8A	Š	è	Right ALT	0x38
139	8B	‹	ï	Right CTRL	0x1D
140	8C	Œ	î	Reserved	n/a
141	8D		ì	Reserved	n/a
142	8E	Ž	Ä	Numeric Keypad Enter	0x1C
143	8F		Å	Numeric Keypad /	0x35
144	90		É	F1	0x3B
145	91	‘	æ	F2	0x3C
146	92	’	Æ	F3	0x3D
147	93	“	ô	F4	0x3E
148	94	”	ö	F5	0x3F
149	95	•	ò	F6	0x40
150	96	–	û	F7	0x41
151	97	—	ù	F8	0x42
152	98	˜	ÿ	F9	0x43
153	99	™	Ö	F10	0x44
154	9A	š	Ü	F11	0x57
155	9B	›	¢	F12	0x58
156	9C	œ	£	Numeric Keypad +	0x4E
157	9D		¥	Numeric Keypad -	0x4A
158	9E	ž	₧	Numeric Keypad *	0x37
159	9F	Ÿ	ƒ	Caps Lock	0x3A
160	A0		á	Num Lock	0x45
161	A1	¡	í	Left Alt	0x38
162	A2	¢	ó	Left Ctrl	0x1D
163	A3	£	ú	Left Shift	0x2A
164	A4	¤	ñ	Right Shift	0x36
165	A5	¥	Ñ	Print Screen	n/a
166	A6	¦	ª	Tab	0x0F
167	A7	§	º	Shift Tab	0x8F
168	A8	¨	¿	Enter	0x1C
169	A9	©	⌐	Esc	0x01
170	AA	ª	¬	Alt Make	0x36
171	AB	«	½	Alt Break	0xB6
172	AC	¬	¼	Control Make	0x1D
173	AD		¡	Control Break	0x9D
174	AE	®	«	Alt Sequence with 1 Character	0x36
175	AF	¯	»	Ctrl Sequence with 1 Character	0x1D
176	B0	°	░		
177	B1	±	▒		
178	B2	²	▓		

拡張 ASCII キャラクタ (Continued)					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
179	B3	³	│		
180	B4	´	┤		
181	B5	µ	╡		
182	B6	¶	╢		
183	B7	·	╖		
184	B8	¸	╕		
185	B9	¹	╣		
186	BA	º	║		
187	BB	»	╗		
188	BC	¼	╝		
189	BD	½	╜		
190	BE	¾	╛		
191	BF	¿	┐		
192	C0	À	└		
193	C1	Á	┴		
194	C2	Â	┬		
195	C3	Ã	├		
196	C4	Ä	─		
197	C5	Å	í		
198	C6	Æ	╞		
199	C7	Ç	╟		
200	C8	È	╚		
201	C9	É	╔		
202	CA	Ê	╩		
203	CB	Ë	╦		
204	CC	Ì	╠		
205	CD	Í	═		
206	CE	Î	╬		
207	CF	Ï	╧		
208	D0	Ð	╨		
209	D1	Ñ	╤		
210	D2	Ò	╥		
211	D3	Ó	╙		
212	D4	Ô	╘		
213	D5	Õ	╒		
214	D6	Ö	╓		
215	D7	×	╫		
216	D8	Ø	╪		
217	D9	Ù	┘		
218	DA	Ú	┌		
219	DB	Û	█		
220	DC	Ü	▄		
221	DD	Ý	▌		
222	DE	Þ	▐		
223	DF	ß	▀		
224	E0	à	α		
225	E1	á	ß		
226	E2	â	Γ		
227	E3	ã	π		
228	E4	ä	Σ		
229	E5	å	σ		
230	E6	æ	µ		

拡張 ASCII キャラクタ (Continued)					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
231	E7	ç	τ		
232	E8	è	Φ		
233	E9	é	Θ		
234	EA	ê	Ω		
235	EB	ë	δ		
236	EC	ì	∞		
237	ED	í	φ		
238	EE	î	ε		
239	EF	ï	∩		
240	F0	ð	≡		
241	F1	ñ	±		
242	F2	ò	≥		
243	F3	ó	≤		
244	F4	ô	⌠		
245	F5	õ	⌡		
246	F6	ö	÷		
247	F7	÷	≈		
248	F8	ø	°		
249	F9	ù	·		
250	FA	ú	·		
251	FB	û	√		
252	FC	ü	ⁿ		
253	FD	ý	²		
254	FE	þ	■		
255	FF	ÿ			

ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、バーコードが作成されたときのコードページを選択してください。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

コードページ選択方法 / 国	標準	国別キーボード	Honeywell コードページオプション
アメリカ (standard ASCII)	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
自動国キャラクタ置換	ISO/IEC 2022	n/a	2（デフォルト）
バイナリコードページ	n/a	n/a	3
デフォルトの“自動国キャラクタ置換”は以下の Code128、Code 39、Code 93. 用 Honeywell コードページオプションを選択します。			
アメリカ	ISO/IEC 646-06	0	1
カナダ	ISO /IEC 646-121	54	95
カナダ	ISO /IEC 646-122	18	96
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99
イギリス（UK）	ISO /IEC 646-04	7	87
フランス	ISO /IEC 646-69	3	83
ドイツ	ISO/IEC646-21	4	84

コードページ選択方法 / 国	標準	国別キーボード	Honeywell コードページオプション
スイス	ISO /IEC 646-CH	6	86
スウェーデン / フィンランド（拡張 Annex C）	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO /IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

Dec			35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
Hex			23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
US	**0**	**1**	**#**	**$**	**@**	**[**	****	**]**	**^**	**`**	**{**	**|**	**}**	**~**
CA	**54**	**95**	#	$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û
CA	**18**	**96**	#	$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û
JP	**28**	**98**	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	‾
CN	**92**	**99**	#	¥	@	[	\	]	^	`	{	|	}	‾
GB	**7**	**87**	£	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
FR	**3**	**83**	£	$	à	°	ç	§	^	µ	é	ù	è	¨
DE	**4**	**84**	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
CH	**6**	**86**	ù	$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û
SE/FI	**2**	**82**	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
DK	**8**	**88**	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
NO	**9**	**94**	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	¨
IE	**73**	**97**	£	$	Ó	É	Í	Ú	Á	ó	é	í	ú	á
IT	**5**	**85**	£	$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
PT	**13**	**92**	#	$	§	Ã	Ç	Õ	^	`	ã	ç	õ	°
ES	**10**	**90**	#	$	§	¡	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~
ES	**51**	**91**	#	$	·	¡	Ñ	Ç	¿	`	´	ñ	ç	¨
国	国キーボード	Honeywell コードページ	ISO / IEC 646 国キャラクタ変換											

ユニコードキーマップ

6E 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E

01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0F 4B 50 55 5A 5F 64 69

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 1D 4C 51 56 5B 60 65 6A

1E 1F 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2B 5C 61 66

2C 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 39 53 5D 62 67 6C

3A 3B 3C 3D 3E 3F 38 40 4F 54 59 63 68

104 キー　アメリカスタイル

6E 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E

01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0F 4B 50 55 5A 5F 64 69

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 2B 4C 51 56 5B 60 65 6A

1E 1F 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 5C 61 66

2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 39 53 5D 62 67 6C

3A 3B 3C 3D 3E 3F 38 40 4F 54 59 63 68

105 キー　ヨーロッパスタイルキー

サンプルシンボル

UPC-A

0 123456 7890

Interleaved 2 of 5

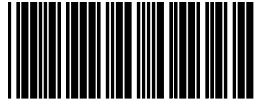
1234567890

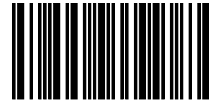
EAN-13

9 780330 290951

Code 128

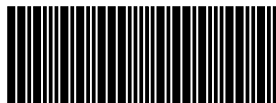
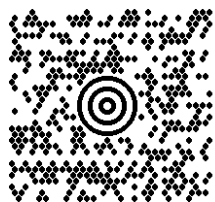
Code 128

Code 39

BC321

Codabar

A13579B

Code 93

123456-9$

Straight 2 of 5 Industrial

123456

4-CB (4-State Customer Bar Code)

01,234,567094,987654321,01234567891

ID-tag (UPU 4-State)

J18CUSA8E6N062315014880T

プログラミングチャート

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

プログラミングチャート

A

B

C

D

E

F

保存

破棄

リセット

*Note: 文字または数字（Save を読み取る前に）をスキャンしエラーした場合は、Discard(破棄)を読み取り、正確に文字または数字をもう一度スキャンして、**Save**（保存）を読み取ってください。*